

消 防 年 報

令和 4 年版（令和 5 年刊行）

入間東部地区事務組合消防本部

は じ め に

この年報は、入間東部地区事務組合消防本部（富士見市・ふじみ野市・三芳町）の消防力の現況と消防防災活動を取りまとめ、消防事情を広く紹介するとともに、今後の防災体制の確立に努め、火災、救急、救助活動などの資料として活用するために収録編さんいたしました。

令和5年9月

入間東部地区事務組合消防本部

職 員 章



職員章は、入間東部地区（IRUMA TOHBU）の頭文字「I・T」を円形にデザインし、組合発足時の構成二市二町（富士見市・上福岡市・大井町・三芳町）を四葉のクローバーとして配し、消防章と合わせ図案化したものです。

円形は組合の団結を表し、四つ葉は発展を象徴しています。

消 防 章



消防章は、雪の結晶の拡大図を基礎とし、日章を中心にそれぞれホース、管そうと、筒先から放水する水柱を配し、図案化したものです。

入間東部消防歌



1. あさ-ひ-かがや き やま な み て ら し て
2. しんがし-がわ- も め-く-も り て
3. ちちぶの-かな- た は-る-か ふ じ

なが れ る か わ も-に い や は え-る
り の だ い ち-に い や な が-る
ひ と の す む-ま-ち い や ひ か-る

き ほ う の さ い た ま か け る ゆ め
し え ぶ ん か の む さ し の
ぜ ん し ん や く し ん ど う ど う の

あ-あ-い る ま と う ぶ の ち を ま も
あ-あ-い る ま と う ぶ の ち に つ く
あ-あ-い る ま と う ぶ の ち に い き

る す る わ れ ら ら-ゆ う き の し ェ う ほ-
わ れ ら ら-ほ こ り の き ョ う き ョ う-
わ れ ら ら-し め い の き ョ う じ ェ た

た い
た い

入間東部消防歌

作詞・作曲 小野 晏敬

一 朝日 輝き 山峰照らし

流れる川面に いや映える

希望の埼玉 かける夢

ああ入間東部の地を守る

われら勇気の消防隊

二 新河岸川も 温りて

緑の大地に いや流る

古代文化の 武蔵野を

ああ入間東部の地に尽す

われら誇りの救急隊

三 秩父の彼方 はるか富士

住民の住む街 いや光る

前進躍進 堂々の

ああ入間東部の地に生きる

われら使命の救助隊

凡 例

1. 本書は、令和4年の資料を中心に集計しましたが、さらに過去数年の比較もしています。
2. 各表の上部に記したものは、次のとおりです。また、特異なものについては、それぞれ記入しています。

「年度」 会計年度の4月から翌年3月まで
「年中」 1月から12月まで
「令和〇年〇月〇日現在」 調査年月日
「単位」 それぞれに適したものとしています。
3. 表中の符号で「－」とあるのは、該当数のないものです。
4. 人口、世帯は、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の資料によるものです。
5. 消防職員数は、定数外の職員及び再任用短時間勤務職員を除いた実員数としています。

目 次

－ はじめに －

職員章、消防章	2
入間東部消防歌	3
凡例	4
目次	5

－ 概 要 －

構成市町の紹介	8
入間東部地区の位置と地勢	9
人口等の推移	10
現有消防力の人口、 世帯、面積の割合	10
歴代議会議長、議会議員	11
歴代管理者	12
歴代副管理者	13
歴代収入役、歴代監査委員	14
歴代消防長	14

－ 消 防 総 務 －

消防本部・消防署・分署の配置	16
入間東部地区事務組合機構図	17
沿革	18
事務分掌	30
消防予算（当初）	35
歳入	35
構成市町別負担金	35
歳出	36
歳出予算性質別内訳	36
消防庁舎の現況	37
階級・年齢別職員構成状況	38
階級・勤続年数別職員構成状況	39
等級及び職制上の段階ごとの職員数	40
年度別人口と職員数の推移	41
職員配置状況	42

職員の通勤距離別数（配属地別）	43
職員の現住地状況	43
職員の教育実施状況	44
職員の特殊技能資格状況	45
職員の表彰状況	46
基準消防力と現有消防力の比較	47
消防相互応援協定等の締結状況	48
消防音楽隊	49
広報・広聴活動状況	50

－ 予 防 －

防火対象物数（150㎡以上）	52
4階以上防火対象物数 （用途別・階数別）	53
防火対象物同意状況	56
立入検査実施状況	57
消防用設備等設置届出処理状況	58
防火管理者資格取得状況	59
防火管理者選任届出状況	59
法令等に基づく各種届出状況	60
数量別危険物施設現況	61
危険物施設等事務処理状況	62
危険物施設に対する 立入検査実施状況	63
住宅防火指導状況	64
自衛消防隊消防操法競技大会状況	64
防火標語	65

－ 警 防 －

消防水利現況	67
ホース現有数	67
警防活動訓練実施状況	68
車両現勢	69

目 次

－ 指 令 －

消防通信系統図	73
119番覚知別受信状況	74
気象状況	75
気象情報受理状況	75
緊急通報システム受信状況	76
緊急通報システム機器設置状況	76
口頭指導実施状況	76

－ 火 災 －

火災の概況	78
損害額の推移	79
火災による死傷者の推移	79
用途別建物火災発生件数	79
月別火災発生状況	80
時間帯別火災発生状況	80
出火原因別火災発生状況	81

－ 救 急 ・ 救 助 －

救急業務の実施体制	83
救急活動概要	83
年別構成市町別救急出場件数	
および搬送人員の推移	84
5か年の救急の動向表	84
救急出場種別表	85
搬送者傷病程度種別表	85
5か年の事故種別構成比	86
救急隊による応急処置実施状況	86
年齢区分別事故種別搬送人員の状況	87
曜日別救急出場件数	87
月別救急出場件数	87
時間帯救急出場件数	88

発生場所別搬送人員	88
医療機関別搬送人員	89
他の医療機関への転院搬送依頼件数	89
医療機関別搬送状況	90
住民に対する応急手当	
普及啓発活動の実施状況	90
急病に係る疾病分類別年齢区分、	
傷病程度別搬送人員の状況	91
現場到着所要時間別状況	91
収容所要時間別状況	91
署内救急事後事例研究会実施状況	92
救助統計	93
主な救助用資機材の保有状況	94

－ 消 防 団 －

消防分団車庫の配置	96
消防団の組織	97
沿革	98
歴代消防団諮問委員会長	104
消防団諮問委員	104
富士見市歴代消防団長	105
ふじみ野市歴代消防団長	105
三芳町歴代消防団長	105
(旧) 上福岡市歴代消防団長	106
(旧) 大井町歴代消防団長	106
消防団員の定員と実員数	107
消防団員の配置状況	107
消防団員の年齢	108
消防団員の勤続年数	109
消防団分団車庫の現況	110
消防団車両現勢	111

概

要

構成市町の紹介

入間東部地区の位置と地勢

人口等の推移

現有消防力の人口、世帯、面積の割合

歴代議会議長

議会議員

歴代管理者

歴代副管理者

歴代収入役

歴代監査委員

歴代消防長

構成市町の紹介

富士見市



市章

中央に富士山が見える市ということで富士をおき、周囲に三本の川と旧三ヶ村の合併を意味した円を配し富士見を象徴したものです。



市の木「けやき」

けやきは古くから富士見市に自生しており、現在においても市内でよく見かけ成長が早く雄大な樹姿は、富士見市の発展との結びつきを感じさせる。

昔は一本のけやきが一家の生計を救うこともあったという貴重な木でもある。



市の花「ふじ」

優雅さと気品をそなえており、ひとつひとつの花が集まって咲く様子が、人と人との語り合い団結を感じさせ、富士見市民がひとつひとつの花のように思われます。

ふじみ野市



市章

ふじみ野市の「F」の文字を基調に、輪は市民相互の融和を表し、舟運の面影を残す新河岸川の青と、武蔵野の自然をイメージした緑を配し、萌え出る若葉から鮮やかな緑へと移り変わる様子は、まちと自然の調和を図り躍進していくふじみ野市を表しています。



市指定天然記念物「神明神社のけやき」

苗間神明神社の社殿裏手にあるけやきで、神社の神木とされています。

樹齢は約400年前後と推定され、高さ17m、目通りの周囲は約5m、根回り10m、枝張り9.5mに及ぶ市内最大規模の植物です。



市指定天然記念物「地蔵院のしだれ桜」

しだれ桜は、春の彼岸に花を咲かせる江戸彼岸桜の変種です。地蔵院境内のしだれ桜は、その大きさ・古さでは市内はもとより近隣でも有名で、樹齢は350年前後と推定されます。

三芳町



町章

三芳町の片仮名「ミヨシ」を円形にデザインし、融和と団結を表し、中央にはばたく鳥を図案化し、町の躍進と産業の発展を象徴しています。



町の木「けやき」

けやきは、町内に多く見られ四季を通じて情緒があり、早春の発芽の美しさは樹形の雄大さと共に関東の風物詩となっています。



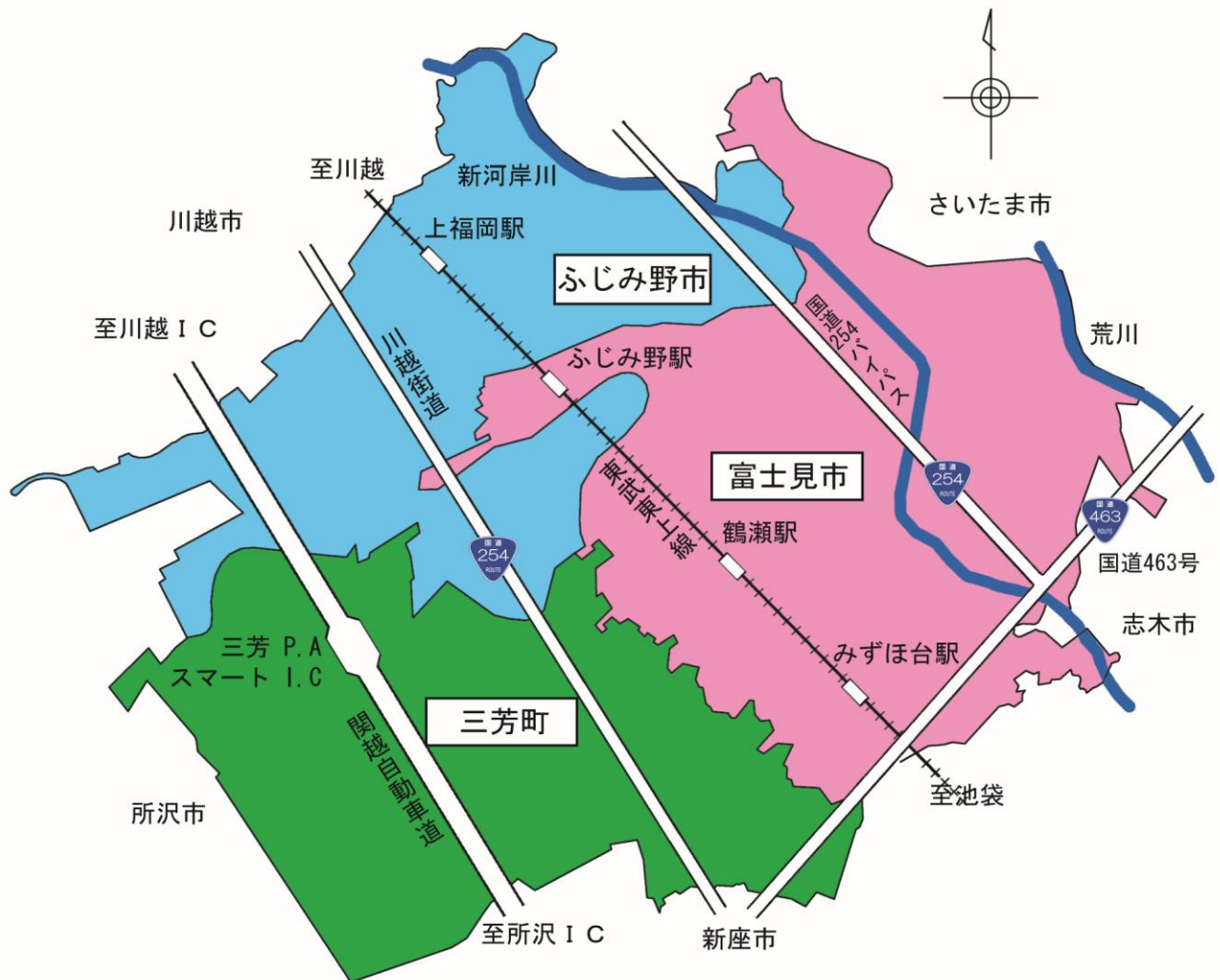
町の花「きく」

きくは、チギリグサ、モモヨグサなど長寿にちなむ名で呼ばれ、花の中で最も種類が多く四季を通じて町内に豊かな趣をそえています。町民の長寿を願い、春、夏、秋、冬花をみる事のできるきくは、三芳を象徴するにふさわしい花です。

入間東部地区の位置と地勢

入間東部地区管内は、埼玉県の南西部に位置し、富士見市・ふじみ野市・三芳町で構成され、東経139°30'、北緯35°52'に位置し、東は荒川を越えてさいたま市、西は所沢市、南は志木市・新座市、北は川越市に接しています。地勢は、ほぼ平坦な地域で、西から入間台地が広がり、東に荒川低地を擁した火山灰土からなる、関東ローム層の地質からなっています。

また、首都圏30キロメートルの地理的条件に恵まれ、昭和35年頃から東京のベッドタウンとして、人口急増した地区でもあります。



総面積 49.74 km²

富士見市	19.77 km ²
ふじみ野市	14.64 km ²
三芳町	15.33 km ²

東西 10.00 km

南北 8.85 km



人 口 等 の 推 移

各年4月1日現在

年 別	構成市町	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	人口密度／km ² 当り (人)
平成31年	合 計	263,896	119,931	5,313
	富 士 見 市	111,463	51,688	5,658
	ふ じ み 野 市	114,240	51,880	7,787
	三 芳 町	38,193	16,363	2,496
令和2年	合 計	264,611	121,756	5,327
	富 士 見 市	111,936	52,493	5,682
	ふ じ み 野 市	114,477	52,655	7,803
	三 芳 町	38,198	16,608	2,497
令和3年	合 計	264,741	123,307	5,330
	富 士 見 市	112,204	53,335	5,696
	ふ じ み 野 市	114,474	53,273	7,803
	三 芳 町	38,063	16,699	2,488
令和4年	合 計	264,710	124,412	5,329
	富 士 見 市	112,817	54,116	5,727
	ふ じ み 野 市	114,045	53,539	7,774
	三 芳 町	37,848	16,757	2,474
令和5年	合 計	264,791	125,800	5,324
	富 士 見 市	113,089	54,832	5,720
	ふ じ み 野 市	114,048	54,065	7,790
	三 芳 町	37,654	16,903	2,456

現有消防力の人口、世帯、面積の割合

令和5年4月1日現在

区 分	総 数	人 口 (人)	世 帯 (世帯)	面 積 (km ²)
消防職員1人当り	287 人	923	438	0.17
消防ポンプ車1台当り	9 台	29,421	13,978	5.53
救急車1台当り	8 台	33,099	15,725	6.22
消防署1署当り (分署を含む)	5 署	52,958	25,160	9.95

歴 代 議 会 議 長

市 町 別	氏 名	就 任 期 間
富 士 見 市	安 藤 正 二	昭和 45. 11. 30 ～ 昭和 46. 5. 30
三 芳 町	武 田 春太郎	昭和 46. 5. 31 ～ 昭和 50. 4. 1
富 士 見 市	谷 川 進 三	昭和 50. 6. 11 ～ 昭和 52. 3. 31
大 井 町	高 山 伊英司	昭和 52. 5. 20 ～ 昭和 54. 4. 30
上 福 岡 市	松 田 清	昭和 54. 6. 8 ～ 昭和 56. 4. 29
大 井 町	土 屋 勇	昭和 56. 4. 30 ～ 昭和 58. 4. 30
富 士 見 市	増 田 八 郎	昭和 58. 7. 4 ～ 昭和 60. 3. 31
三 芳 町	林 孝 次	昭和 60. 6. 7 ～ 昭和 61. 12. 8
三 芳 町	古 寺 五 一	昭和 61. 12. 22 ～ 昭和 62. 4. 30
上 福 岡 市	有 山 義 松	昭和 62. 5. 25 ～ 平成 元. 5. 1
大 井 町	仲 野 一 郎	平成 元. 5. 2 ～ 平成 3. 4. 30
富 士 見 市	星 野 定太郎	平成 3. 6. 24 ～ 平成 5. 3. 31
三 芳 町	伊 藤 豊 次	平成 5. 5. 18 ～ 平成 7. 4. 30
上 福 岡 市	武 藤 博	平成 7. 6. 5 ～ 平成 9. 2. 10
上 福 岡 市	田 中 雍 規	平成 9. 3. 18 ～ 平成 9. 5. 7
大 井 町	内 田 宏 之	平成 9. 5. 7 ～ 平成 11. 4. 30
富 士 見 市	渋谷 儀 一	平成 11. 6. 2 ～ 平成 13. 3. 31
三 芳 町	青 木 清	平成 13. 5. 2 ～ 平成 14. 11. 25
三 芳 町	横 田 英 明	平成 14. 11. 28 ～ 平成 15. 4. 30
上 福 岡 市	小 高 時 男	平成 15. 6. 4 ～ 平成 16. 8. 31
上 福 岡 市	佐 藤 英 夫	平成 16. 10. 5 ～ 平成 17. 5. 8
大 井 町	野 溝 守	平成 17. 5. 9 ～ 平成 17. 9. 30
ふ じ み 野 市	野 沢 裕 司	平成 17. 11. 30 ～ 平成 19. 4. 30
富 士 見 市	深 井 平 次	平成 19. 6. 6 ～ 平成 21. 3. 31
三 芳 町	横 田 英 明	平成 21. 5. 13 ～ 平成 23. 4. 30
ふ じ み 野 市	小 高 時 男	平成 23. 6. 15 ～ 平成 25. 5. 19
富 士 見 市	尾 崎 孝 好	平成 25. 5. 20 ～ 平成 27. 6. 25
三 芳 町	井 田 和 宏	平成 27. 6. 26 ～ 平成 29. 5. 24
ふ じ み 野 市	大 築 守	平成 29. 5. 25 ～ 平成 30. 3. 31
ふ じ み 野 市	大 築 守	平成 30. 4. 20 ～ 平成 31. 4. 30
富 士 見 市	斉 藤 隆 浩	令和 元. 6. 27 ～ 令和 3. 3. 31
三 芳 町	久 保 健 二	令和 3. 5. 24 ～ 令和 5. 4. 30
ふ じ み 野 市	山 田 敏 夫	令和 5. 6. 29 ～

※平成30年度からは入間東部地区事務組會議長

議 会 議 員

議 長

山 田 敏 夫

副議長

本 名 洋

富士見市選出	ふじみ野市選出	三芳町選出
佐 野 正 幸	前 田 広 子	本 名 洋
村 元 寛	原 田 雄 一	小 松 伸 介
斉 藤 隆 浩	島 田 和 泉	林 善 美
篠 田 剛	山 田 敏 夫	細 田 三 恵
川 畑 勝 弘	塚 越 洋 一	久 保 健 二

歴 代 管 理 者

職 名	氏 名	就 任 期 間
上 福 岡 市 長	近 藤 克 郎	昭和 45. 11. 1 ～ 昭和 52. 3. 11
大 井 町 長	駒 井 忠 光	昭和 52. 3. 19 ～ 昭和 56. 4. 30
上 福 岡 市 長	田 中 喜 三	昭和 56. 5. 1 ～ 平成 9. 3. 11
大 井 町 長	島 田 行 雄	平成 9. 3. 12 ～ 平成 11. 3. 31
富 士 見 市 長	萩 原 定次郎	平成 11. 4. 1 ～ 平成 12. 8. 19
三 芳 町 長	林 孝 次	平成 12. 8. 23 ～ 平成 15. 3. 31
上 福 岡 市 長	武 藤 博	平成 15. 4. 1 ～ 平成 17. 3. 31
大 井 町 長	島 田 行 雄	平成 17. 4. 1 ～ 平成 17. 9. 30
ふ じ み 野 市 長	島 田 行 雄	平成 17. 11. 18 ～ 平成 19. 3. 31
富 士 見 市 長	浦 野 清	平成 19. 4. 1 ～ 平成 20. 8. 19
三 芳 町 長	鈴 木 英 美	平成 20. 8. 21 ～ 平成 23. 1. 13
ふ じ み 野 市 長	高 畑 博	平成 23. 1. 17 ～ 平成 25. 3. 31
富 士 見 市 長	星 野 信 吾	平成 25. 4. 1 ～ 平成 27. 3. 31
三 芳 町 長	林 伊 佐 雄	平成 27. 4. 1 ～ 平成 29. 3. 31
ふ じ み 野 市 長	高 畑 博	平成 29. 4. 1 ～ 平成 31. 3. 31
富 士 見 市 長	星 野 光 弘	平成 31. 4. 1 ～ 令和 3. 3. 31
三 芳 町 長	林 伊 佐 雄	令和 3. 4. 1 ～ 令和 5. 3. 31
ふ じ み 野 市 長	高 畑 博	令和 5. 4. 1 ～

歴 代 副 管 理 者

職 名	氏 名	就 任 期 間
富 士 見 町 長	当 麻 憲 之	昭和 45.11. 1 ～ 昭和 46. 4.30
富 士 見 市 長	長 根 進 午	昭和 46. 5. 1 ～ 昭和 47. 7.17
富 士 見 市 長	山 田 三 郎	昭和 47. 8.20 ～ 昭和 63. 8.19
富 士 見 市 長	萩 原 定次郎	昭和 63. 8.20 ～ 平成 11. 3.31
富 士 見 市 長	浦 野 清	平成 12. 8.20 ～ 平成 19. 3.31
富 士 見 市 長	星 野 信 吾	平成 20. 8.20 ～ 平成 25. 3.31
富 士 見 市 長	星 野 信 吾	平成 27. 4. 1 ～ 平成 28. 8.19
富 士 見 市 長	星 野 光 弘	平成 28. 8.20 ～ 平成 31. 3.31
富 士 見 市 長	星 野 光 弘	令和 3. 4. 1 ～
上 福 岡 市 長	田 中 喜 三	昭和 52. 3.12 ～ 昭和 56. 4.30
上 福 岡 市 長	武 藤 博	平成 9. 3.12 ～ 平成 15. 3.31
上 福 岡 市 長	武 藤 博	平成 17. 4. 1 ～ 平成 17. 9.30
大 井 町 長	駒 井 忠 光	昭和 45.11. 1 ～ 昭和 52. 3.18
大 井 町 長	駒 井 忠 光	昭和 56. 5. 1 ～ 昭和 56.10.23
大 井 町 長	金井塚 辰 次	昭和 56.10.24 ～ 昭和 60.10.23
大 井 町 長	島 田 行 雄	昭和 60.10.24 ～ 平成 9. 3.11
大 井 町 長	島 田 行 雄	平成 11. 4. 1 ～ 平成 17. 3.31
ふ じ み 野 市 長	島 田 行 雄	平成 19. 4. 1 ～ 平成 21.11.12
ふ じ み 野 市 長	高 畑 博	平成 21.11.13 ～ 平成 23. 1.16
ふ じ み 野 市 長	高 畑 博	平成 25. 4. 1 ～ 平成 29. 3.31
ふ じ み 野 市 長	高 畑 博	平成 31. 4. 1 ～ 令和 5. 3.31
三 芳 町 長	金 谷 英 男	昭和 45.11. 1 ～ 昭和 46. 1.13
三 芳 町 長	林 榮 則	昭和 46. 1.14 ～ 昭和 54. 1.13
三 芳 町 長	山 田 義 夫	昭和 54. 1.14 ～ 平成 3. 1.13
三 芳 町 長	林 孝 次	平成 3. 1.14 ～ 平成 12. 8.22
三 芳 町 長	林 孝 次	平成 15. 4. 1 ～ 平成 19. 1.13
三 芳 町 長	鈴 木 英 美	平成 19. 1.14 ～ 平成 20. 8.20
三 芳 町 長	林 伊 佐 雄	平成 23. 1.14 ～ 平成 27. 3.31
三 芳 町 長	林 伊 佐 雄	平成 29. 4. 1 ～ 令和 3. 3.31
三 芳 町 長	林 伊 佐 雄	令和 5. 4. 1 ～

※平成17年10月1日上福岡市と大井町が合併し、ふじみ野市となる。

※平成30年4月1日からは入間東部地区事務組合の正副管理者となる。

歴代収入役

氏 名	就 任 期 間
原田 正一	昭和45. 11. 30～昭和51. 7. 6
原田 武文	昭和51. 10. 12～昭和54. 12. 25
小宅 知夫	昭和54. 12. 27～昭和56. 6. 30
荒井 勇次	昭和56. 8. 20～昭和57. 7. 31
小暮 昭二	昭和57. 10. 9～平成 2. 12. 19
岸 学	平成 3. 3. 22～平成11. 2. 21
岡田 忠雄	平成11. 9. 1～平成15. 6. 30
工藤 哲夫	平成15. 8. 25～平成17. 9. 30

平成19年4月より会計管理者をおく

歴代監査委員

代 表 監 査 委 員		議 会 選 出 監 査 委 員	
氏 名	就 任 期 間	氏 名	就 任 期 間
清水 武平	昭和45. 11. 30 ～ 昭和52. 12. 7	吉田 強郎	昭和45. 11. 30 ～ 昭和50. 4. 30
鈴木 啓司	昭和53. 1. 25 ～ 昭和61. 2. 5	瀬下 宏	昭和50. 6. 11 ～ 昭和54. 4. 30
鈴木 武雄	昭和61. 3. 26 ～ 平成 2. 3. 25	渋谷 貞夫	昭和54. 6. 8 ～ 昭和60. 3. 31
梶 清一	平成 2. 3. 26 ～ 平成 6. 3. 25	久保 卯作	昭和60. 6. 7 ～ 昭和62. 4. 30
齊藤 榮一	平成 6. 3. 26 ～ 平成10. 3. 25	久保 俊和	昭和62. 5. 18 ～ 平成元. 5. 1
鈴木 繁郎	平成10. 3. 26 ～ 平成11. 2. 28	土屋昭太郎	平成元. 5. 2 ～ 平成 3. 4. 30
落合佐和次	平成11. 6. 2 ～ 平成15. 6. 1	渡辺 巖	平成 3. 6. 25 ～ 平成 5. 3. 31
中野 武	平成15. 6. 4 ～ 平成19. 6. 3	光下 重之	平成 5. 5. 18 ～ 平成 7. 4. 30
武石 栄八	平成19. 6. 6 ～ 平成23. 6. 5	内田 宏之	平成 7. 6. 5 ～ 平成 9. 5. 6
早川 悦雄	平成23. 6. 15 ～ 平成27. 6. 14	岸川 彌生	平成 9. 5. 7 ～ 平成11. 4. 30
竹松紘一郎	平成27. 6. 26 ～ 令和元. 6. 25	吉野 一成	平成11. 6. 2 ～ 平成13. 3. 31
堀江 一男	令和元. 6. 26 ～ 令和 5. 6. 25	塩野 利夫	平成13. 5. 2 ～ 平成15. 4. 30
玉田 修	令和 5. 6. 26 ～	横田 英明	平成15. 6. 4 ～ 平成17. 5. 8
		大野 良平	平成17. 5. 9 ～ 平成19. 5. 31
		吉村美津子	平成19. 6. 6 ～ 平成21. 5. 12
		有山 茂	平成21. 5. 13 ～ 平成22. 6. 4
		大築 守	平成22. 7. 13 ～ 平成23. 4. 30
		梶 兼三	平成23. 6. 15 ～ 平成25. 3. 31
		吉村美津子	平成25. 5. 20 ～ 平成27. 4. 30
		山田 敏夫	平成27. 6. 26 ～ 平成28. 8. 31
		西 和彦	平成28. 9. 1 ～ 平成29. 5. 24
		川畑 勝弘	平成29. 5. 25 ～ 平成30. 3. 31
		根岸 操	平成30. 4. 20 ～ 令和元. 5. 31
		鈴木 淳	令和元. 6. 27 ～ 令和 3. 5. 13
		小高 時男	令和 3. 5. 24 ～ 令和 5. 4. 30
		篠田 剛	令和 5. 6. 29 ～

※平成30年度からは入間東部地区事務組合監査委員

歴 代 消 防 長

	氏 名	就 任 期 間
初 代	松 本 利 夫	昭和 45. 11. 1 ～ 昭和 55. 11. 30
第 2 代	青 木 正 三	昭和 55. 12. 1 ～ 昭和 61. 3. 31
第 3 代	杉 本 正 雄	昭和 61. 4. 15 ～ 平成 9. 3. 31
第 4 代	浅 海 伊佐男	平成 9. 4. 1 ～ 平成 18. 3. 31
第 5 代	長 嶋 亘	平成 18. 4. 1 ～ 平成 19. 3. 31
第 6 代	戸 口 守	平成 19. 4. 1 ～ 平成 25. 3. 31
第 7 代	大 島 英 男	平成 25. 4. 1 ～ 平成 26. 3. 31
第 8 代	長 堀 博 昭	平成 26. 4. 1 ～ 平成 28. 3. 31
第 9 代	塩 野 浩	平成 28. 4. 1 ～ 平成 31. 3. 31
第 10 代	玉 田 幸 三	平成 31. 4. 1 ～ 令和 3. 3. 31
第 11 代	木 村 誠	令和 3. 4. 1 ～ 令和 5. 3. 31
第 12 代	中 川 一 論	令和 5. 4. 1 ～

消 防 総 務

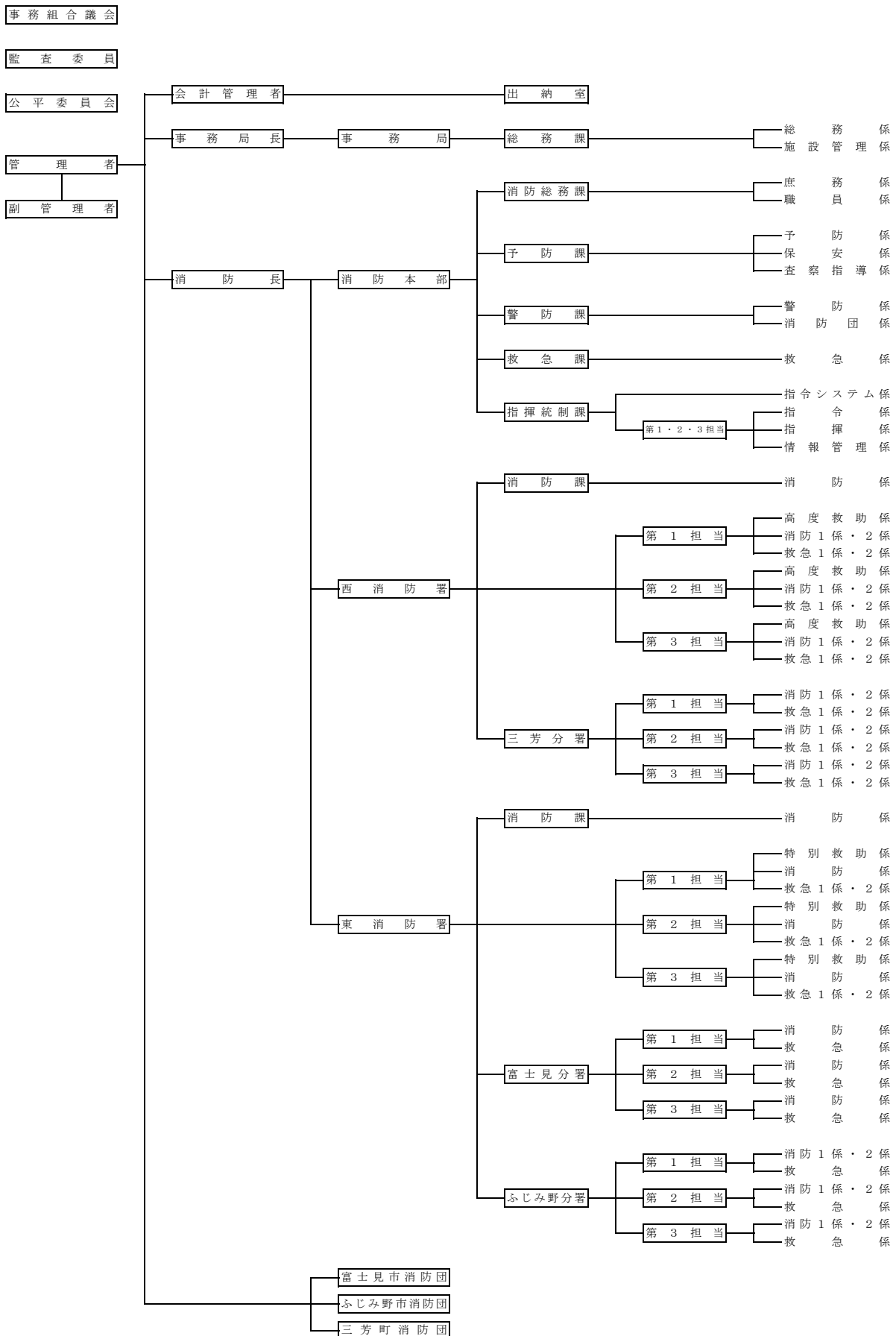
消防本部・消防署・分署の配置
入間東部地区事務組合機構図
沿革
事務分掌
消防予算（当初）
歳入
構成市町別負担金
歳出
歳出予算性質別内訳
消防庁舎の現況
階級・年齢別職員構成状況
階級・勤続年数別職員構成状況
等級及び職制上の段階ごとの職員数
年度別人口と職員数の推移
職員配置状況
職員の通勤距離別数（配属地別）
職員の現住地状況
職員の教育実施状況
職員の特殊技能資格状況
職員の表彰状況
基準消防力と現有消防力の比較
消防相互応援協定等の締結状況
消防音楽隊
広報・広聴活動状況

消防本部・消防署・分署の配置



入間東部地区事務組合機構図

令和5年4月1日現在



沿革

1. 入間東部地区消防組合が設立されるまでの沿革

昭和42年	4月	・福岡町消防本部、消防署が設立され、消防長事務取扱に、福岡町長柳川秋之助氏が就任し、消防職員16人、消防ポンプ自動車（団）1台を以て、消防業務を開始する。
	5月	・救急自動車（RS46VGクラウンカスタム改）を配備し、救急業務を開始する。
	10月	・福岡町大字福岡1500番地58に、消防本部、消防署庁舎（鉄筋コンクリート2階建、延308.55㎡）が完成する。 ・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・TXGF10型改）1台を配備する。
昭和43年	4月	・消防職員実員20人となる。
	9月	・消防ポンプ自動車（ニッサン・FR40型改）1台を配備する。
	12月	・消防用超短波無線電話装置（三和・150MLIB）を導入する。
昭和44年	3月	・柳川秋之助氏が退任し、消防長事務取扱に福岡町長、近藤克郎氏が就任する。 ・消防職員実員21人となる。
	4月	・消防職員定数条例を改正し、定員35人とする。
	6月	・赤バイ（ホンダ・ベンリーCD125）1台を配備する。
	7月	・指令車（ダットサン・ブルーバードP510型改）1台を配備する。
昭和45年	1月	・日本自動車工業会より、救急自動車（ニッサン・VH130型改）1台が寄贈される。
	4月	・消防職員実員27人となる。

2. 入間東部地区消防組合の沿革

昭和45年	11月	・福岡町、富士見町、大井町および三芳町は、広域にわたる消防業務の計画に合意して、消防の一部事務組合を設立し、名称を「入間東部地区消防組合」と定め、消防本部を福岡町大字福岡1500番地58（旧福岡町消防本部）に置く。 ・初代管理者に福岡町長近藤克郎氏、収入役に福岡町収入役、原田正一氏、消防長に松本利夫氏が就任する。
昭和46年	3月	・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・TXG10型改）3台を配備する。
	4月	・救急自動車（トヨタ・FS55S型改）1台を配備する。 ・消防職員実員41人となる。
	7月	・予防査察車（トヨタ・コロナバンTA10型）1台を配備する。 ・事務連絡車（トヨタ・カリーナTA10型）1台を配備する。
	10月	・富士見町大字鶴馬1420番地に富士見出張所仮庁舎を、大井町大字亀久保1234番地8に大井出張所仮庁舎を、三芳町大字藤久保965番地9に三芳出張所仮庁舎（軽量鉄筋プレハブ造平屋建、延128.25㎡）を開設し、消防業務を開始する。
	12月	・18メートル級はしご付消防ポンプ自動車（ニッサン・TC81H型改）1台を配備し、高層建物の災害防御の強化を図る。
昭和47年	4月	・富士見町、福岡町が市制施行となり、富士見市、上福岡市となる。 ・消防職員定数条例を改正し、定員85人とする。 ・消防職員実員69人となる。
	5月	・女性消防職員2人を採用し、実員71人となる。
	9月	・可搬ポンプ積載車（トヨタ・UP100型改）2台を配備する。
昭和48年	4月	・消防職員定数条例を改正し、定員133人となる。 ・消防職員実員101人となる。
	7月	・可搬ポンプ積載車（ニッサン・UPA321型改）1台を配備する。
	10月	・埼玉県共済農業協同組合会より救急自動車（トヨタ・RH18V型改）1台を寄贈される。
	11月	・広報車（ニッサン・キャラバンVE20型改）1台を配備する。

昭和49年	1月	・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・SBR320型改）1台を配備する。
	3月	・警防車（トヨタ・パブリカバンKP36V型改）1台を配備する。
	4月	・消防職員実員124人となる。
	5月	・大井町大字苗間161番地2に、消防本部・消防署の庁舎（鉄筋コンクリート造3階建、延1,084.57㎡）が完成し移転する。 ・旧消防本部・消防署庁舎を上福岡出張所とする。
	9月	・消防協会入間東部支部より中型バス（いすゞ・BK32型、42人乗）1台が寄贈される。
	10月	・救急自動車（トヨタ・RH18V型改）1台を配備する。
	12月	・消防本部の組織改正を実施し、従来の庶務係、予防係、警防係を課制とし、新たに企画広報課（企画広報係、査察係、生活安全係）を設け、庶務課（庶務係、管理係）、予防課（予防係、危険物係）、警防課（警防係、調査係、通信指令係）の4課10係とする。
昭和50年	1月	・救助工作車（いすゞ・SBR320型改）1台を配備し、救助活動の敏速化と強化を図る。
	3月	・地震対策用として、ミニ水そう積載車（トヨタ・KM10型改、水500リットル）1台を配備する。
	4月	・消防職員定数条例を改正し、定員162人とする。 ・消防職員実員143人となる。
	6月	・上福岡、富士見ロータリークラブより、小型乗用貨物車（三菱・ランサーバンA71V型）1台が寄贈される。
	8月	・上福岡出張所を上福岡分署と名称を改める。
	9月	・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・SBR320型改）1台を配備する。
昭和51年	7月	・組合収入役、原田正一氏が退任する。
	10月	・組合収入役に原田武文氏（上福岡市収入役）が就任する。
昭和52年	3月	・管理者、近藤克郎氏が退任する。 ・管理者に大井町長、駒井忠光氏が就任する。
	4月	・上福岡分署を上福岡出張所と名称を改める。
	5月	・富士見市水子2265番地に、みずほ台出張所庁舎（鉄骨ALC造2階建、延279.14㎡）が完成し、新設出張所として業務を開始する。
	7月	・消防資材運搬車（いすゞ・フラットローTLD23ZN型改）1台を配備する。
	11月	・消防ポンプ自動車（ニッサン・FHN60型改）1台を配備する。
	12月	・指令車（マツダ・ルーチェCLA42S型改）1台を更新する。
昭和53年	1月	・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・SCR320型改）1台を更新する。
	3月	・三芳町大字藤久保965番地9の三芳出張所庁舎（鉄骨ALC造2階建、延291.40㎡）が完成する。 ・救急自動車（トヨタ・HRH42VB型）1台を更新する。
	4月	・消防職員実員159人となる。
	7月	・ミニ広報車1台、ミニ警防車1台を配備する。（ダイハツ・バンHS60V型）
	10月	・上福岡ライオンズクラブより、軽乗用車（ミツビシ・アミーEA160型改）1台が寄贈される。
昭和54年	4月	・消防職員実員160人となる。
	6月	・東武不動産株式会社より、救急自動車（トヨタ・FS55V型改）1台が寄贈される。
	7月	・東武不動産株式会社より、水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・SCR371型改）1台が寄贈される。
	8月	・予防査察車（ニッサン・ブルーバードバンHVJ810型改）1台を更新する。
	11月	・消防本部、消防署の組織改正を実施し消防本部に次長制を敷き、従来の4課を庶務課（庶務係、管理係）、消防課（予防係、保安係、警備係）、広報課（広報係、生活安全係）の3課7係とした。消防署の署長を専任とし、署に5係（庶務、予防、警備、機械、通信指令）を置き、職員8人を配置する。
	12月	・組合収入役、原田武文氏が退任し、小宅知夫氏（上福岡市収入役）が就任する。

昭和55年	2月・炊飯設備を装備した救援車（いすゞ・TLD34型改）1台を配備し、消防職団員の長時間にわたる災害活動の現場において非常食等を賄えるようにする。 4月・消防署通信指令係を消防本部通信指令室に組織改正する。 6月・事務連絡車（トヨタ・カリーナETA41型）1台を更新する。 10月・消防職員定数条例を改正し、定員177人とする。 11月・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・KSSM4510型改水10トン）1台を配備する。 ・消防長、松本利夫氏が退任する。 12月・第2代消防長に青木正三氏が就任する。
昭和56年	2月・災害活動の迅速化を図るため、通信指令室に自動地図検索装置（FUI・F-100CKB型）を導入する。 4月・消防本部、消防署の組織改正を実施し消防本部の消防課、広報課を廃止、庶務課（庶務係、第1管理係、第2管理係）予防課（予防係、保安係、広報係）警防課（警防係、救急係）通信指令室（指令第1係、指令第2係）の3課1室10係とする。消防署に副署長を置き、従来の4係を廃止する。 ・消防職員実員167人となる。 ・管理者、駒井忠光氏が退任する。 5月・管理者に上福岡市長、田中喜三氏が就任する。 6月・組合収入役、小宅知夫氏が退任する。 8月・組合収入役に荒井勇次氏（上福岡市収入役）が就任する。 11月・富士見市山室1丁目1342-1に富士見出張所庁舎（鉄骨ALC造2階建、延359.02㎡）が完成し移転する。 ・消防広報紙創刊号を発行する。
昭和57年	1月・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・K-SDR320型改）1台を更新する。 2月・救急専用無線を導入し、救急通信の円滑化を図る。 ・38メートル級はしご付消防ポンプ自動車（日野・K-FW274AA型改）を配備する。 7月・組合収入役、荒井勇次氏が退任する。 10月・組合収入役に小暮昭二氏（上福岡市収入役）が就任する。 11月・大井町鶴ヶ岡1丁目3-40に大井出張所庁舎（鉄骨ALC造2階建、延338.35㎡）が完成し、移転する。 ・事務連絡車（スズキ・アルトM-SS40V型）1台を配備する。
昭和58年	4月・消防職員実員173人となる。 9月・小型バス（ニッサン・N-MCW40型-29人乗り）1台を更新する。 ・事務連絡車（ミツビシ・エコノM-A107型）1台を配備する。 11月・化学消防自動車（いすゞ・K-FDR370型改）1台を配備する。
昭和59年	1月・救急自動車（トヨタ・RH-18V型）1台を更新する。 2月・みずほ台出張所庁舎を増築する。（延288.47㎡） 4月・消防職員実員176人となる。 7月・事務連絡車（スバル・M-KR-1型）1台を更新する。
昭和60年	3月・救急自動車（ニッサン・L-FHGE23型）1台を更新する。 4月・富士見ロータリークラブより、広報車（ニッサン・サニーバンL-VB11型改）1台が寄贈される。 5月・複雑多様化する各種災害に対応するため、富士見出張所に訓練塔（鉄骨ALC造5階建、高さ15メートル）を設置する。
昭和61年	3月・消防本部庁舎を増改築する。（延1,429.70㎡） ・消防長、青木正三氏が退任する。 4月・第3代消防長に杉本正雄氏が就任する。 5月・東海興産株式会社並びに株式会社渡辺木材センターより、救急自動車（ニッサン・L-FHGE23型）1台が寄贈される。 8月・現場指導車（ニッサン・バネットN-KUC22型）1台を更新する。 10月・消防職員定数条例を改正し、定員195人とする。

昭和62年	3月・消防ポンプ自動車（ミツビシ・P-FE335B型改）1台を更新する。 ・予防車（ニッサン・サニーバンL-VB11型改）1台を更新する。 ・救急自動車（ニッサン・L-FEGE24型改）1台を更新する。 4月・消防職員実員179人となる。 ・大井町と人事交流による職員研修を実施する。 ・消防本部、消防署の組織改正を実施し、従来の警防課を廃止し、新たに防災対策室（防災対策係、指導係）を設ける。消防署に2係（警防係、救助係）と、法令に基づく特別救助隊を設置する。 ・消防モニター制度が発足する。 ・消防協力員制度が発足し、消防連絡所を地域に設置する。 5月・県下初の災害対策車（日野・レインボーP-AB115AA型改）1台を配備し、災害現場でのり災者救護及び現場対策本部の機能を装備する。 8月・消防情報テレホンサービスを導入する。（高千穂TK-A2・20回線） 10月・消防本部に隊員29人を以て消防音楽隊を発足する。
昭和63年	3月・消防庁長官より消防本部へ竿頭綬が授与される。 ・大阪府・柏原羽曳野藤井寺消防組合と消防行政各分野の交流による友好と将来にわたる親善を誓い、消防事務事業盟約を締結する。 ・救助工作車（ミツビシ・フソーP-FK416FX型改）1台を更新し、人命救助器具一式を装備する。 ・自治体消防発足40周年となる。 4月・消防職員実員183人となる。 ・消防本部の組織改正を実施し、庶務課に1係（秘書企画係）を新たに設ける。 9月・消防組合表彰条例を制定する。 10月・独居老人の急病、事故等の緊急事態に対処するため、高齢者情報管理室を上福岡出張所内に新設し「緊急時連絡システム」を導入する。 11月・「119番の日」の制定に伴い、「119番の日、第1回消防定例表彰式」を開催する。 ・消防音楽隊創立1周年記念演奏会を開催する。 12月・高所降下用救命装置（エアバック）を1基購入する。
平成元年	3月・密集住宅地の消防対策として10メートル級はしご付消防ポンプ自動車（いすゞ・NKR-58E）を配備する。 4月・消防職員実員186人となる。 ・消防署の組織改正を実施し、1係（救急係）を設ける。 ・埼玉県消防長会組合消防部会長に杉本正雄消防長が就任する。 ・全国消防長会組合消防委員会常任委員に杉本正雄消防長が就任する。 5月・10日14時46分三芳町食品倉庫火災発生、2棟全焼焼失面積3,266㎡消火活動12時間要す。 ・富士見ライオンズクラブから軽自動車（スバル・M-KNI）が寄贈される。 8月・消防本部庁舎建設審議会が発足し、委員16人の任命式が行われる。
平成2年	1月・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。 3月・本署に訓練塔（鉄骨造17メートル）が完成する。 4月・富士見ロータリークラブより火災予防活動費として助成金を贈呈される。 ・消防職員実員191人となる。 ・埼玉県第2ブロック消防長会会長及び埼玉県消防長会副会長に杉本正雄消防長が就任する。 5月・濃煙の現場活動に不可欠な空気呼吸器の移動式空気充填車（いすゞ・P-NKR58L型）を導入する。 7月・消防本部、消防署の組織改正を実施、従来の消防本部庶務課を廃止し総務課とし、防災対策室を廃止し防災対策課に、指導係を廃止し消防団係を設ける。消防署、消防出張所を中央消防署、富士見消防署、上福岡消防署の3消防署、大井分署、三芳分署、みずほ台分署の3分署とする。また各消防署に2係（庶務係、消防係）を設け組織の強化を図る。 11月・組合設立20周年記念式典を大井町中央公民館において実施する。 ・組合設立20周年記念誌「消防のあゆみ」を発刊する。 12月・組合収入役、小暮昭二氏が退任する。

平成3年	2月・司令車（トヨタ・クラウンE-MS135）1台を更新する。 3月・密集住宅地の消防対策として、小型動力ポンプ積載車（ダイハツ・M-S83P改）1台を配備する。 ・高齢者対策とし、車椅子リフター付高齢者対策用救急車（ニッサン・T-F TGE24改）1台を配備する。 ・組合収入役に岸 学氏（上福岡市収入役）が就任する。 4月・消防職員定数条例を改正し、定員214人とする。 ・消防職員実員194人となる。 6月・資材運搬車（ミツビシ・U-FE317B）1台を更新する。 8月・（財）日本消防協会より救急車（ニッサン・T-F TGE24）が寄贈される。 9月・女性看護婦2名を採用、救急車に同乗させる。全国初の「女性救急隊員」が誕生した。 ・「第12回六都県合同防災訓練」が入間東部地区管内で実施され、埼玉会場となった荒川河川敷には、約1万人80機関が参加し、各種訓練が行われた。 10月・近藤建設㈱より普通自動車（スズキ・E-TA01W）が寄贈された。 11月・連絡車（スズキ・V-JA11V）を更新する。 12月・密集住宅地の消防対策として10メートル級はしご付消防ポンプ自動車（いすゞ・U-NKR58E2N改）を配備する。
平成4年	4月・消防本部の組織改正を実施、新たに企画課（企画係、施設係）を設け、総務課を2係（秘書係、庶務係）とした。 ・消防職員実員201人となる。 ・看護婦2名を採用し救急車に同乗させる。 7月・救急功労機関表彰を埼玉県医師会会長より授賞する。 11月・当消防本部が開催地を担当し、全国消防長会組合消防委員会が自治省消防庁消防課長はじめ全国各都道府県の代表消防長が出席し、開催される。
平成5年	1月・消防団員に関する調査研究を目的として消防団員確保調査委員会を設置した。 3月・消防本部西側敷地内に、1階部分救急消毒室、2階部分通信指令室用第二庁舎（鉄骨ALC造2階建、延214.2㎡）が完成する。 4月・消防職員実員209人となる。 ・「救えますか、大切ないのち」をキャッチフレーズにして一般住民に対する地域ぐるみの応急手当の普及啓発を目的に「救急連絡協議会」を設立した。 ・自治体消防発足45周年記念式典を開催する。 ・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。 5月・消防本部の組織改正を実施し、総務課2係（庶務係、職員厚生係）、渉外課2係（秘書広報係、施設係）とした。 ・全国消防長会組合消防委員会副委員長に杉本正雄消防長が就任する。 ・高規格救急自動車（ニッサン・N-NG4YH41改）1台を配備する。 ・救急普及啓発広報車（ニッサン29人乗バス改造車）1台を配備する。 6月・心電図受信装置を管内10ヶ所の救急告示病院等に設置を完了し、医療機関との連携体制が確立する。 12月・消防本部北側訓練場用地を購入する。（468㎡） ・最新鋭の消防緊急通信指令システムⅡ型を導入し、運用開始する。
平成6年	3月・高規格救急自動車（ニッサン・U-UG4TH41改）をみずほ台分署に配備する。 ・消防職員定数条例を改正し、定員240人とする。 4月・消防職員実員217人となる。 ・完全週休2日制を導入する。 10月・女性隊員当直制度を開始する（全国で初めて女性救急隊員の当直を実施）。 ・小型バス（いすゞ・U-MR132D-29人乗）1台を更新する。

平成7年	1月・1月17日5時46分発生阪神・淡路大震災に、救助工作車、災害対策車及び隊員11名を災害応援救助活動のため派遣する。 ・水槽付消防ポンプ自動車（三菱・U-FM618H改）1台を更新する。 3月・水槽付消防ポンプ自動車（三菱・U-FM618GZW改）3台を更新する。 ・耐震性貯水槽60m³を消防本部西側訓練場に設置する。 ・災害対策用仮眠室（プレハブ平屋建）80.66m²消防本部北側訓練場に新築する。 ・機動二輪隊（モトクロスバイク125cc・6台）が職員13名で発足する。 4月・消防職員実員229人となる。 ・埼玉県防災航空隊に隊長及び隊員として各1名を派遣する。 ・埼玉県消防長会会長に杉本正雄消防長が就任する。 5月・全国消防長会理事に杉本正雄消防長が就任する。 8月・総務連絡車（トヨタ・カローラE-E104G）1台を更新する。 ・予防課に予防車（トヨタ・カローラE-E104G）1台を更新する。 9月・自治省消防庁より、緊急消防援助隊埼玉県部隊の代表消防機関として、県隊旗及び部隊旗が授与される。
平成8年	3月・水槽付消防ポンプ自動車（日産・KC-LK211NE改）1台を更新する。 ・高規格救急自動車（三菱・KCFG638E改）を上福岡消防署及び三芳分署に配備する。 ・災害用支援車（ベンツ・ウニモグ）及び災害対応多目的車（三菱・KCBG438F）の2台を中央消防署に配備する。 ・消防職員定数条例を改正し、定員252人とする。 4月・消防職員実員238人となる。 ・当組合が開催地を担当し、全国消防長会第47回関東支部総会を212消防本部294人の参加により開催する。 5月・消防本部の組織改正を実施し、総務課3係（庶務係、職員厚生係、財産管理係）及び新たに救急センターを設け救急課1係（救急係）とした。 ・彩の国レスキュー隊に登録。県内の大規模災害発生時の出動体制を整える。 11月・組合設立25周年記念誌「消防のあゆみ」を発刊する。
平成9年	2月・上福岡市川崎2丁目7番3号に上福岡消防署庁舎（鉄筋コンクリート造、地上2階・地下1階建、延1,367.64m²）が完成し移転する。 ・管理者、田中喜三氏が退任する。 3月・管理者に大井町長、島田行雄氏が就任する。 ・救助工作車Ⅲ型（ベンツ・ウニモグ）を中央消防署に配備する。 ・救助工作車Ⅱ型（日野・KCFX1JGBA改）を富士見消防署に配備する。 ・消防長、杉本正雄氏が退任する。 4月・第4代消防長に浅海伊佐男氏が就任する。 ・消防職員実員247人となる。 ・消防本部の組織改正を実施し、渉外課を総務課と統合する。 5月・入間東部地区危険物安全協会より普通自動車（トヨタ・E-E104G）が寄贈される。 9月・消防音楽隊創立10周年記念誌「住民とともに」を発刊する。 11月・消防署の組織改正を実施し、中央消防署を3課（消防課、救急救助課、指令課）とし、新たに指揮隊を設け組織の強化を図る。
平成10年	3月・日本消防協会より指揮広報車（日産・E-EU14）が交付される。 ・株式会社エスコレーションより普通自動車（日産・E-KBC23）が寄贈される。 4月・携帯電話からの119番通報受信（代表消防本部方式）を開始する。 ・消防職員実員249人となる。 8月・起震車（いすゞ・KC-NPR71LV）を中央消防署に配備する。
平成11年	2月・組合収入役、岸 学氏が退任する。 3月・管理者、島田行雄氏が退任する。 4月・管理者に富士見市長萩原定次郎氏が就任する。 ・消防職員実員251人となる。 ・火薬類の取締りに関する事務を開始する。 9月・組合収入役に岡田忠雄氏（上福岡市収入役）が就任する。 ・資機材運搬車（三菱・KK-FE62EE）1台を更新する。 11月・埼玉県内初となる、入間東部地区消防官友の会が発足する。

平成12年	2月・上福岡指揮車（ニッサン・GF-PC24）1台を更新する。 3月・38メートル級はしご付消防自動車（ニッサンディーゼル・FJ550LN）を更新する。 7月・消防本部、中央消防署の電話をダイヤルイン方式に変更する。 8月・管理者、萩原定次郎氏が退任する。 ・管理者に三芳町長林 孝次氏が就任する。 10月・高規格救急自動車（ニッサン・GE-FLWGE50）を富士見消防署に配備する。 ・化学消防ポンプ車（いすゞ・KK-FSR33G4V改）を1台更新する。 ・訓練指導車（ミツビシ・GF-PA4W）を1台更新する。 11月・消防組合設立30周年記念誌「消防のあゆみ」を発刊する。
平成13年	3月・消防職員定数条例を改正し、定員272人とする。 4月・液化石油ガス設備工事の届出等に関する事務を開始する。 10月・情報公開制度を開始する。 ・消防ポンプ自動車（日野・KK-XZU331M）1台を更新する。 11月・高規格救急自動車（トヨタ・GE-CCH38S）1台を更新する。 12月・さいたま市消防本部と消防相互応援協定を締結する。
平成14年	4月・消防職員実員259人となる。 ・高圧ガス保安法に基づく事務を開始する。 ・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。 11月・災害対応特殊救急自動車（ニッサン・GE-FLWGE50改）1台を更新する。
平成15年	2月・三芳町北永井617番地8に三芳分署庁舎（鉄筋コンクリート一部鉄骨造3階建「訓練塔4階」、延1,437.72㎡）が完成し移転する。 3月・（社）日本損害保険協会より高規格救急自動車（トヨタ・TC-VCH38S）1台が寄贈され、5月から大井分署に配備し運用を開始する。 ・管理者、林孝次氏が退任する。 4月・管理者に上福岡市長武藤博氏が就任する。 ・消防職員実員266人となる。 ・消防本部の組織改正を実施し、総務課、予防課、警防課（防災対策課を警防課に変更、防災係から警防防災係に変更、中央消防署指令課を消防指令センターに変更、並びに3交代制とし警防課へ加える）、救急課（中央消防署救急救助課から独立）の4課となる。 6月・組合収入役、岡田忠雄氏が退任する。 8月・組合収入役に工藤哲夫氏（上福岡市収入役）が就任する。
平成16年	4月・消防職員実員269人となる。 ・消防音楽隊の演奏活動を支援する、ボランティア制度を開始する。 10月・消防本部の組織改正を実施し、警防課に消防訓練センターを加える。 ・10月23日17時56分に発生した新潟県中越地震に、緊急消防援助隊として救助工作車支援車、高規格救急車の計3台と隊員13名を派遣する。 ・富士見市鶴馬1850番地1に富士見消防署庁舎（鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建、延1,541.68㎡）及び消防訓練場（鉄筋コンクリート造「A塔6階建、延328.31㎡」、「B塔3階建、延558.75㎡」、「C塔3階建、延468.75㎡」）が完成し移転する。 12月・高規格救急自動車（トヨタ・TC-VCH38S）1台を更新する。

平成17年	2月・入間東部地区消防組合ホームページの運用を開始する。 ・消防ポンプ自動車（日野・PD-XZU334M）1台を更新する。 ・三芳分署西側隣地を訓練用地とし購入する。（452.00㎡） 3月・管理者、武藤博氏が退任する。 4月・管理者に大井町長島田行雄氏が就任する。 ・消防職員実員271人となる。 7月・気管挿管認定救急救命士の運用開始する。 ・消防広報紙を構成市町の広報紙に組入れる。 8月・圧縮空気充填設備を富士見署に配備する。 9月・管理者、島田行雄氏が退任する。 ・組合収入役、工藤哲夫氏が退任する。 10月・構成市町の上福岡市と大井町の廃置分合により、ふじみ野市が誕生する。 11月・管理者にふじみ野市長島田行雄氏が就任する。 12月・災害用重機（ミツビシキャタピラー・303CR-MS3CQ）を配備する。 ・災害対応多目的車（いすゞ・PANPR81N）を配備する。
平成18年	2月・高規格救急自動車（トヨタ・TCVCH38S）1台を更新する。 3月・消防長、浅海伊佐男氏が退任する 4月・第5代消防長に長嶋亘氏が就任する。 ・消防本部の組織改正を実施し、消防訓練センターが警防課から独立し、訓練指導課に変更。訓練係を設け組織の強化を図る。 ・携帯電話からの119番通報を直接受信方式に切り替える。 ・入間東部地区防火安全協会より普通自動車（トヨタ・ラクティスX）が寄贈される。 ・薬剤投与認定救急救命士の運用を開始する。 6月・AED（自動体外式除細動器）を中央署、富士見消防署に設置する。 9月・職員採用試験を共同試験方式で熊谷市・立正大学で実施する。 10月・消防緊急通信指令施設改修工事を実施する。 12月・消防職員に対する懲戒処分基準を制定する。
平成19年	3月・管理者、島田行雄氏が退任する。 ・消防長、長嶋亘氏が退任する。 ・全国初の試みである聴覚障害者を対象とした入間東部地区聴覚障害者防災訓練を実施する。 4月・管理者に富士見市長浦野清氏が就任する。 ・第6代消防長に戸口守氏が就任する。 ・収入役制度の廃止に伴い会計管理者を置く。 ・消防本部の組織改正を実施し、指令センターが警防課から独立し、指令課に変更。訓練指導課を富士見消防署に加え指導課に変更。訓練指導係を指導係に変更し、組織の強化を図る。 6月・第34回埼玉県消防救助技術指導会が本組合東消防署消防訓練場で開催される。 ・全署々庁舎及び水槽付ポンプ車両にAED（自動体外式除細動器）を配備する。 8月・消防訓練場に、空気充填設備（バウアーコンプレッサー・V150-11-5）が完成する。 10月・災害用バス（日野・リエッセII GX・BDG-XZB50M・29人乗り）を配備する。 12月・救急指導車（スズキ・エブリイ・EBD-DA64V）を配備する。 ・消防音楽隊創立20周年記念演奏会が、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみで実施される。
平成20年	3月・水槽付消防ポンプ自動車（日野・BDG-GD7JGWA型改）1台を更新する。 ・小型水槽付消防ポンプ自動車（日野・BDG-NMR85N・水800ℓ積載）1台を更新する。 2月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 ・消防署の組織規程を一部改正し、富士見消防署に特別救助隊を置き、救助活動体制の充実強化を図る。 ・総務連絡車（スズキ・DBA-MH22S）1台を更新する。 8月・管理者、浦野清氏が退任する。 ・管理者、鈴木英美氏が就任する。 9月・地震体験車（いすゞ・BKG-NPR85AN）1台を更新する。 10月・中央指揮車（トヨタ・CBF-TRH221K）を更新する。 12月・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（日野・BDG-GX7JGWA改）1台を更新する。

平成21年	2月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 7月・株式会社三谷製作所より寄贈された住宅用火災警報器を抽選により住民に配布し、消防職員及び団員により、取付作業を実施する。 11月・みずほ連絡車（スズキ・エブリイ・EBD-DA64V）1台を更新する。
平成22年	2月・購入した住宅用火災警報器の取付が困難という住民を対象に、消防職員及び団員により、取付作業を実施する。 ・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（日野・BDG-GX7JGWA改）1台を更新する。 ・水槽付消防ポンプ自動車（日野・BDG-GD7JGWA改）1台を更新する。 3月・災害対応特殊救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 4月・消防署の組織規程を一部改正し、指導課を中央消防署に加え、組織の強化を図る。 6月・入間東部地区消防官友の会創立10周年記念式典が富士見市民文化会館キラリ☆ふじみで開催される。 8月・消防組合設立40周年記念誌を発刊する。（消防年報に組込み） 10月・富士見連絡車（スズキ・エブリイ・EBD-DA64V）1台を更新する。 11月・第16回埼玉県下消防音楽隊合同演奏会が、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみで開催される。
平成23年	1月・管理者、鈴木英美氏が退任する。 ・管理者、高畑博氏が就任する。 2月・15メートル級はしご付消防ポンプ自動車（日野・BDG-GD7JG）1台を更新する。 ・高規格救急自動車（ニッサン・CBF-EPWGE50改）1台を更新する。 ・上福岡連絡車（スズキ・エブリイ・EBD-DA64V）1台を更新する。 3月・水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・PKG-FSR90S2改）1台を更新する。 ・3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震に伴い、緊急消防援助隊埼玉県部隊に登録している消火隊、救急隊、後方支援隊を被災地へ災害派遣する。 4月・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。 6月・塩野建設工業株式会社より衛星電話（三菱電機・ワイドスターII衛星可搬端末01）1台、放射線測定器（富士通電機・NHC710B1-AYYYY-S）1器、プロジェクター（エプソン・EH-DM3）一式、子供用消防服一式（制服3着・防火服3着・救助服2着）、扇風機（三菱電機・R30J-RM）24台が寄贈される。 9月・入間東部地区消防官友の会及び入間東部地区防火安全協会より火災調査専用車両（スズキワゴンR・DBA-MH23S）が寄贈される。 12月・ふじみ野市大井中央一丁目1番地内に消防本部・消防署移転用地を購入する。（3,345.71㎡）
平成24年	3月・救助工作車Ⅲ型（日野・SDG-GX7JGAA改）1台を更新する。
平成25年	1月・ふじみ野市大井中央一丁目1番地内に消防本部・消防署移転用地を購入する。（1,654㎡） 3月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 ・救助工作車Ⅱ型（日野・SDG-GX7JGAA改）1台を更新する。 ・消防職員定数条例を改正し、定員281人とする。 ・管理者、高畑博氏が退任する。 ・消防長、戸口守氏が退任する。 4月・管理者、星野信吾氏が就任する。 ・第7代消防長に大島英男氏が就任する。 6月・塩野建設工業株式会社より総務連絡車（マツダ・スクラム・HBD-DG64V）が寄贈される。 7月・再任用職員の採用を開始する。 8月・ふじみ野市大井中央一丁目1番19号に消防本部・消防署の庁舎（基礎免震、鉄筋コンクリート造4階建、延5,655.59㎡）及び消防訓練棟（鉄筋コンクリート造「A棟6階建、205.32㎡」、「B棟3階建、392.16㎡」）が完成し移転する。 ・高機能消防指令センター総合整備事業（Ⅱ型）が完成し、運用を開始する。 ・消防本部・消防署の組織改正を実施し、指令課と指揮隊を統合して消防本部に指揮統制課を設ける。中央消防署と大井分署を統合して西消防署に、富士見消防署を東消防署に名称を変更して2消防署とするほか、上福岡消防署をふじみ野分署に、みずほ台分署を富士見分署に名称を変更して、三芳分署と併せて3分署とする。 ・消防庁舎落成記念・音楽隊創立25周年記念演奏会が、消防本部・西消防署庁舎4階大講堂で実施される。

平成26年	3月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 ・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH221S）を東消防署に更に1台を配備する。 ・消防長、大島英男氏が退任する。 4月・第8代消防長に長堀博昭氏が就任する。 ・消防職員実員281人となる。 ・消防救急無線をデジタル方式へと移行し、運用を開始する。 6月・第41回埼玉県消防救助技術指導会が本消防組合東消防署消防訓練場で開催される。 ・災害用モーターバイク（ヤマハ・トリッカー・JBK-DG16J）4台を更新する。 ・総務連絡車（トヨタ・サクシード・DBE-NCP51V）1台を更新する。
平成27年	1月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 3月・資器材運搬車（日野・TKG-XZU710M）1台を更新する。 ・指揮広報車（トヨタ・CBF-TRH226K）1台を更新する。 ・管理者、星野信吾氏が退任する。 4月・管理者、林伊佐雄氏が就任する。 6月・第42回埼玉県消防救助技術指導会が本組合東消防署消防訓練場で開催される。 ・予防連絡車（トヨタ・サクシード・DBE-NCP160V）1台を更新する。 7月・第44回消防救助技術関東地区指導会が本組合消防訓練場で開催される。 8月・第44回全国消防救助大会において、本消防組合代表のロープブリッジ救出チームが1位入賞する。 11月・日本消防協会より総務4号車（ニッサン・パネット・DBA-M20）が交付される。
平成28年	2月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 3月・化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（日野・SDG-GX7JGAA改）1台を更新する。 ・消防長、長堀博昭氏が退任する。 4月・第9代消防長に塩野浩氏が就任する。 ・消防署の組織改正を実施し、従来の隊を係へと名称変更を実施する。 5月・指揮統制連絡車（スズキ・エブリィV・HBD-DA17V）1台を更新する。 8月・訓練指導車（トヨタ・DBA-ZRR80G）1台を更新する。 ・「第37回九都県市合同防災訓練 埼玉県会場」及び「埼玉県・ふじみ野市総合防災訓練」が入間東部地区管内で実施され、会場となったふじみ野市役所東側広場には、約8千人115機関が参加し、各種訓練が行われた。
平成29年	2月・三芳町で大規模倉庫火災が発生し、約45,000㎡を焼損し消火活動に13日間（296時間）を要す。 ・（公財）日本消防協会会長が来庁し、三芳町倉庫火災の消火活動に対し激励を受ける。 ・災害対応特殊救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 ・災害用支援車（日野・SDG-GX7JKAA）1台を更新する。 3月・管理者、林伊佐雄氏が退任する。 4月・管理者、高畑博氏が就任する。 ・ふじみ野市との人事交流により相互1名の職員研修を実施する。 ・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。 9月・東広報車（トヨタ・DBA-ZRR80G）1台を更新する。 ・消防ポンプ自動車（日野・TKG-XZU685M）1台を更新する。 11月・消防音楽隊創立30周年記念演奏会がふじみ野市勤労福祉センターで実施される。
平成30年	2月・株式会社エストコーポレーションより広報車（ニッサン・DBA-C27）が1台寄贈され、消防艀装し、三芳広報車1台を更新する。 ・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。

3. 入間東部地区事務組合の沿革

平成30年	4月・入間東部地区消防組合と入間東部地区衛生組合が統合し、入間東部地区事務組合が発足する。 ・緊急消防援助隊埼玉県大隊消火小隊として災害対応特殊消防ポンプ自動車（日野・TKG-XZU685M）1台を新たに追加登録する。 ・埼玉中央生コン協同組合及び東和アークス株式会社と大規模火災発生時の消火用水搬送協力に関する協定を締結する。 9月・高機能消防指令センターⅡ型情報系更新事業が完了する。 ・消防職員定数条例を改正し、定員290人とする。 10月・消防署の組織規程を一部改正し、西消防署特別救助隊を再編し、埼玉県内10番目となる高度救助隊を発足する。 ・富士見市災害対策協力会、ふじみ野市災害対策協会及び三芳町災害対策協力会と大規模な火災その他の災害等発生時の消防活動支援協力に関する協定を締結する。 11月・聴覚、言語機能等の障害で音声による119番通報が困難な者が多機能携帯電話のインターネットを活用し、消防機関へ緊急通報を行うことができるNet119緊急通報システムの運用を開始する。 12月・地震体験車（いすゞ・TPG-NPR85AN）1台を更新する。
平成31年	2月・塩野建設工業株式会社より煙体験ハウス（太陽工業・エアクイック3）が寄贈される。 3月・管理者、高畑博氏が退任する。 ・消防長、塩野浩氏が退任する。 4月・管理者、星野光弘氏が就任する。 ・第10代消防長に玉田幸三氏が就任する。 ・富士見市との人事交流により相互1名の職員研修を実施する。 ・消防職員実員283人（再任用職員1名を含む。）となる。 ・消防本部の組織改正を実施し、庶務係と管理係を統合して消防総務課庶務係とする。
令和元年	5月・元号が「令和」に改められる。 6月・富士見市大字水子字台下4059番1及び4060番内に東消防署富士見分署移転用地を購入する。（1,572.09㎡）
令和2年	2月・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）1台を更新する。 3月・38メートル級はしご付消防自動車（ヒノ・2DG-FRIAJA改）1台を更新する。 ・塩野建設工業株式会社から水害用救助ボート（アキレス・WA-85）2艇が寄贈される。 ・高規格救急自動車（トヨタ・CBF-TRH226S）を新たに1台増車し、西消防署に暫定配備する。 4月・消防職員実数286人（再任用職員2名を含む。）となる。 ・埼玉県防災航空隊に隊員1名を派遣する。 ・高規格救急自動車8台体制を開始し、暫定的に西2号車と乗換え運用とする。 ・ふじみ野市災害対策協会及び三芳町災害対策協力会と災害発生時の無人航空機を活用した消防活動支援協力に関する協定を締結する。 5月・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消防業務支援として、株式会社エストコーポレーション、塩野建設工業株式会社、三協測量設計株式会社、ミヨシトータルサービス株式会社の4社から高機能マスク・フェイスシールド・ゴム手袋が寄附され、更に株式会社東京カネカフードから高機能マスクが寄附される。 12月・日本消防協会よりニッサン・エクストレイル（DBA-NT32）が交付される。
令和3年	1月・高規格救急自動車（トヨタ・3BF-TRH226S）1台を更新する。 2月・小型水槽付消防ポンプ自動車（ヒノ・2RG-XZU640M）1台を更新する。 3月・高規格救急自動車（トヨタ・3BF-TRH226S）1台を新規整備する。 ・ふじみ野広報1号車（三菱・デリカ・3DA-CV1W）1台を更新する。 ・富士見市大字水子4060番1に東消防署富士見分署の庁舎（鉄筋コンクリート造2階建、延210.00㎡）が完成し、移転する。 ・管理者、星野光弘氏が退任する。 ・消防長、玉田幸三氏が退任する。 4月・管理者、林伊佐雄氏が就任する。 ・第11代消防長に木村誠氏が就任する。 ・三芳町との人事交流により相互1名の職員研修を実施する。 ・消防職員実員289人（再任用2名含む。）となる。 ・西消防署三芳分署に救急隊1隊を新設し、救急隊8隊体制を開始する。 5月・入間東部地区防火安全協会より事務連絡車（トヨタ・シエンタ・5BA-NSP170G）が寄贈される。

12月・高規格救急自動車（トヨタ・3BF-TRH226S）1台を新規整備する。

令和4年 4月・消防職員実員289人（再任用1名含む。）となる。

令和5年 2月・高規格救急自動車（トヨタ・3BF-TRH226S）1台を更新する。
3月・水槽付消防ポンプ自動車（ヒノ・2DG-GD2ABA）1台を更新する。
・小型水槽付消防ポンプ自動車（ヒノ・2RG-XZU640M）1台を更新する。
・管理者、林伊佐雄氏が退任する。
・消防長、木村誠氏が退任する。
4月・管理者、高畑博氏が就任する。
・第12代消防長に中川一諭氏が就任する。
・ふじみ野市との人事交流により相互1名の職員研修を実施する。
・消防職員実員287人となる。

消 防 本 部 の 事 務 分 掌

消防総務課	庶務係	(1) 消防に係る重要施策の企画に関する事。 (2) 消防の組織に関する事。 (3) 消防力の整備計画に関する事。 (4) 消防の予算及び決算に関する事。 (5) 消防に係る起債及び国庫補助並びに県費補助に関する事。 (6) 消防長会に関する事。 (7) 消防広報に関する事。 (8) 消防統計並びに消防年報の編集及び発行に関する事。 (9) 消防本部の公印の保管に関する事。 (10) 図書 of 管理に関する事。 (11) 職場調整会議の庶務に関する事。 (12) 情報公開に係る連絡調整等に関する事。 (13) 消防に係る公有財産の取得、管理及び処分に関する事。 (14) 消防に係る財産台帳及び備品台帳の整備に関する事。 (15) 執務環境の研究及び改善に関する事。 (16) 消防資機材の研究及び開発に関する事。 (17) 消防に係る施設の整備及び管理に関する事。 (18) 消防に係る物品の購入調達及び支給に関する事。 (19) 所管する財産に関する事。 (20) 前各号に掲げるもののほか、他の課に属さない事。
	職員係	(1) 消防職員の任免、分限、懲戒及び服務その他身分に関する事。 (2) 消防職員の研修及び人事交流に関する事。 (3) 消防職員の給与等に関する事。 (4) 消防職員の募集、選考及び試験に関する事。 (5) 消防職員の賞じゅつに関する事。 (6) 消防職員の福利厚生及び健康管理に関する事。 (7) 事務推進委員会の庶務に関する事。 (8) 消防職員の安全衛生管理に関する事。 (9) 消防職員委員会の庶務に関する事。 (10) 消防に係る貸与品の購入調達並びに支給及び貸与に関する事。 (11) 所管する財産に関する事。

予防課	予 防 係	(1) 火災予防の企画及び指導に関すること。 (2) 火災予防の広報及び広聴に関すること。 (3) 建築確認等の同意に関すること。 (4) 消防用設備等及び特殊消防用設備等に関すること。 (5) 建築物の事前協議及び開発行為等に関わる消防の指導に関すること。 (6) 幼年消防の組織に関すること。 (7) 入間東部地区事務組合火災予防条例（平成30年条例第57号。以下「火災予防条例」という。）に関すること。 (8) 所管する財産に関すること。
	保 安 係	(1) 危険物製造所等の許認可に関すること。 (2) 危険物の取締り及び保安指導に関すること。 (3) 危険物取扱者及び危険物保安監督者の育成指導に関すること。 (4) 高圧ガス、液化石油ガス、火薬類、放射性同位元素、劇物及び毒物の火災予防措置に関すること。 (5) 防火安全協会に関すること。 (6) 火災予防条例に関すること。 (7) 所管する財産に関すること。 (8) その他危険物事務に関すること。
	査 察 指 導 係	(1) 立入検査に関すること。 (2) 違反対象物の改善及び指導に関すること。 (3) 防火対象物の防火指導に関すること。 (4) 防火管理者の育成指導及び講習に関すること。 (5) 自衛消防組織に関すること。 (6) 防火及び防災対象物点検報告に関すること。 (7) 防火及び防災対象物点検報告の特例認定に関すること。 (8) 防災管理に関すること。 (9) 火災予防措置命令に関すること。 (10) 火災予防条例に関すること。 (11) 所管する財産に関すること。
警防課	警 防 係	(1) 警防対策及び消防防災の総括に関すること。 (2) 警防計画の作成に関すること。 (3) 機関員の育成及び技術指導に関すること。 (4) 災害情報の収集に関すること。 (5) 警防対策本部に関すること。 (6) 消防水利に関すること。 (7) 出初式及び防災訓練に関すること。 (8) 水災、地震等の消防対策に関すること。 (9) 防災行政における構成市町との連絡調整に関すること。 (10) 住民の防火指導に関すること。 (11) 武力攻撃事態等における国民保護のための措置に関する法律(平成16年法律第112号)に関すること。 (12) 警防計画に基づく演習及び訓練に関すること。 (13) 緊急消防援助隊に関すること。 (14) 消防相互応援協定に関すること。 (15) 危機管理対策に関すること。 (16) 防災館に関すること。 (17) 消防車両等の整備及び管理に関すること。 (18) 所管する財産に関すること。
	消 防 団 係	(1) 消防団事務に関すること。 (2) 消防団員の表彰及び公務災害補償に関すること。 (3) 消防団員の研修及び訓練に関すること。 (4) 消防団諮問委員会に関すること。 (5) 消防協会に関すること。 (6) 所管する財産に関すること。

救急課	救急係	(1) 救急業務の統括に関すること。 (2) 救急業務の高度化推進に関すること。 (3) 救急隊員の資格等救急制度に関すること。 (4) 救急隊の教育訓練計画の立案に関すること。 (5) 応急処置の普及及び救命講習会に関すること。 (6) 救急医療機関の連絡調整に関すること。 (7) 救急医療検討委員会に関すること。 (8) 救急統計及び報告に関すること。 (9) 管内情勢の調査及び救急対策に関すること。 (10) 所管する財産に関すること。
	指令システム係	(1) 消防指令システムの整備に関すること。 (2) 消防無線システムの整備に関すること。 (3) 所管する財産に関すること。
指揮統制課	指令係	(1) 災害現場等の情報収集、連絡及び警防対策本部への報告に関すること。 (2) 災害通信の受信及び指令に関すること。 (3) 医療機関その他関係機関の把握及び連絡に関すること。 (4) 出動隊の管制及び指令に関すること。 (5) 防災行政無線に関すること。 (6) 防災情報システムに関すること。 (7) 消防通信指令施設の維持管理に関すること。 (8) 気象情報の収集及び受理伝達に関すること。 (9) 消防通信統計に関すること。 (10) その他通信指令業務に関すること。 (11) 所管する財産に関すること。
	指揮係	(1) 災害現場等の部隊運用及び指揮に関すること。 (2) 災害現場等の情報収集、安全管理、命令の伝達及び警防対策本部への報告に関すること。 (3) 災害等の調査及び指導に関すること。 (4) 災害通信の受信及び指令に係る補助に関すること。 (5) 火災調査書類に関すること。 (6) 所管する財産に関すること。
	情報管理係	(1) 緊急時連絡情報の受信及び連絡に関すること。 (2) 構成市町主管課との連絡調整に関すること。 (3) 緊急時連絡システムの維持管理に関すること。 (4) 高齢者情報の統計及び台帳の保管に関すること。 (5) 所管する財産に関すること。

消防署・分署の事務分掌

西消防署・東消防署	消防課	消防係	(1) 消防本部及び消防署間の連絡調整に関する事。 (2) 消防署の庶務に関する事。 (3) 消防署に係る公印の保管に関する事。 (4) 文書の保管に関する事。 (5) 消防用車両の維持管理に関する事。 (6) 署員の服務規律及び安全管理に関する事。 (7) 消防統計に関する事。 (8) 備品の維持管理に関する事。 (9) 入間東部地区事務組合火災予防条例(平成30年条例第57号)の届出事務に関する事。 (10) 災害の警戒、防御及び調査に関する事。 (11) 消防係、救助係及び救急係の運用に関する事。 (12) 消防水利施設の維持管理に関する事。 (13) 消防団、事業所及び住民の消防訓練に関する事。 (14) 水災、地震等の消防活動に関する事。 (15) 活動訓練計画及び実施に関する事。 (16) 管内情勢の調査及び警防対策に関する事。 (17) 消防協力者の表彰に関する事。 (18) 救助統計及び報告に関する事。 (19) 救助技術の研究及び救助訓練に関する事。 (20) 救助用資機材の管理に関する事。 (21) 救助隊員の安全管理に関する事。 (22) 教育訓練の研究及び実施に関する事。 (23) 火災等の証明に関する事。 (24) 防火管理者及び消防計画の届出、指導に関する事。 (25) 立入検査に関する事。 (26) 違反対象物の改善及び指導に関する事。 (27) 消防訓練場の施設の整備及び維持管理に関する事。 (28) 災害の情報収集及び原因調査に関する事。 (29) 火災予防の広報、公聴及び指導に関する事。 (30) 火災等の調査、報告及び統計に関する事（西消防署に限る。）。 (31) 消防署の予算に関する事（西消防署に限る。）。 (32) 救助指導会に関する資機材の管理に関する事（東消防署に限る。）。 (33) 救助指導会事務及び訓練に関する事（東消防署に限る。）。 (34) 自家用給油取扱所の維持管理及び運用に関する事（西消防署に限る。）。 (35) 火災調査書類に関する事。 (36) 所管する財産に関する事（西消防署に限る。）。
-----------	-----	-----	---

西消防署・東消防署	高度救助係・特別救助係・消防係・救急係	(1) 災害現場指揮及び指導に関すること。 (2) 災害等の現場における情報収集、安全管理、命令の伝達及び警防対策本部への報告に関すること。 (3) 災害等の現場活動に関すること。 (4) 火災予防査察に関すること。 (5) 火災予防の広報、公聴及び指導に関すること。 (6) 警防調査に関すること。 (7) 管内情勢の調査及び警防対策に関すること。 (8) 消防水利施設の維持管理に関すること。 (9) 消防車両等の維持管理に関すること。 (10) 活動訓練の計画及び実施に関すること。 (11) 消防団、事業所及び住民の消防訓練に関すること。 (12) 消防技術の研究に関すること。 (13) 火災等の調査、報告、統計及び証明に関すること。 (14) 火災調査書類に関すること。 (15) 救急業務及び救急指導に関すること。 (16) 救急資器材及び救急薬品の維持管理に関すること。 (17) 消毒室の管理に関すること。
-----------	---------------------	--

消 防 予 算（当初）

歳入

（単位：千円）

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	予算額	構成割合	予算額	構成割合	予算額	構成割合
1. 分担金及び負担金	2,999,442	87.3%	3,097,222	77.7%	3,256,314	94.3%
2. 使用料及び手数料	2,928	0.1%	2,938	0.1%	2,912	0.1%
3. 国庫支出金	1	0.1%未満	1	0.1%未満	2	0.1%未満
4. 県支出金	2,258	0.1%	1	0.1%未満	1	0.1%未満
5. 財産収入	123,627	3.6%	9,248	0.2%	3,090	0.1%
6. 寄附金	300	0.1%未満	300	0.1%未満	300	0.1%未満
7. 繰入金	1	0.1%未満	1	0.1%未満	1	0.1%未満
8. 繰越金	11,300	0.3%	11,300	0.3%	11,300	0.3%
9. 諸収入	921	0.1%未満	8,939	0.2%	932	0.1%未満
10. 組合債	296,650	8.6%	855,600	21.5%	179,800	5.2%
総 額	3,437,428	100.0%	3,985,550	100.0%	3,454,652	100.0%

構成市町別負担金

（単位：円）

年度	構成市町	常備消防費	非常備消防費	合計
令和3年度	富 士 見 市	1,131,678,446	46,180,000	1,177,858,446
	ふ じ み 野 市	1,150,753,339	47,156,000	1,197,909,339
	三 芳 町	596,699,215	26,975,000	623,674,215
	計	2,879,131,000	120,311,000	2,999,442,000
令和4年度	富 士 見 市	1,170,393,594	51,627,000	1,222,020,594
	ふ じ み 野 市	1,195,192,146	46,420,000	1,241,612,146
	三 芳 町	606,916,260	26,673,000	633,589,260
	計	2,972,502,000	124,720,000	3,097,222,000
令和5年度	富 士 見 市	1,232,420,159	41,087,000	1,273,507,159
	ふ じ み 野 市	1,261,199,442	53,853,000	1,315,052,442
	三 芳 町	639,286,399	28,468,000	667,754,399
	計	3,132,906,000	123,408,000	3,256,314,000

歳出

(単位：千円)

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	予算額	構成割合	予算額	構成割合	予算額	構成割合
議 会 費	-	-	-	-	-	-
総 務 費	-	-	-	-	-	-
消 防 費	2,836,899	71.2%	2,950,463	85.4%	3,119,386	90.3%
公 債 費	600,228	15.1%	1,034,786	30.0%	334,965	9.7%
諸 支 出 金	301	0.1%未満	301	0.1%未満	301	0.1%未満
予 備 費	-	-	-	-	-	-
総 額	3,437,428	100.0%	3,985,550	100.0%	3,454,652	100.0%

歳出予算性質別内訳

(単位：千円)

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	予算額	構成割合	予算額	構成割合	予算額	構成割合
人 件 費	2,443,837	71.1%	2,439,664	61.2%	2,536,302	73.4%
扶 助 費	32,005	0.9%	30,395	0.8%	33,900	1.0%
物 件 費	233,051	6.8%	213,945	5.4%	271,197	7.8%
維 持 補 修 費	5,648	0.2%	15,818	0.4%	13,263	0.4%
補 助 費	48,899	1.4%	47,444	1.2%	46,986	1.4%
公 債 費	600,228	17.5%	1,034,786	26.0%	334,965	9.7%
普 通 建 設 事 業 費	73,459	2.1%	203,197	5.1%	217,738	6.3%
大 規 模 災 害 対 策 費	-	-	-	-	-	-
貸 付 金	-	-	-	-	-	-
基 金 費	301	0.1%未満	301	0.1%未満	301	0.1%未満
予 備 費	-	-	-	-	-	-
総 額	3,437,428	100.0%	3,985,550	100.0%	3,454,652	100.0%

消防庁舎の現況

令和5年4月1日現在

名称	所在地	建築 年月日	構造	敷地面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
消防本部・西消防署 (防災館併設) 訓練棟	ふじみ野市大井中央 1-1-19	H25. 6. 21	鉄筋コンクリート造 4階建免震構造 鉄筋コンクリート造 6階建1棟・3階建1棟	4, 999. 71	5, 356. 81 466. 76
三芳分署	三芳町北永井617-8	H15. 2. 14	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造3階建 (訓練棟4階建)	2, 192. 37	1, 354. 75
東消防署 消防訓練場	富士見市鶴馬1850-1	H16. 10. 28	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造3階建 鉄筋コンクリート造 6階建1棟・3階建2棟	9, 597. 06	1, 536. 08 959. 70
富士見分署	富士見市水子4060-1	R3. 3. 12	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2 階建て	1, 534. 73	856. 00
ふじみ野分署	ふじみ野市川崎2-7-3	H9. 2. 1	鉄筋コンクリート造 地上2階・地下1階建	1, 128. 00	1, 354. 92

階級・年齢別職員構成状況

令和5年4月1日現在

階級 年齢	総数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
総数	287	1	3	11	40	92	63	38	39
平均年齢	37.96	58.00	56.67	55.00	49.85	43.92	33.46	27.16	22.74
18	0								
19	2								2
20	3								3
21	6								6
22	12								12
23	5								5
24	3								3
25	10							7	3
26	8							7	1
27	7							6	1
28	12							9	3
29	9							9	
30	3						3		
31	15						15		
32	10						10		
33	10						10		
34	8						8		
35	8						8		
36	6					2	4		
37	5					4	1		
38	10					9	1		
39	4					4			
40	5					4	1		
41	6					6			
42	8					8			
43	7					7			
44	7					7			
45	13				2	10	1		
46	12				5	7			
47	10				3	6	1		
48	12				7	5			
49	8				6	2			
50	6			1	3	2			
51	5				1	4			
52	3				3				
53	6			2	3	1			
54	8			2	4	2			
55	1		1						
56	3			2	1				
57	6		1	3	1	1			
58	5	1	1	1	1	1			
59	0								
60	0								
61	0								
62	0								
63	0								
64	0								

階級・勤続年数別職員構成状況

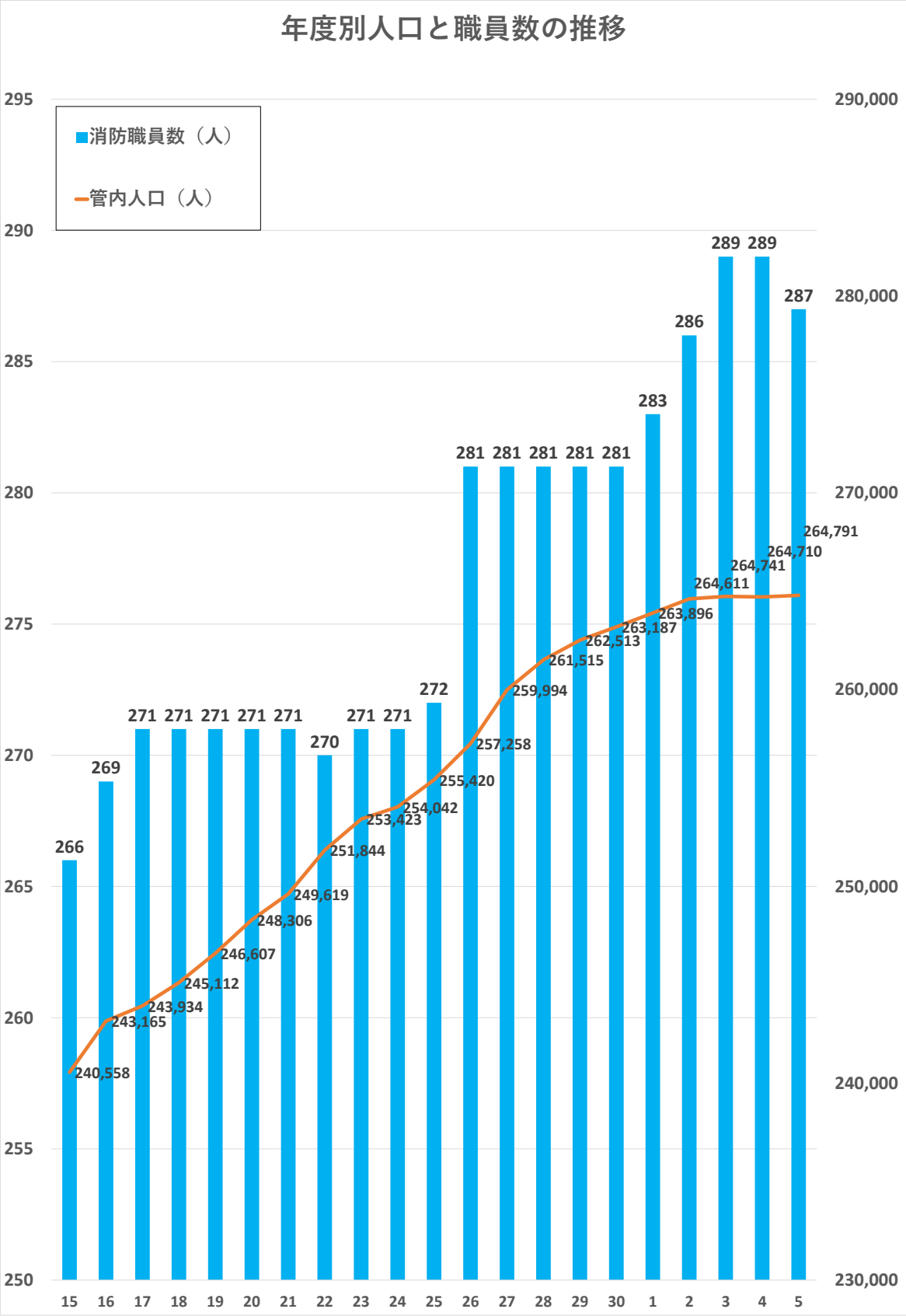
令和5年4月1日現在

階級 勤続年数	総数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
総数	287	1	3	11	40	92	63	38	39
平均勤続年	17.21	40.00	37.00	33.91	29.35	23.04	12.14	6.89	2.41
46	0								
45	0								
44	0								
43	0								
42	0								
41	0								
40	5	1	1	1	1	1			
39	4		1	1	1	1			
38	0								
37	2			2					
36	4			2	1	1			
35	5			1	2	2			
34	2				2				
33	4				1	3			
32	4		1		3				
31	4			1	2	1			
30	7				4	3			
29	10				5	4	1		
28	11			2	4	5			
27	13				5	7	1		
26	9			1	3	5			
25	4				1	3			
24	4				2	2			
23	6				2	4			
22	1					1			
21	10				1	9			
20	11					11			
19	7					7			
18	7					7			
17	7					4	3		
16	6					5	1		
15	10					3	7		
14	8					3	5		
13	8						8		
12	10						10		
11	7						3	4	
10	6						4	2	
9	20						15	5	
8	6						2	4	
7	6						2	4	
6	12							8	4
5	8						1	5	2
4	8							2	6
3	9							4	5
2	8								8
1	5								5
0	9								9

等級及び職制上の段階ごとの職員数

令和5年4月1日現在

等級	階級	役職	合計		職制上の段階
			(人)	(%)	
8 級	消防正監	消防長	1	0.4%	部長級
7 級	消防監	次長 署長	3	1.1%	次長級
6 級	消防司令長	副署長 課長 主幹	11	3.8%	課長級
5 級	消防司令	副課長 副主幹	40	13.9%	副課長級
4 級	消防司令補	主査	85	29.6%	係長級
3 級	消防司令補 消防士長	主任	70	24.4%	係員級
2 級	消防副士長	主事	38	13.2%	
1 級	消防士	主事補	39	13.6%	
合計			287	100.0%	



平成・令和（年）	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5
消防職員数（人）	266	269	271	271	271	271	270	271	271	272	281	281	281	281	281	281	283	286	289	289	287
管内人口（人）	240,558	243,165	243,934	245,112	246,607	248,306	249,619	251,844	253,423	254,042	255,420	257,258	259,994	261,515	262,513	263,187	263,896	264,611	264,741	264,710	264,791

※ 消防職員数は、定数外職員及び再任用短時間勤務職員を除いた実員数です。

職 員 配 置 状 況

単位：人

令和5年4月1日現在

階 級 配 属		総 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数		287 (15)	1	3	11	40 (1)	92 (3)	63 (8)	38 (2)	39 (1)
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	次 長	1		1						
	参 事									
	消 防 総 務 課	8 (1)			1	2	3	2 (1)		
	予 防 課	10 (1)				2	7		1 (1)	
	警 防 課	7 (1)			1	2	2	2 (1)		
	救 急 課	6 (2)			1	2 (1)		3 (1)		
	指 揮 統 制 課	29 (1)			3	7	14	4 (1)	1	
	県 等 出 向	5					1			4
消 防 署	西 消 防 署	61 (3)		1	2	6	17 (1)	14 (1)	9	12 (1)
	消 防 課	4				1	3			
	三 芳 分 署	42 (1)				5	14	11 (1)	4	8
	東 消 防 署	52 (1)		1	3	6	11	12 (1)	12	7
	消 防 課	4 (2)				1	1 (1)	1	1 (1)	
	富 士 見 分 署	24 (2)				3	9 (1)	7 (1)	3	2
	ふ じ み 野 分 署	33				3	10	7	7	6

※ （ ）はうち女性

職 員 の 通 勤 距 離 別 数 （ 配 属 地 別 ）

令和5年4月1日現在

距 離	2 km未満	2 km～ 5 km	5 km～ 1 0 km	1 0 km以上	総 数
職員数（人）	28	79	80	100	287
構成割合（％）	9.7	27.5	27.9	34.9	100.0

職 員 の 現 住 地 状 況

単位：人

令和5年4月1日現在

住 地 別		人 員	住 地 別		人 員
総 数		287	管	小 川 町	2
管 内	小 計	132		嵐 山 町	1
	富 士 見 市	50		毛 呂 山 町	1
	ふ じ み 野 市	64		坂 戸 市	6
	三 芳 町	18		鶴 ヶ 島 市	3
管 外	小 計	155	外	秩 父 市	1
	さいたま市	16		寄 居 町	1
	川 口 市	1		上 里 町	1
	上 尾 市	6		草 加 市	1
	蕨 市	1		八 潮 市	1
	北 本	1		白 岡 市	1
	川 越 市	52		杉 戸 町	1
	川 島 町	1		蓮 田 市	1
	所 沢 市	8		杉 並 区	1
	狭 山 市	8		板 橋 区	2
	入 間 市	1		立 川 市	1
	日 高 市	8		府 中 市	1
	朝 霞 市	3		東 大 和 市	1
	志 木 市	7		清 瀬 市	1
	和 光 市	2		小 平 市	1
	新 座 市	6		八 王 子 市	1
	東 松 山 市	4			

職員の教育実施状況

単位：人

年 度			累計 総数	平成28 年度以前	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
教 育 課 程										
総 数			1,443	1,234	34	34	36	32	37	36
消 防 大 学 校	総 合	本 科	1	1						
		幹 部 科	13	8	1	2	1		1	
		上 級 幹 部 科	3	3						
	専 科 教 育	警 防 科	10	8		1				1
		予 防 科	8	6	1			1		
		救 急 科	7	7						
		救 助 科	9	7		1	1			
		火 災 調 査 科	6	4	1		1			
	実務講習	女性活躍推進コース	2				1	1		
	火 災 調 査 講 習 会		3	3						
	は し ご 自 動 車 等 講 習 会		1	1						
	危 機 管 理 講 習 会		1	1						
埼 玉 県 消 防 大 学 校	初 任 教 育		417	370	8	8	8	6	9	8
	警 防 科	警 防 科	75	62	2	3	2	2	2	2
		特 殊 災 害 科	23	16		2		2		3
		無 線 通 信 課 程	26	26						
	予 防 科	予 防 査 察 科	85	76		3		3		3
		危 険 物 課 程	5	5						
		査 察 課 程	8	8						
		火 災 調 査 科	42	33	3		3		3	
	救 急 科	救 急 I 課 程	108	108						
		救 急 隊 長 課 程	6	6						
		救 急 科	197	146	9	8	9	7	9	9
		救 急 II 課 程	52	52						
	救 助 科		85	73	2	2	2	2	2	2
	機 関 科		7	7						
	幹 部 科	上 級 幹 部 科	6	6						
		中 級 幹 部 科	35	35						
		初 級 幹 部 科	86	68	3	3	3	3	3	3
	特 別 教 育	警 防 ・ 救 助 隊 長 特 別 教 育	5	5						
		幹 部 特 別 教 育 課 程	8	8						
		実 科 指 導 員 教 育	36	32	2				2	
		実 火 災 訓 練 教 育	15				3	5	4	3
		女 性 消 防 操 法 指 導 員 教 育	1	1						
		は し ご 車 等 操 作 員 教 育	8	8						
		火 災 調 査 研 修 会	2	2						
		警 防 活 動 教 育	35	26	2	1	2		2	2
		特 別 高 度 救 助 教 育	6	6						

職 員 の 特 殊 技 能 資 格 状 況

令和5年4月1日現在

種 類			総数(人)	種 類		総数 (人)
実 員			287	危険物取扱者	乙 1	8
自動車 運転 免許	大型	2 種	3		乙 2	7
		1 種	148		乙 3	7
	中型 (すべて)		191		乙 4	21
大型特殊自動車運転免許			32		乙 5	5
けん引免許			15		乙 6	7
自動二輪車運転免許	大型	30	チェーンソー取扱い 高 所 作 業 者		丙	31
	中型	90				
	普通 (小型限定)	1				
自動車整備士	2 級	1	足場組立作業主任者		1	
	3 級	1	第2種酸素欠乏 危険作業主任者		9	
特殊無線技士			176	酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者		36
航空特殊無線技士			4	特定化学物質等作業主任者		18
アマチュア無線技士			10	特定粉塵取扱い		2
予防技術者（防火査察）			15	有機溶剤作業主任者		21
予防技術者（危険物）			8	毒物劇物取扱者		1
予防技術者（消防用設備等）			8	低圧電気取扱い		6
消防設備 点検資格者	第1種	1	移動式クレーン		1	
	第2種	1	小型移動式クレーン		44	
救 急 救 命 士			45	玉 掛 け		36
看 護 師			3	ガ ス 溶 接		22
准 看 護 師			1	ア ー ク 溶 接		7
衛 生 管 理 者			11	フルハーネス型安全帯取扱い		8
潜 水 士			6	フォークリフト運転技能		3
小 型 船 舶 操 縦 士			12	車両系建設機械運転技能 （ 整 地 等 、 解 体 用 ）		21
防 災 士			6	発 破 技 士		1

職 員 の 表 彰 状 況

単位：人

年 度 表彰の種類	総数	平成 2 6 年 以前	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
総 数	2,325	2,040	57	57	53	29	29	19	14	27
I 類 叙 勲	1				1					
危険業務従事者叙勲	20	8	2		1	1	1	2	2	3
消防庁長官表彰	35	29	2				1	2	1	
知 事 表 彰	152	147	1	2	1			1		
組合管理者表彰	264	223	11	15	8	3	4			
消 防 長 表 彰										
（功 労 章）	388	312	16	26	13	10	11			
（功 績 章）	245	226	9	1	9					
全 国 消 防 長 会 表 彰										
（功 労 章）	10	8				1			1	
（ 2 0 年 ）	165	165								
（ 2 5 年 ）	147	147								
（ 3 0 年 ）	177	141	2		9	2	5	4	5	9
（ 3 5 年 ）	30	30								
（ 4 0 年 ）	18	18								
埼 玉 県 消 防 長 会 表 彰										
（功 績 章）	6	4	1		1					
（功 労 章）	8	8								
（永年勤続章）	281	223	11	13	10	3	4	6	1	10
埼 玉 県 消 防 協 会 表 彰			平成17年度で 職員は廃止							
（特別功労章）	37	37								
（功 労 章）	177	177								
（勤 続 章）	86	86								
日 本 消 防 協 会 表 彰										
（勤 続 章）	78	51	2	0	0	9	3	4	4	5

基準消防力と現有消防力の比較

令和5年4月1日現在

区 分	基準消防力	現有消防力	充足率（％）
署 所 の 数	5	5	100.0
消 防 車 両 台 数	29	26	89.7
消 防 ポ ン プ 自 動 車	9	7	77.8
は し ご 車	2	2	100.0
化 学 車	1	1	100.0
救 急 車	9	8	88.9
救 助 工 作 車	2	2	100.0
指 揮 車	1	1	100.0
特 殊 車 等	3	3	100.0
（ 非 常 用 消 防 車 等 ）	1	1	100.0
（ 非 常 用 救 急 車 ）	1	1	100.0
指 揮 隊 員	13	12	92.3
消 防 隊 員	148	103	69.6
救 急 隊 員	79	72	91.1
救 助 隊 員	33	30	90.9
通 信 員	15	15	100.0
予 防 要 員	43	27 (14)	62.8
庶務の処理等の人員	51	51	100.0

※ 表中の数値は、消防力の整備指針が定める算出基準によるものです。

※ （ ）は、交代制勤務職員による兼務要員の数を内書きしたものです。

※ 現有消防力は、再任用短時間勤務職員を含みます。

消防相互応援協定等の締結状況

令和 5 年 4 月 1 日現在

1 消防相互応援協定

番号	締結年月日	協定内容	締結団体等
1	平成 19 年 7 月 1 日	埼玉県下消防相互応援協定	埼玉県下消防本部
2	平成 18 年 9 月 20 日	消防相互応援協定	さいたま市
3	平成 30 年 4 月 1 日	消防相互応援協定	川越地区消防組合
4	平成 30 年 4 月 1 日	消防相互応援協定	埼玉西部消防組合
5	平成 30 年 4 月 1 日	消防相互応援協定	朝霞地区一部事務組合

2 その他協定

番号	締結年月日	協定内容	締結団体等
1	平成 3 年 3 月 29 日	埼玉県防災ヘリコプター応援協定	埼玉県
2	平成 18 年 12 月 1 日	鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定	埼玉県、鉄道事業者 11 社、埼玉県下消防本部
3	平成 19 年 11 月 27 日	埼玉県と消防機関及び埼玉 DMA T の災害時における高速自動車国道等の使用の取扱いに関する協定	埼玉県、埼玉 DMA T、登録医療機関、埼玉県下消防本部
4	平成 28 年 4 月 1 日	エボラ出血熱患者等の移送に関する協定	埼玉県
5	平成 30 年 4 月 1 日	大規模火災発生時の消火用水搬送協力に関する協定	埼玉中央生コン協同組合、東和アークス株式会社
6	平成 30 年 10 月 4 日	大規模な火災その他の災害等発生時の消防活動支援協力に関する協定	富士見市災害対策協力会、ふじみ野市災害対策協会、三芳町災害対策協力会
7	平成 31 年 4 月 1 日	関越自動車道・首都圏中央連絡自動車道における消防相互応援協定	埼玉県下 10 市町村等
8	令和 2 年 4 月 3 日	災害等発生時の無人航空機を活用した消防活動支援協力に関する協定	富士見市災害対策協力会、ふじみ野市災害対策協会、三芳町災害対策協力会

消防音楽隊

入間東部地区事務組合消防音楽隊は、消防志気を鼓舞すると共に「住民との融和をもって文化の向上と防火思想の普及」を目的として、昭和62年10月9日に発足しました。

平成29年11月には創立30周年記念演奏会を開催しました。平成16年4月より、質の高い演奏を目指し、消防と住民のより一層の融和を推進するため、消防音楽隊の演奏活動を支援していただくボランティアの方を広報紙で募り、10名の方が登録されています。



消防音楽隊設立30周年記念演奏会



消防出初式

組織編成

消 防 長
消防本部消防総務課
消 防 音 楽 隊

総指揮者	1人
隊長	1人
副 長	2人
隊 員	12人
ボランティア	10人

保有楽器

木 管	フ ル ー ト	打 楽 器	バ ス ド ラ ム
	ク ラ リ ネ ッ ト		ス ネ ア ド ラ ム
	テ ナ ー サ ッ ク ス		シ ン バ ル
	ア ル ト サ ッ ク ス		グ ロ ッ ケ ン
	ソ プ ラ ノ サ ッ ク ス		マーチ・バスドラム
金 管	バ リ ト ン サ ッ ク ス	備 品	マーチ・スネア
	ト ラ ン ペ ッ ト		マーチ・シロフォン
	ト ロ ン ボ ー ン		ク オ ー ド
	ホ ル ン		ド ラ ム セ ッ ト
	ユ ー ホ ニ ウ ム		譜 面 ス タ ン ド
	チ ュ ー バ		楽 器 ス タ ン ド
	ス ー ザ フ ォ ン		

活動状況

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、消防音楽隊の活動はありませんでした。

広報・広聴活動状況

令和4年度

種 別	回 数	総 数	備 考
広 報 紙	4	- 部	「みんなの消防」 ※構成市町広報誌に組入れて発行
住宅防火リーフレット	-	10,000 部	防火指導・家電量販店での普及啓発活動
巡 回 広 報	35	136 人	
園 児 消 防 見 学 会	-	- 人	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
消 防 訓 練（事業所）	1,323	51,828 人	
消 防 訓 練（自治会）	27	2,991 人	
署 内 見 学 会	55	3,104 人	
高 齢 者 防 火 指 導 教 室	1	39 人	
防 火 ポ ス タ ー	-	1,800 枚	
ホ ー ム ペ ー ジ	-		随時更新

予 防



防火対象物数（150㎡以上）

4階以上防火対象物数（用途別・階数別）

防火対象物同意状況

立入検査実施状況

消防用設備等設置届出処理状況

防火管理者資格取得状況

防火管理者選任届出状況

法令等に基づく各種届出状況

数量別危険物施設現況

危険物施設等事務処理状況

危険物施設に対する立入検査実施状況

住宅防火指導状況

自衛消防隊消防操法競技大会状況

防火標語

防火対象物数（150㎡以上）

単位：件

令和４年度

防火対象物別			総数	構成市町別		
				富士見市	ふじみ野市	三芳町
(1)	イ	劇場、映画館等	－	－	－	－
	ロ	公会堂又は集会場	65	23	24	18
(2)	イ	キャバレー、カフェ等	－	－	－	－
	ロ	遊技場、ダンスホール等	12	8	3	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	－	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等個室型店舗	1	－	1	－
(3)	イ	待合、料理店等	2	－	－	2
	ロ	飲食店	101	33	57	11
(4)		百貨店、マーケット等	209	75	90	44
(5)	イ	旅館、ホテル等	8	4	1	3
	ロ	共同住宅	2,788	1,454	1,135	199
(6)	イ	病院、診療所等	72	28	34	10
	ロ	老人福祉施設等	91	36	40	15
	ハ	保育園、老人福祉施設等	103	41	42	20
	ニ	幼稚園等	24	11	10	3
(7)		学校	128	32	74	22
(8)		図書館等	13	6	4	3
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	1	－	1	－
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	4	1	3	－
(10)		駅舎等	2	2	－	－
(11)		神社、寺院等	41	22	14	5
(12)	イ	工場又は作業所	514	63	155	296
	ロ	映画スタジオ等	－	－	－	－
(13)	イ	駐車場等	155	58	81	16
	ロ	飛行機等の格納庫	－	－	－	－
(14)		倉庫	468	51	100	317
(15)		前項に該当しない事業場	502	147	223	132
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	486	242	203	41
	ロ	非特定複合用途防火対象物	349	165	147	37
(16の2)		地下街	－	－	－	－
(16の3)		準地下街	－	－	－	－
(17)		重要文化財、重要有形民族文化財、史跡等の建造物	－	－	－	－
(18)		延長５０メートル以上のアーケード	－	－	－	－
(19)		市町村長の指定する山林	－	－	－	－
(20)		総務省令で定める舟車	－	－	－	－
総数			6,139	2,502	2,442	1,195

4 階以上防火対象物数（用途別・階数別）

富士見市

単位：件

令和4年度

用途 \ 階		4	5	6	7	8	9	10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～35	36以上	計
(1)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(2)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(3)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(5)	イ	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	ロ	155	122	12	11	11	3	4	25	-	-	-	2	-	345
(6)	イ	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	ロ	5	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	ハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(7)		10	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
(8)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(9)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(10)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(11)		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
(12)	イ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(13)	イ	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	ロ														
(14)		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
(15)		8	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
(16)	イ	37	32	2	6	5	3	6	3	-	-	-	-	-	94
	ロ	29	13	6	4	1	1	-	3	-	-	-	-	-	57
(16の2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(16の3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(17)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(18)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(19)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(20)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		249	184	25	21	18	7	10	31	-	-	-	2	-	547

4階以上防火対象物数（用途別・階数別）

ふじみ野市

単位：件

令和4年度

用途 \ 階		4	5	6	7	8	9	10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～35	36以上	計
(1)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(2)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(3)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
(4)		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
(5)	イ	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	ロ	71	85	14	14	15	12	8	34	-	-	-	-	-	253
(6)	イ	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	ロ	6	2	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	13
	ハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(7)		19	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
(8)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(9)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(10)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(11)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(12)	イ	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(13)	イ	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(14)		3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
(15)		13	4	4	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	23
(16)	イ	33	21	10	3	1	-	-	1	-	3	-	-	-	72
	ロ	24	15	3	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	46
(16の2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(16の3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(17)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(18)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(19)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(20)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		178	138	33	21	17	14	9	37	-	3	-	-	-	450

4 階以上防火対象物数（用途別・階数別）

三 芳 町

単位：件

令和4年度

用途 \ 階		4	5	6	7	8	9	10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～35	36以上	計
(1)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(2)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(3)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(5)	イ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	ロ	23	14	3	4	5	2	3	10	-	-	-	-	-	64
(6)	イ	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
	ロ	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	ハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(7)		6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
(8)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(9)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(10)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(11)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(12)	イ	8	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	13
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(13)	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(14)		18	5	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	26
(15)		7	1	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
(16)	イ	5	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	ロ	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
(16の2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(16の3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(17)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(18)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(19)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(20)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		74	32	9	8	7	4	3	10	-	-	-	-	-	147

防火対象物同意状況

単位：件

令和4年度

防火対象物別			総数	構成市町別		
				富士見市	ふじみ野市	三芳町
(1)	イ	劇場、映画館等				
	ロ	公会堂又は集会場	3		3	
(2)	イ	キャバレー、カフェ等				
	ロ	遊技場、ダンスホール等				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
	ニ	カラオケボックス等個室型店舗				
(3)	イ	待合、料理店等				
	ロ	飲食店	2	1	1	
(4)		百貨店、マーケット等	4	1	3	
(5)	イ	旅館、ホテル等				
	ロ	共同住宅	52	30	20	2
(6)	イ	病院、診療所等	8	2	3	3
	ロ	老人福祉施設等	7	3	2	2
	ハ	保育園、老人福祉施設等	3	3		
	ニ	幼稚園等				
(7)		学校				
(8)		図書館等				
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場等				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場				
(10)		駅舎等				
(11)		神社、寺院等	1	1		
(12)	イ	工場又は作業所	10		4	6
	ロ	映画スタジオ等				1
(13)	イ	駐車場等	1			
	ロ	飛行機等の格納庫				
(14)		倉庫	7		2	5
(15)		前項に該当しない事業場	12	4	5	3
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	4		4	
	ロ	非特定複合用途防火対象物	2	2		
(16の2)		地下街				
(16の3)		準地下街				
(17)		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物				
(18)		延長50メートル以上のアーケード				
(19)		市町村長の指定する山林				
(20)		総務省令で定める舟車				
総 数			116	47	47	22

立入検査実施状況

単位：件

令和4年度

防 火 対 象 物 別			総数	構 成 市 町 別		
				富士見市	ふじみ野市	三 芳 町
(1)	イ	劇場、映画館等	1	1	-	-
	ロ	公会堂又は集会場	46	20	12	14
(2)	イ	キャバレー、カフェ等	-	-	-	-
	ロ	遊技場、ダンスホール等	5	3	2	-
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等個室型店舗	-	-	-	-
(3)	イ	待合、料理店等	1	-	-	1
	ロ	飲食店	50	13	35	2
(4)		百貨店、マーケット等	69	17	38	14
(5)	イ	旅館、ホテル等	-	-	-	-
	ロ	共同住宅	139	81	57	1
(6)	イ	病院、診療所等	22	6	12	4
	ロ	老人福祉施設等	35	14	13	8
	ハ	保育園、老人福祉施設等	44	21	21	2
	ニ	幼稚園等	-	-	-	-
(7)		学校	41	12	26	3
(8)		図書館等	-	-	-	-
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	1	-	1	-
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	-	-	-	-
(10)		駅舎等	1	1	-	-
(11)		神社、寺院等	8	5	1	2
(12)	イ	工場又は作業所	44	15	20	9
	ロ	映画スタジオ等	-	-	-	-
(13)	イ	駐車場等	9	6	3	-
	ロ	飛行機等の格納庫	-	-	-	-
(14)		倉庫	37	12	15	10
(15)		前項に該当しない事業場	119	45	56	18
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	160	85	65	10
	ロ	非特定複合用途防火対象物	69	42	24	3
(16の2)		地下街	-	-	-	-
(16の3)		準地下街	-	-	-	-
(17)		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	-	-	-	-
(18)		延長50メートル以上のアーケード	-	-	-	-
(19)		市町村長の指定する山林	-	-	-	-
(20)		総務省令で定める舟車	-	-	-	-
総 数			901	399	401	101

消防用設備等設置届出処理状況

単位:件

各年度

設備等 \ 年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
消 火 器	125	148	157	97	151	132
屋 内 消 火 栓 設 備	21	19	20	12	12	23
スプリンクラー 設 備	27	41	34	23	30	20
水 噴 霧 消 火 設 備	-	-	-	-	-	-
泡 消 火 設 備	-	1	1	-	2	1
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	-	-	1	1	-	-
ハロゲン化物消火設備	-	-	-	-	-	-
粉 末 消 火 設 備	-	-	4	4	4	9
屋 外 消 火 栓 設 備	2	3	5	3	4	3
動 力 消 防 ポ ン プ	2	9	3	-	1	1
自 動 火 災 報 知 設 備	234	255	229	247	215	248
ガス漏れ火災警報設備	-	-	-	-	-	-
漏 電 火 災 警 報 器	-	1	4	5	1	1
消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	41	26	18	15	5	15
非 常 警 報 設 備	59	66	53	40	40	38
避 難 器 具	28	28	29	22	28	27
誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	171	189	159	147	189	164
消 防 用 水	-	-	1	1	1	1
排 煙 設 備	-	1	-	2	-	1
連 結 散 水 設 備	-	1	-	-	-	-
連 結 送 水 管	1	3	5	6	3	3
非 常 コ ン セ ン ト 設 備	1	-	2	-	1	3
パッケージ型自動消火設備	-	1	-	1	2	5
パッケージ型消火設備	5	-	3	3	7	3
総 数	717	792	728	629	696	698

防火管理者資格取得状況

各年度

年度 数	累計総数	H29	H30	R1	R2	R3	R4
甲種回数	甲種 113	甲種 3	甲種 3	甲種 3	甲種 4	甲種 6	甲種 5
甲種人数	7,685	197	204	187	90	145	136
乙種回数	乙種 52	乙種 3	乙種 3	乙種 3	乙種 4	乙種 6	乙種 5
乙種人数	455	31	14	32	13	37	25

防火管理者選任届出状況

令和4年度

区 分	対象総数(件)	届出済 対象物数(件)	選任率(%)	区 分	対象総数(件)	届出済 対象物数(件)	選任率(%)
総 数	1,823	1,377	75.5	(9)	イ	—	—
(1)	イ	—	—	(9)	ロ	3	100.0
	ロ	97	97.9	(10)		1	100.0
(2)	イ	—	—	(11)		26	92.3
	ロ	10	100.0	(12)	イ	68	95.6
	ハ	—	—	(12)	ロ	—	—
	ニ	1	100.0	(13)	イ	—	—
(3)	イ	1	100.0	(13)	ロ	—	—
	ロ	149	80.5	(14)		39	84.6
(4)		184	83.7	(15)		135	86.7
(5)	イ	7	100.0	(16)	イ	355	40.0
	ロ	395	75.2	(16)	ロ	66	39.4
(6)	イ	38	94.7	(16の2)		—	—
	ロ	91	97.8	(16の3)		—	—
	ハ	79	100.0	(17)		—	—
	ニ	17	100.0	(18)		—	—
(7)		52	98.1	(19)		—	—
(8)		9	100.0	(20)		—	—

法令等に基づく各種届出状況

単位：件

令和4年度

種別 \ 市町別	総 数	構成市町別		
		富士見市	ふじみ野市	三芳町
総 数	6,387	3,244	2,250	893
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	266	137	99	30
消 防 用 設 備 等 着 工 届	206	80	90	36
消 防 用 設 備 等 設 置 届	698	305	272	121
消 防 用 設 備 等 点 検 報 告	2,323	1,051	900	372
防 火 対 象 物 点 検 報 告	384	269	82	33
防 火 ・ 防 災 管 理 者 選（解）任 届	669	375	198	96
消 防 計 画 作 成（変 更）届	764	401	241	122
統括防火・防災管理者選（解）任 届	17	10	7	-
全体についての消防計画作成（変更）届	24	15	9	-
自 衛 消 防 組 織 設 置（変 更）届	6	1	4	1
防 災 管 理 点 検 報 告	273	262	6	5
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 開 始 届	8	3	1	4
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱開始届	30	12	15	3
変 電 ・ 発 電 設 備 等 設 置 届	-			
煙 火 打 上 げ 届	2		1	1
揚 煙 届	147	48	83	16
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 開 始 届	2	1		1
炉 ・ ボ イ ラ ー 等 設 置 届	26	2	10	14
道 路 工 事 届	309	140	132	37
断 水 届	-	-	-	-
露 店 等 の 開 設 届 出 書	233	132	100	1

数量別危険物施設現況

単位：件

令和4年度

倍 数		総 数	5 倍 以下	5 倍 を こ え 10 倍 以下	10 倍 を こ え 50 倍 以下	50 倍 を こ え 100 倍 以下	100 倍 を こ え 150 倍 以下	150 倍 を こ え 200 倍 以下	200 倍 を こ え 1,000 倍 以下	1,000 倍 を こ え る も の
製造所等の区分										
総 数		336	83	77	95	26	16	8	30	1
製 造 所		7	-	4	2		-	-	1	-
貯 蔵 所	小 計	219	71	47	64	16	9	4	7	1
	屋 内 貯 蔵 所	76	21	19	21	2	6	3	3	1
	屋外タンク貯蔵所	13	4	1	8	-	-	-	-	-
	屋内タンク貯蔵所	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	地下タンク貯蔵所	79	26	19	23	6	1	1	3	-
	簡易タンク貯蔵所	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	移動タンク貯蔵所	27	13	2	1	8	2	-	1	-
	屋 外 貯 蔵 所	21	4	6	11	-	-	-	-	-
取 扱 所	小計	110	12	26	29	10	7	4	22	-
	給油取扱所	65	-	6	21	8	4	4	22	-
	販売取扱所	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	一般取扱所	44	12	20	7	2	3	-	-	-

危険物施設等事務処理状況

単位：件

令和4年度

事務処理別 製造所等の区分		総 数	許 可		完 成		完 成 検 査 前 検 査		仮 使用 承認	仮 貯蔵・ 仮取扱 承認	廃 止	品 名・ 数量・ 倍数の 変更	保 安監 督者 選・ 解任
			設 置	変 更	設 置	変 更	水 圧	水 張					
総 数		167	4	32	8	32	-	4	24	2	6	14	41
製 造 所		7	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	3
貯 蔵 所	小 計	68	3	6	7	6	-	-	2	1	4	12	27
	屋 内 貯 蔵 所	42	3	3	4	3	-	-	-	-	-	7	22
	屋外タンク貯蔵所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	屋内タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地下タンク貯蔵所	16	-	2	1	2	-	-	2	1	2	5	1
	簡易タンク貯蔵所	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	移動タンク貯蔵所	3	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
	屋 外 貯 蔵 所	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
取 扱 所	小 計	87	1	24	1	24	-	-	22	-	2	2	11
	給 油 取 扱 所	53	1	14	1	14	-	-	13	-	2	-	8
	販 売 取 扱 所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一 般 取 扱 所	34	-	10	-	10	-	-	9	-	-	2	3
そ の 他		5	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-
令 和 3 年 度		132	6	32	3	27	-	2	14	-	8	7	33

危険物施設に対する立入検査実施状況

単位：件

令和4年度

製 造 所 等		総 数	構 成 市 町 別		
			富士見市	ふじみ野市	三芳町
総 数		224	69	48	107
製 造 所		7	2	4	1
貯 蔵 所	小 計	124	34	21	69
	屋 内 貯 蔵 所	36	9	9	18
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	10	10	－	－
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	－	－	－	－
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	40	3	9	28
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	－	－	－	－
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	25	4	－	21
	屋 外 貯 蔵 所	13	8	3	2
取 扱 所	小 計	93	33	23	37
	給 油 取 扱 所	66	24	17	25
	販 売 取 扱 所	1	－	1	－
	一 般 取 扱 所	26	9	5	12

住宅防火指導状況

単位：件

各年度

年 度	実 施 年 度	実 施 総 数	実 施 別	
			消 防 署	消 防 団
平 成 11 年 度		3,686	1,840	1,846
平 成 12 年 度		1,184	1,184	－
平 成 13 年 度		819	819	－
平 成 14 年 度		948	948	－
平 成 15 年 度		1,177	1,177	－
平 成 16 年 度		1,107	1,107	－
平 成 17 年 度		213	213	－
平 成 18 年 度		1,487	1,438	49
平 成 19 年 度		1,808	1,750	58
平 成 20 年 度		1,539	1,486	53
平 成 21 年 度		1,308	1,265	43
平 成 22 年 度		2,117	2,080	37
平 成 23 年 度		2,339	2,311	28
平 成 24 年 度		1,645	1,614	31
平 成 25 年 度		2,900	2,869	31
平 成 26 年 度		2,425	2,312	113
平 成 27 年 度		1,830	1,786	44
平 成 28 年 度		1,211	1,180	31
平 成 29 年 度		1,719	1,660	59
平 成 30 年 度		1,855	1,751	104
令 和 元 年 度		4,359	4,328	31
令 和 2 年 度		2,130	2,130	－
令 和 3 年 度		1,731	1,706	25
令 和 4 年 度		2,219	2,090	129

自衛消防隊消防操法競技大会状況

各年度

年 度 別	市 町 別	富士見市		ふじみ野市		三 芳 町		合 計	
		事業 所数	出場 人員	事業 所数	出場 人員	事業 所数	出場 人員	事業 所数	出場 人員
平 成 27 年 度		6	24	3	12	11	42	20	78
平 成 28 年 度		5	21	4	18	11	45	20	84
平 成 29 年 度		4	21	4	15	11	45	19	81
平 成 30 年 度		5	21	3	15	10	42	18	78
令 和 元 年 度		4	18	2	12	10	39	16	69
令 和 2 年 度		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止							
令 和 3 年 度		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止（資料配付による代替開催）							
令 和 4 年 度		4	18	2	12	9	33	15	63

防 火 標 語

	全 国 統 一 防 火 標 語	入 間 東 部 地 区 事 務 組 合 防 火 標 語
昭和46年度	いま 燃えようとしている火がある	
昭和47年度	慣れた火に 新たな注意	
昭和48年度	隣にも 声かけあって よい防火	ふじみ野市立東原小学校 玉置健太郎さんの作品
昭和49年度	生活の 一部にしよう 火の点検	
昭和50年度	幸せを 明日につなぐ 火の始末	親と子が 共に語ろう 火の怖さ
昭和51年度	火災は人災 防ぐはあなた	あなたです 火災のない街 つくる人
昭和52年度	使う火を 消すまで離すな 目と心	火を使う その手で必ず 火の始末
昭和53年度	それぞれの 持場で生かせ 火の用心	火事のない 明るい街は あなたから
昭和54年度	これくらいと 思う油断を 火が狙う	あなたです 点火消火の 責任者
昭和55年度	あなたです！ 火事を出すのも 防ぐのも	今むかし 暮らしの基本 火の用心
昭和56年度	毎日が 防火デーです ぼくの家	点火した その手その目で 責任消火
昭和57年度	火の用心 心で用心 目で用心	確認は あなたが主役 火の始末
昭和58年度	点検は 防火のはじまり しめくくり	我が家から 火事は出さない 家族の誓い
昭和59年度	“あとで” より “いま” が大切 火の始末	未実施
昭和60年度	怖いのは 「消したつもり」 と 「消えたはず」	ふりむいて その目でその手で 火の始末
昭和61年度	防火の大役 あなたが主役	先ずは子に 語ろう示そう 火の用心
昭和62年度	消えたかな！ 気になるあの火 もう一度	目も耳も 鼻もきかして ハイOK
昭和63年度	その火 その時 すぐ始末！	コンセント ほこりをふいて 火事防止
平成 元年度	おとなりに あげる安心 火の始末	慣れた火も いつも初心で 後始末
平成 2年度	まず消そう 火への鈍感 無関心	ガスの元栓閉めたっけ？私が見たわ！僕も見た
平成 3年度	毎日が 火の元警報 発令中	忘れません いつも心に 火の用心
平成 4年度	点検を 重ねて築く “火災ゼロ”	訓練で 活かせ地域の 防火の輪
平成 5年度	防火の輪 つなげて広げて なくす火事	安心は 地域ぐるみの 防火から
平成 6年度	安心の 暮らしの中心 火の用心	消えるまで 離すな君の 目と心
平成 7年度	災害に 備えて日頃の 火の用心	気のゆるみ 防火は消すより 心掛け
平成 8年度	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ	火は魔物 注意のきれ目に 火災の芽
平成 9年度	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火	火の種は 心のすきまに 根を下ろす
平成10年度	気をつけて はじめはすべて 小さな火	火の元は 人に任せず 自らで
平成11年度	あぶないよ ひとりぼっちにした その火	住み慣れた 街の安心 防火から
平成12年度	火をつけた あなたの責任 最後まで	広げよう 街に暮らしに 防火の輪
平成13年度	たしかめて 火を消してから 次のこと	消し忘れ なくして 防火とエコライフ
平成14年度	消す心 置いてください 火のそばに	火は出さぬ 心あわせて まもる街
平成15年度	その油断 火から炎へ 災いへ	怖いのは 火よりあなたの 慣れ油断
平成16年度	火は消した？ いつも心に きいてみて	つけた火に 向いていますか 消す心
平成17年度	あなたです 火のある暮らしの 見はり役	火災の芽 摘んで広げる 防火の輪
平成18年度	消さないで あなたの心の 注意の火。	火事防ぐ あなたの思い 見せる時
平成19年度	火は見てる あなたが離れる その時を	火あそびは しないさせない 火事のもと
平成20年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする	再確認 消したつもりは 危険です
平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっこ	防災は 見なれた目より 見直す目
平成22年度	「消したかな」 あなたを守る 合言葉	火の用心 みんながうちの しょうぼうし
平成23年度	消したはず 決めつけないで もう一度	火の始末 確認一つで 明るいわが家
平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない	火の用心 令和のお手本 2市1町
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま	目指そうよ この街みんなで 火災ゼロ
平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ	「危ないぞ！」 慣れと油断が 火事の元
平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ	マイタウン 地域の絆で 火災ゼロ！
平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で	警報器・消火器 備えて二刀流
平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に	
平成30年度	忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認	
令和 元年度	ひとつずつ いいね！で確認 火の用心	
令和 2年度	その火事を 防ぐあなたに 金メダル	
令和 3年度	おうち時間 家族で点検 火の始末	
令和 4年度	お出かけは マスク戸締り 火の用心	
令和 5年度	火を消して 不安を消して つなぐ未来	

警 防



消防水利現況

ホース現有数

警防活動訓練実施状況

車両現勢

消防水利現況

単位：基

令和5年4月1日現在

区 分 \ 市町別	総 数	構 成 市 町 別		
		富士見市	ふじみ野市	三芳町
総 数	3,487	1,239	1,381	867
消 火 栓	3,197	1,161	1,242	794
公設防火貯水槽 (20m ³ 以上～40m ³ 未満)	148	40	74	34
公設防火貯水槽 (40m ³ 以上～100m ³)	116	30	52	34
プ ー ル	20	6	11	3
そ の 他	6	2	2	2

ホース現有数

単位：本

令和5年4月1日現在

署 別	ポンプ車両 台 数	総数	40mmホース	50mmホース	65mmホース
総 数	10	894	116	366	412
西 消 防 署	3	319	44	129	146
三 芳 分 署	2	130	20	46	64
東 消 防 署	2	152	15	73	64
富 士 見 分 署	1	138	18	61	59
ふ じ み 野 分 署	2	155	19	57	79

警防活動訓練実施状況



警防活動訓練実施結果

令和4年中

	回 数	総時間	延人数
1月	20	29:45	84
2月	17	26:45	72
3月	21	35:25	87
4月	12	14:25	52
5月	26	37:35	119
6月	34	64:40	149
7月	41	82:10	176
8月	43	80:15	179
9月	38	81:30	169
10月	27	48:20	122
11月	8	11:30	36
12月	24	33:40	64
合 計	311	546:00	1,309

(※) 主管課別警防活動訓練等実施内容

1月～3月 (東署消防課)	- 車両事故想定訓練 - 目的 車両事故事案に対する破壊・救助技術の習得 - 訓練内容 各種救助資器材の使用訓練・要救助者救出訓練
9月 (東消防署)	- 水難救助訓練 - 目的 水災害事案に対する迅速な初動活動の習得 - 訓練内容 船外機の設定及び運行訓練・着岸及び離岸訓練・オールによる航行訓練
10月 (西署消防課)	- 埼玉県防災航空隊との連携訓練 - 目的 航空部隊と地上部隊との活動強化体制の確保 - 訓練内容 ヘリコプターの特性及び航空隊の要請方法の習得と、地上部隊が接近不能を想定した隊員投入及び航空隊員との合同訓練
11月 (東署消防課)	- 令和4年度 埼玉県 富士見市国民保護実動訓練 - 目的 大規模テロ発生時における避難誘導や救護などの実施能力の強化、応援体制の充実、住民等の意識啓発及び応援体制の充実、担当職員の業務遂行能力向上 - 訓練内容 化学剤を用いたテロ発生事案を想定、各行政機関と連携し、被災者の救出・救護訓練

車両現勢

令和5年4月1日現在

	車 両 名 称	車 名・形 式	登録番号	登録年月日	呼 出 名 称	備 考
消防本部	司 令 車	トヨタプリウス DAA-ZVW51	所沢301 ま 84-87	平30. 10. 1		リース車両
	総 務 1 号 車	スズキワゴンR DBA-MH22S	所沢583 ほ 1-00	平20. 7. 30		
	総 務 2 号 車	トヨタサクシード DBE-NC P51V	所沢400 つ 75-12	平26. 6. 30		
	総 務 3 号 車	マツダスクラム HBD-DG64V	所沢480 き 94-67	平25. 5. 23		
	総 務 4 号 車	ニッサンパネット DBA-M20	所沢502 た 45-34	平27. 11. 30		
	予 防 1 号 車	シエンタ 5BA-NS P170G	所沢502 は 15-31	令3. 4. 16		
	予 防 2 号 車	トヨタサクシード DBE-NC P160V	所沢400 つ 94-62	平27. 6. 23		
	指 揮 広 報 車	トヨタ CBF-TRH226K	所沢800 せ 12-19	平27. 2. 26	東 部 警 防 1	
	警 防 連 絡 車	スズキエブリイ EBD-DA64V	所沢480 か 72-48	平23. 2. 24		
	災 害 用 バ ス	ヒノ BDG-XZ B50M	所沢230 さ 9-11	平19. 9. 27		
	地 震 体 験 車	いすゞ TPG-NPR85AN	所沢830 す 1-71	平30. 12. 17		
	救 急 指 導 車	スズキエブリイ EBD-DA64V	所沢480 え 95-30	平21. 11. 16		
	指 揮 1 号 車	トヨタ CBF-TRH221K	所沢803 ま 1	平20. 10. 30	東 部 指 揮 1	
	指揮統制連絡車	スズキエブリイ HBD-DA17V	所沢480 け 54-67	平28. 5. 30		
西消防署	西 救 助 1 号 車	ヒノ SDG-GX7JGAA改	所沢830 す 31-19	平24. 2. 29	東部西救助1	Ⅲ型
	西 梯 子 1 号 車	ヒノ 2DG-FR1AJA改	所沢830 ち 20-20	令 2. 3. 26	東部西梯子1	38m級（直進）
	西 1 号 車	ヒノ BDG-GX7JGWA改	所沢831 て 1-19	平22. 2. 9	東 部 西 1	水1,500ℓ
	西 2 号 車	ヒノ TKG-XZU685M	所沢830 た 20-17	平29. 11. 24	東 部 西 2	水 600ℓ
	西 3 号 車	いすゞ PKG-FSR90S2改	所沢831 な 1-19	平23. 3. 10	東 部 西 3	水1,500ℓ
	救 急 西 1 号 車	トヨタ 3BF-TRH226S	所沢830 せ 20-23	令 5. 2. 22	救 急 西 1	高規格
	救 急 西 2 号 車	トヨタ CBF-TRH226S	所沢830 さ 20-18	平30. 2. 6	救 急 西 2	高規格
	救 急 西 3 号 車	トヨタ CBF-TRH226S	所沢830 さ 20-16	平28. 2. 2	救 急 西 3	高規格（予備）
	支 援 車 Ⅲ 型	ヒノ SDG-GX7JKA	所沢830 す 20-17	平29. 2. 10	東 部 支 援 1	
	訓 練 指 導 車	トヨタノア DBA-ZRR80G	所沢502 ち 6843	平28. 8. 5		
	資 機 材 運 搬 車	ヒノ TKG-XZU710M	所沢830 す 20-15	平27. 2. 25	東部西資材1	
	火 災 調 査 1 号 車	スズキワゴンR DBA-MH23S	所沢880 き 1	平23. 8. 29		
	災害用モーターバイク	ヤマハトリッカー JBK-DG16J	1 所沢 て 86-56	平26. 6. 26		250cc
	災害用モーターバイク	ヤマハトリッカー JBK-DG16J	1 所沢 て 86-57	平26. 6. 26		250cc

	車 両 名 称	車 名・形 式	登録番号	登録年月日	呼 出 名 称	備 考
三芳分署	三芳化学1号車	ヒノ SDG-GX7JGAA改	所沢831 ふ 1-19	平28. 1. 29	三 芳 化 学 1	水1,300ℓ 薬 500ℓ
	三 芳 1 号 車	ヒノ 2RG-XZU640M	所沢830 せ 20-21	令 3. 1. 22	三 芳 1	水900ℓ
	救急三芳1号車	トヨタ 3BF-TRH226S	所沢830 す 21-21	令 3. 1. 13	救 急 三 芳 1	高規格
	救急三芳2号車	トヨタ CBF-TRH226S	所沢830 さ 22-20	令 2. 3. 6	救 急 三 芳 2	高規格
	三 芳 広 報 車	ニッサン DBA-C27	所沢830 す 9-19	平30. 2. 21	三 芳 広 報 1	
東消防署	東救助1号車	ヒノ SDG-GX7JGAA改	所沢830 せ 21-19	平25. 2. 12	東部東救助1	Ⅱ型
	東 1 号 車	ヒノ BDG-GD7JGWA改	所沢831 つ 1-19	平22. 2. 9	東 部 東 1	水1,500ℓ
	東梯子1号車	ヒノ BDG-GD7JGWA改	所沢800 は 6-52	平23. 2. 4	東部東梯子1	15m級
	救急東1号車	トヨタ 3BF-TRH226S	所沢830 さ 20-22	令 3. 12. 3	救 急 東 1	高規格
	救急東2号車	トヨタ 3BF-TRH226S	所沢830 さ 22-21	令 3. 2. 26	救 急 東 2	高規格
	東 広 報 車	トヨタ DBA-ZRR80G	所沢830 そ 20-17	平29. 9. 26	東部東広報1	
	東 連 絡 車	スズキエブリイ EBD-DA64V	所沢480 か 51-24	平22. 10. 20		
	災害用モーターバイク	ヤマハトリッカー JBK-DG16J	1 所沢 て 86-58	平26. 6. 26		250cc
	災害用モーターバイク	ヤマハトリッカー JBK-DG16J	1 所沢 て 86-59	平26. 6. 26		250cc
	災 害 用 重 機	ミツビシキャタピラー 303CR-MS3CQ		平17. 7. 7		
	多目的搬送車	いすゞ PA-NPR81N	所沢800 す 42-15	平17. 12. 28		
富士見分署	富 士 見 1 号 車	ヒノ 2DG-GD2ABA	所沢830 そ 20-23	令 5. 3. 10	富 士 見 1	水2,000ℓ
	救急富士見1号車	トヨタ CBF-TRH226S	所沢830 さ 20-17	平29. 2. 2	救急富士見1	災害対応特殊
	富 士 見 広 報 車	ニッサン DBA-NT32	所沢800 せ 50-73	令 2. 12. 3	富 士 見 広 報 1	
ふじみ野分署	ふ じ み 野 1 号 車	ヒノ BDG-GX7JGWA改	所沢831 た 1-19	平20. 12. 16	ふ じ み 野 1	水1,500ℓ
	ふ じ み 野 2 号 車	ヒノ 2RG-XZU640M	所沢830 す 20-23	令 5. 2. 10	ふ じ み 野 2	水1,200ℓ
	救急ふじみ野1号車	トヨタ CBF-TRH226S	所沢830 さ 21-20	令 2. 2. 4	救急ふじみ野1	高規格
	ふ じ み 野 広 報 車	三菱 3DA-CV1W	所沢830 そ 20-21	令 3. 3. 24	ふ じ み 野 広 報 1	

※ 緊急消防援助隊登録車両

令和4年度導入車両



1 水槽付消防ポンプ自動車 (富士見分署)

○主な装備

ハイルーフキャビン

水槽容量：2,000ℓ

三連梯子

双方向式吸管巻取り装置

電動式ホースカー



2 小型水槽付消防ポンプ自動車 (ふじみ野分署)

○主な装備

ハイルーフキャビン

水槽容量：1,200ℓ

三連梯子

双方向式吸管巻取り装置

手動式ホースカー



3 高規格救急自動車 (西消防署)

○主な装備

患者監視装置

呼吸管理用資機材

気道確保用資機材

自動体外式除細動器

呼吸・循環管理資機材

観察用資機材等

指 令



消防通信系統図

119番覚知別受信状況

気象状況

気象情報受理状況

緊急通報システム受信状況

緊急通報システム機器設置状況

口頭指導実施状況

消防通信系統図

令和5年4月1日現在

一般電話・携帯電話・IP電話119番 Fax119番
緊急通報システム 警察電話 ヘルプネット Net119

指揮統制課

119番火災報知専用 22回線
一般加入電話 5回線
テレホンガイド 10回線
衛星回線 2回線
Net119
緊急通報システム
埼玉県医療情報端末装置
構成市町防災行政無線
埼玉県防災情報システム
Em-Net



●消防本部

指揮車	東部指揮1
指揮広報車	東部警防1

●西消防署

救助工作車	東部西救助1
梯子車 38m	東部西梯子1
水槽付ポンプ車	東部西1
ポンプ車	東部西2
水槽付ポンプ車	東部西3
高規格救急車	救急西1
高規格救急車	救急西2
高規格救急車	救急西3
資材運搬車	東部西資材1
災害用支援車	東部支援1

●西消防署 三芳分署

化学車	三芳化学1
ポンプ車	三芳1
高規格救急車	救急三芳1
高規格救急車	救急三芳2
三芳広報1号車	三芳広報1

●東消防署

救助工作車	東部東救助1
水槽付ポンプ車	東部東1
梯子車 15m	東部東梯子1
高規格救急車	救急東1
高規格救急車	救急東2
資材運搬車	東部東資材1
東広報1号車	東部東広報1

●東消防署 富士見分署

水槽付ポンプ車	富士見1
高規格救急車	救急富士見1
富士見広報1号車	富士見広報1

●東消防署 ふじみ野分署

水槽付ポンプ車	ふじみ野1
水槽付ポンプ車	ふじみ野2
高規格救急車	救急ふじみ野1
ふじみ野広報1号車	ふじみ野広報1

一斉指令
個別指令



各車両端末装置



各署所端末装置

しょうぼうとうぶ

デジタル無線	アナログ無線
消防波A波	活動波1
救急波B波	活動波2
主運用波	関東共通波
統制波1	防災相互波
統制波2	
統制波3	
基地局 1	
車載無線 31	
携帯無線 30	携帯無線 76
可搬無線 4	

計 66

計 76

1 1 9 番 覚 知 別 受 信 状 況

令和 4 年中

種 別	災害区分	該当件数	1 1 9 (固定電話)	携帯 電話	I P 電話	加入 電話	警察 電話	その他
火 災	一般建物	22	1	14	5	1	1	0
	中高層建物	4	1	1	0	1	1	0
	危険物	0	0	0	0	0	0	0
	車両	5	0	3	0	1	1	0
	航空機	0	0	0	0	0	0	0
	船舶	0	0	0	0	0	0	0
	その他	8	1	7	0	0	0	0
	管外応援	9	0	1	0	0	0	8
	小 計	48	3	26	5	3	3	8
救 急	急病	10, 375	1, 444	5, 435	2, 892	125	342	137
	交通	751	14	486	31	3	184	33
	一般	2, 005	256	1, 115	513	14	73	34
	労働	105	9	62	30	0	2	2
	加害	75	6	38	3	0	27	1
	自損	144	5	90	17	0	30	2
	運動	54	1	45	8	0	0	0
	転院	1, 203	122	120	919	40	0	2
	医師	1	0	0	1	0	0	0
	火災	37	2	20	9	1	2	3
	水難	1	0	0	0	0	1	0
	自然	0	0	0	0	0	0	0
	資材	4	0	0	4	0	0	0
	その他	214	14	63	26	1	97	13
	管外応援	1	0	0	0	1	0	0
	小 計	14, 970	1, 873	7, 474	4, 453	185	758	227
救 助	交通事故	14	0	8	0	0	4	2
	機械事故	1	0	1	0	0	0	0
	水難事故	3	0	0	1	0	2	0
	建物事故	212	8	69	7	11	105	12
	自然風水	0	0	0	0	0	0	0
	建物火災	22	0	16	4	1	1	0
	他火災	2	0	2	0	0	0	0
	爆発事故	0	0	0	0	0	0	0
	ガス酸欠	1	0	0	0	0	1	0
	その他	10	0	3	2	0	4	1
	管外応援	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	265	8	99	14	12	117	15
そ の 他	警戒	157	5	53	21	9	44	25
	調査	157	29	67	9	19	29	4
	救急支援	1, 213	171	484	224	29	45	260
	誤報	6	0	3	2	0	1	0
	管外応援	10	0	1	0	1	0	8
	その他	17	0	2	0	1	0	14
	小 計	1, 560	205	610	256	59	119	311
キ ャ ン セ ル 等	重複	596	49	367	92	0	69	19
	通報訓練	390	192	26	168	0	0	4
	転送	471	6	431	16	0	5	13
	問合せ	3, 218	222	1, 017	342	0	1, 592	45
	間違いその他	2, 124	554	1, 168	192	0	170	40
	小 計	6, 799	1, 023	3, 009	810	0	1, 836	121
合 計		23, 642	3, 112	11, 218	5, 538	259	2, 833	682

気象状況

令和4年中

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
温度 ℃	最	高	13.6	15.8	24.6	28.6	31.7	38.9	39.2	39.5	32.4	30.6	24.3	17.4
	最	低	-4.8	-4.7	0.0	3.3	7.7	14.3	21.5	18.8	16.2	6.0	4.9	-2.9
	平	均	4.1	4.4	10.3	15.1	18.6	23.3	27.7	27.7	24.3	16.7	13.5	6.4
湿度 %	最	高	96.6	97.5	98.0	98.8	99.4	99.1	99.4	99.7	99.7	99.4	98.3	98.3
	最	低	16.3	8.6	13.6	19.9	19.7	21.6	27.7	32.4	36.6	29.1	29.1	13.3
	平	均	48.3	50.5	59.7	70.2	70.4	74.7	77.8	77.8	80.5	77.0	71.8	60.4
	実効湿度(最高)		63.1	70.2	70.9	69.9	79.9	83.6	91.2	84.7	89.9	77.1	79.7	75.7
	実効湿度(平均)		48.7	50.3	57.5	56.6	70.1	75.1	76.7	76.8	81.4	68.4	71.1	61.6
風速 m/s	最	高	21.5	20.1	21.6	19.7	18.4	16.7	15.0	18.5	22.5	11.9	18.1	15.7
	平	均	2.5	2.4	2.3	2.4	2.3	2.3	2.4	2.4	2.0	1.6	1.6	1.6
降水量 mm			12.0	43.5	81.0	159.0	113.0	115	156.5	117.0	250.5	105.5	47.0	36.5
天候	晴		25	23	17	11	16	12	11	9	10	14	18	21
	曇		5	3	12	14	11	13	17	14	14	12	10	7
	雨		1	2	1	5	4	5	3	8	6	5	2	3
	雪													

気象情報受理状況

令和4年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
大雨特別警報												
大雨警報							1					
洪水警報							1					
大雨注意報					2		6	2	6			
洪水注意報					1		1	1	2			
雷注意報		1	2	8	5	14	16	14	12	1		1
強風注意報	7	7	8	2				1	2		3	1
乾燥注意報	25	18	13	1								10
濃霧注意報	2	1	4	13	8	3		3	1	3	17	6
霜注意報			6	6								
大雪注意報		2	1									
着雪注意報	2	2	1									
低温注意報	2											

緊急通報システム受信状況

令和4年中

	富士見市	ふじみ野市	三芳町	合 計
緊 急 通 報	49	48	56	153
試 験 通 報	88	76	119	283
間 違 通 報	20	24	15	59
そ の 他 通 報	10	4	11	25
合 計	167	152	201	520

緊急通報システム機器設置状況

令和4年中

	富士見市	ふじみ野市	三芳町	合 計
令和3年末総台数	349	361	394	1104
新設台数	45	39	65	149
撤去台数	▲ 86	▲ 65	▲ 61	▲ 212
令和4年末総台数	308	335	398	1041

- 緊急連絡システム -



1. 緊急事態発生
2. 発信機を押す

3. 指揮統制課では発信者情報等が表示される
4. 折り返し、応答が無ければ出動指令

口頭指導実施状況

令和4年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
心肺蘇生法	37	34	37	34	20	21	23	22	23	27	29	43	350
気道異物除去	2	0	0	2	0	0	1	0	0	1	2	1	9
止血法	2	3	3	8	7	2	1	2	1	5	6	1	41
熱 傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指趾切断	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	41	38	41	44	27	23	26	24	24	33	37	45	403
拒 否	6	5	2	8	6	6	1	4	6	6	7	6	63

火 災



火災の概況
損害額の推移
火災による死傷者の推移
用途別建物火災発生件数
月別火災発生状況
時間帯別火災発生状況
出火原因別火災発生状況

火 災 の 概 況

令和4年中

		単位	総 数	構 成 市 町 別		
				富士見市	ふじみ野市	三 芳 町
総 数		件	39	11	14	14
火 災 件 数	建 物	件	26	10	8	8
	林 野		-	-	-	-
	車 両		5	1	2	2
	そ の 他		8	-	4	4
焼 損 棟 数	全 焼	棟	7	2	3	2
	半 焼		3	1	1	1
	部 分 焼		12	5	4	3
	ぼ や		24	13	8	3
建 物 焼 損 床 面 積		m ²	625	199	308	118
建 物 焼 損 表 面 積		m ²	166	46	81	39
林 野 焼 損 面 積		a	-	-	-	-
死 者		人	2	-	2	-
負 傷 者		人	11	1	4	6
り 災 世 帯		世帯	35	18	14	3
り 災 人 員		人	72	34	28	10
損 害 額		千円	74,468	21,386	41,132	11,950
出 火 率		件	1.5	1.0	1.2	3.7

備考：「出火率」とは、人口1万人当りの出火件数をいう。

損害額の推移

単位：千円

各年中

年別 区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
火災件数	52	61	51	40	58	39
損害額	1,351,826	94,774	78,528	35,285	123,116	74,468
前年比(%)	1687	7	83	45	349	60
損害額／件	25,997	1,554	1,540	882	2,123	1,909
前年比(%)	1655	6	99	57	241	90

火災による死傷者の推移

単位：人

各年中

年別 区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総数	6	4	11	10	17	13
死者	1	3	3	3	5	2
負傷者	5	1	8	7	12	11

用途別建物火災発生件数

単位：件

各年中

用途別 年別	総数	専用住宅	共同住宅	店舗併用住宅	複合用途(特定)	複合用途(非特定)	倉庫・物置	工場・作業所	店舗	病院・診療所	事務所	その他
平成29年	28	6	11	-	-	-	4	3	3	-	-	1
平成30年	31	12	9	-	1	-	-	5	1	-	1	2
令和元年	28	10	7	-	2	-	2	-	4	-	-	3
令和2年	27	12	8	2	1	-	-	1	1	-	-	2
令和3年	36	19	7	1	1	-	3	4	1	-	-	-
令和4年	26	9	8	-	-	-	3	5	-	-	-	1

月別火災発生状況

単位：人

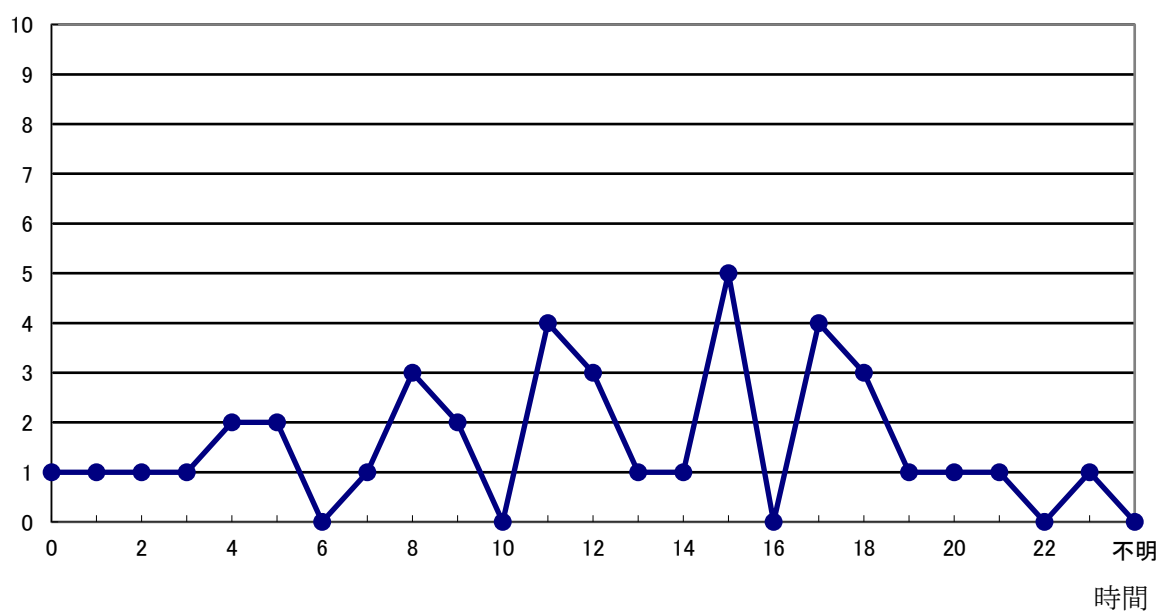
令和4年中

月 別	市 町 別	総 数	構 成 市 町 別		
			富士見市	ふじみ野市	三 芳 町
総 数		39	11	14	14
1 月		5	1	1	3
2 月		1	－	1	－
3 月		5	2	3	－
4 月		8	2	5	1
5 月		2	－	1	1
6 月		2	－	1	1
7 月		2	1	－	1
8 月		1	1	－	－
9 月		1	－	1	－
10 月		2	1	1	－
11 月		4	1	－	3
12 月		6	2	－	4

時間帯別火災発生状況

単位：件

令和4年中



出火原因別火災発生状況

単位：件

令和4年

区 分	総 数	構成市町別		
		富士見市	ふじみ野市	三芳町
総 数	39	11	14	14
放 火 ・ 放 火 の 疑 い	4	1	2	1
こ ん ろ	4	2	1	1
た ば こ	4	1	1	2
た き 火	2		1	1
火 遊 び	1			1
電 灯 電 話 の 配 線	1			1
ス ト ー ブ	2	1	1	
排 気 管	-			
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	-			
配 線 器 具	1		1	
火 入 れ	-			
焼 却 炉	-			
電 気 機 器	7	3	3	1
溶 接 機 ・ 切 断 機	-			
灯 火	1	1		
風 呂 釜	-			
電 気 装 置	-			
内 燃 機 関	1		1	
炉	-			
衝 突 の 火 花	-			
取 灰	1	1		
か ま ど	-			
煙 突 ・ 煙 道	-			
こ た つ	-			
ボ イ ラ ー	-			
そ の 他	3		1	2
不 明	7	1	2	4

救 急 ・ 救 助



救急業務の実施体制

救急活動概要

年別構成市町別救急出場件数および搬送人員の推移

5 か年の救急の動向表

救急出場種別表

搬送者傷病程度種別表

5 か年の事故種別構成比

救急隊による応急処置実施状況

年齢区分別事故種別搬送人員の状況

曜日別救急出場件数

月別救急出場件数

時間帯別救急出場件数

発生場所別搬送人員

医療機関別搬送人員

他の医療機関への転院搬送依頼件数

医療機関別搬送状況

住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

急病に係る疾病分類別年齢区分、傷病程度別搬送人員の状況

現場到着所要時間別状況

収容所要時間別状況

署内救急事後事例研究会実施状況

救助統計

主な救助用資器材の保有状況

救急業務の実施体制

令和5年4月1日現在

○ 救急隊員有資格者総数	220 人
○ 救急救命士有資格者数	59 人
○ 救急隊員数	72 人
○ 高規格救急自動車保有台数 (災害対応特殊救急自動車含む)	9 台

救急活動概要

年 別 区 分		令和4年 A	令和3年 B	前 年 比 較	
				増 減 数	増 減 率
				$A - B = C$	$C \div B$
出 場 件 数		14,970	12,086	2,884	23.9%
傷 病 者 搬 送 件 数		12,501	10,430	2,071	19.9%
傷 病 者 不 搬 送 件 数		2,469	1,656	813	49.1%
医 師 搬 送 件 数		1	0	1	皆増
資 器 材 等 搬 送 件 数		4	4	0	-
傷 病 者 搬 送 人 員		12,579	10,476	2,103	20.1%
内 訳	男 性	6,574	5,345	1,229	23.0%
	女 性	6,005	5,131	874	17.0%
1 日 平 均 出 場 件 数		41.0	33.1	入間東部地区人口 令和3年1月1日現在 257,528人 令和4年1月1日現在 264,641人 昨年比7,113人	
発 生 率		35.0 分に1件	43.4 分に1件		
救 急 車 利 用 率		21.0 人に1人	24.6 人に1人		
人口1万人当りの出場件数		565.7 件	469.3 件		

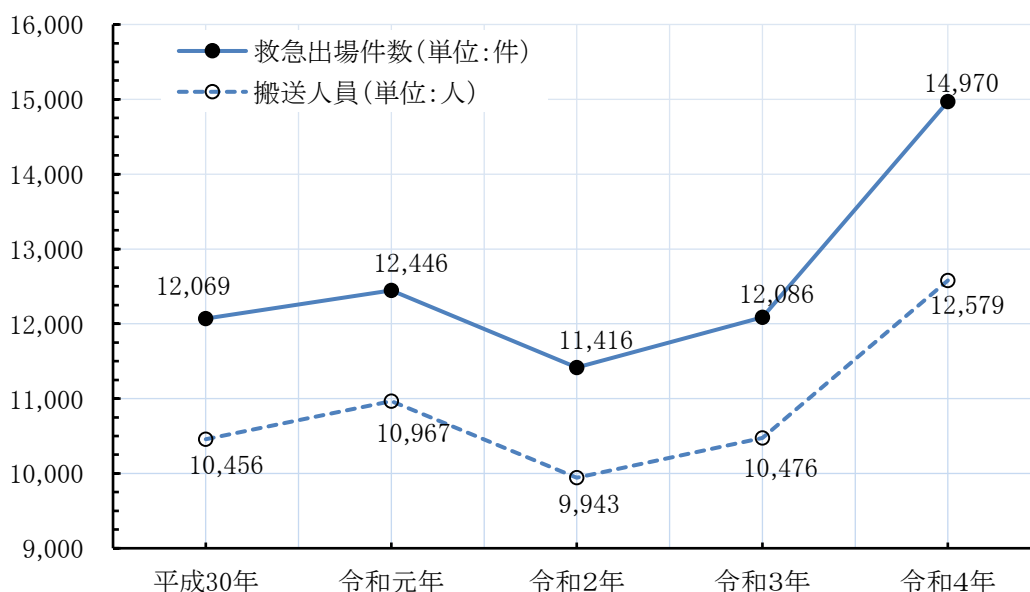
年別救急出場件数及び搬送人員の推移

令和4年中

事故種別		合	火	自然	水	交	労働	運動	一般	加	自損	急	そ
		計	災	災害	難	通	災害	競技	負傷	害	行為	病	他
総数		出場件数（件） 搬送人員（人）	14,970 12,579	37 11	－ －	1 648	751 101	105 56	2,005 1,724	75 40	144 95	10,376 8,703	1,422 1,201
市町別	富士見市	出場件数（件） 搬送人員（人）	6,295 5,169	7 1	－ －	1 273	319 29	25 26	892 750	31 13	63 43	4,286 3,496	641 538
		ふじみ野市	出場件数（件） 搬送人員（人）	6,054 5,108	15 4	－ －	280 251	31 29	23 24	861 756	41 25	64 41	4,487 3,809
	三芳町		出場件数（件） 搬送人員（人）	2,620 2,302	15 6	－ －	152 124	44 43	6 6	252 218	3 2	17 11	1,602 1,398
		平成30年	出場件数（件） 搬送人員（人）	12,068 10,455	45 3	－ －	829 756	341 325	80 80	1,666 1,500	95 51	99 72	7,822 6,828
	令和元年		出場件数（件） 搬送人員（人）	12,444 10,966	29 10	1 －	845 773	129 127	71 71	1,788 1,620	95 59	124 87	8,163 7,263
		令和2年	出場件数（件） 搬送人員（人）	11,414 9,940	30 7	－ －	659 601	114 111	42 41	1,699 1,498	77 45	123 70	7,528 6,625
令和3年	出場件数（件） 搬送人員（人）		12,086 10,476	39 12	1 1	700 627	108 104	49 46	1,729 1,523	62 38	110 82	7,934 6,895	1,354 1,148
	令和4年	出場件数（件） 搬送人員（人）	14,969 12,579	37 11	－ －	751 648	105 101	54 56	2,005 1,724	75 40	144 95	10,375 8,703	1,422 1,201

※年別(令和4年)出場件数に、管外出場件数(急病1件)は含まない。

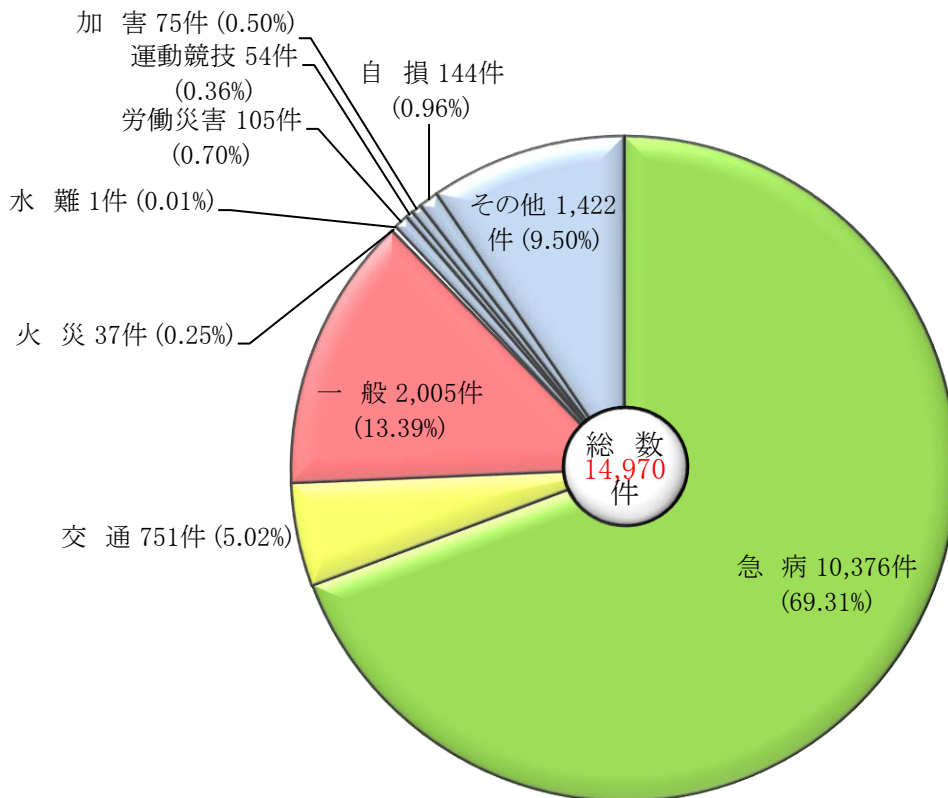
5か年の救急出場の動向(各年中)



※平成30年は、構成市町以外への救急出場1件／搬送1名を含む。
 ※令和元年は、構成市町以外への救急出場2件／搬送3名を含む。
 ※令和2年は、構成市町以外への救急出場2件／搬送なしを含む。
 ※令和3年は、構成市町以外への救急出場0件。
 ※令和4年は、構成市町以外への救急出場1件／搬送なしを含む。

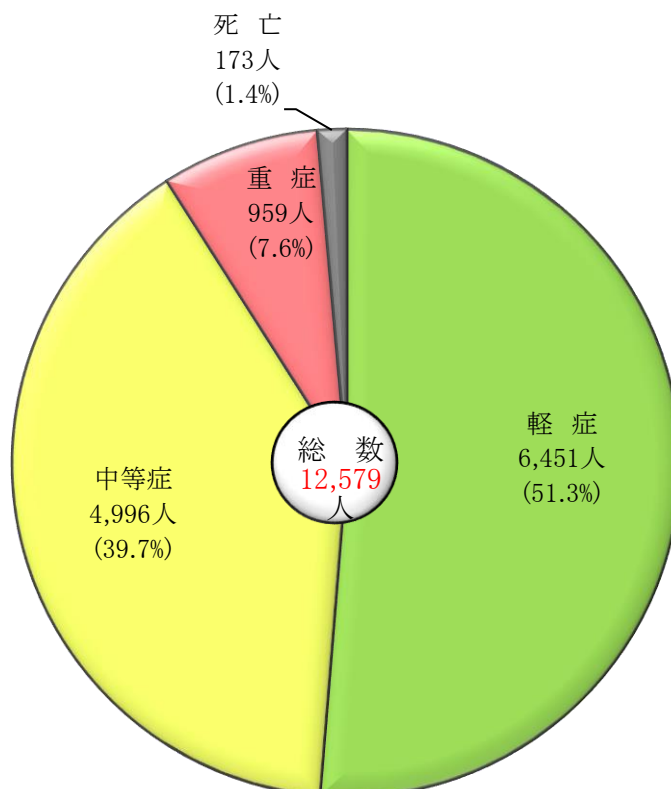
救急出場種別

令和4年中



搬送者傷病程度種別

令和4年中



5か年の事故種別構成比

単位: %



救急隊による応急処置実施状況

単位: 件

令和4年中

事故種別	搬送人員	止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	うちラリンゲルチューブ挿管	うち気管挿管	保温	被覆	在宅療法継続	シヨックパンツ	除細動	静脈路確保	うち心肺停止前	薬剤投与	その他	血圧測定	聴診器による聴診	血中酸素飽和度の測定	心電図	血糖測定	エピペン投与	ブドウ糖投与	合計
急病	8,703	54	20	61	297	1,849	377	185	12	4,151	57	257	—	25	281	41	165	8,234	8,180	4,844	8,434	5,353	590	—	64	43,293
交通	648	39	140	1	3	25	4	2	—	225	130	1	—	1	3	—	2	618	643	262	645	146	8	—	—	2,896
一般負傷	1,724	221	147	1	6	85	12	2	4	714	449	24	—	2	9	4	4	1,618	1,644	559	1,712	557	18	—	—	7,782
その他	1,504	30	35	5	17	414	25	10	3	825	65	44	—	1	6	—	4	1,419	1,422	511	1,475	791	7	—	1	7,097
計	12,579	344	342	68	323	2,373	418	199	19	5,915	701	326	—	29	299	45	175	11,889	11,889	6,176	12,266	6,847	623	—	65	61,068

年齢区分別事故種別搬送人員の状況

単位：人

令和4年中

事故種別 年齢区分	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
総数	8,703	648	1,724	1,504	12,579
新生児	9	—	—	55	64
乳幼児	506	11	133	28	678
少年	227	70	55	56	408
成人	2,471	378	266	550	3,665
高齢者	5,490	189	1,270	815	7,764

年齢区分は次による。

- ・新生児 生後28日未満の者
- ・乳幼児 生後28日以上
満7歳未満の者
- ・少年 満7歳以上
満18歳未満の者
- ・成人 満18歳以上
満65歳未満の者
- ・高齢者 満65歳以上の者

曜日別救急出場件数

単位：件

令和4年中

曜日別	月	火	水	木	金	土	日	合計
出場件数	2,220	2,142	2,105	2,169	2,142	2,165	2,027	14,970
1日平均 出場件数	42.69	41.19	40.48	41.71	41.19	40.85	38.98	41.01

月別救急出場件数

単位：件

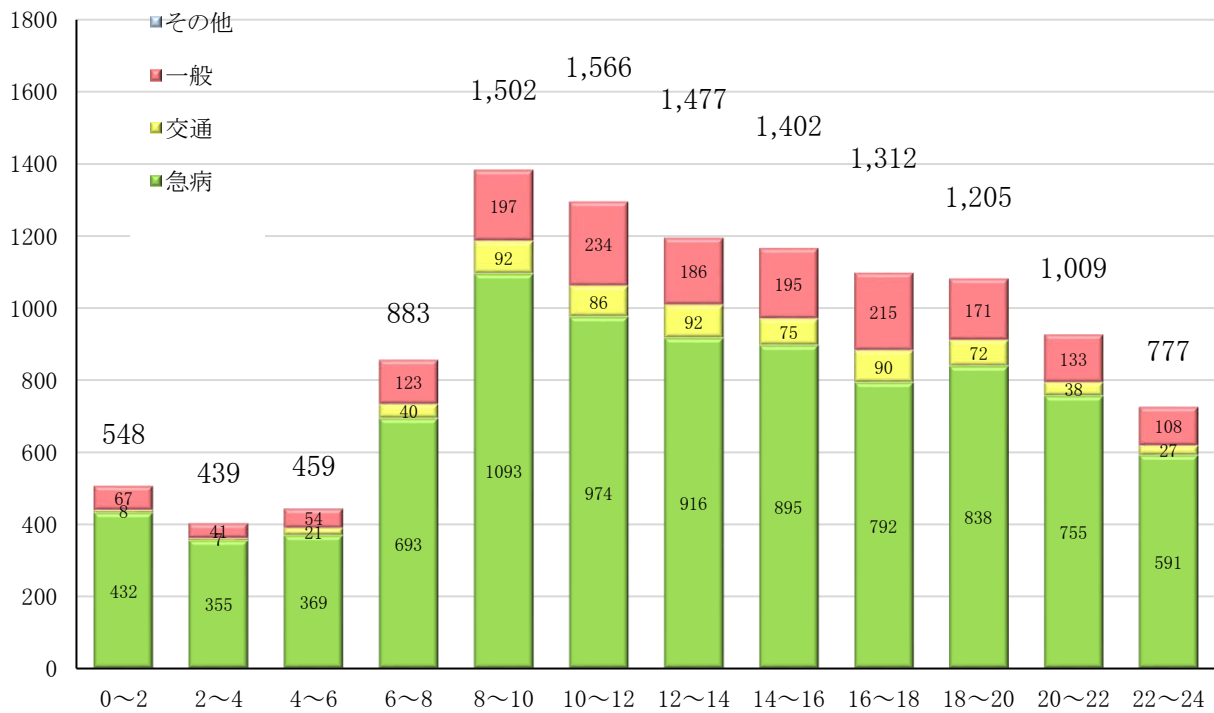
令和4年中

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出場件数	1,277	1,108	1,146	1,086	1,081	1,174	1,480	1,465	1,165	1,179	1,304	1,505	14,970
1日平均 出場件数	41.19	39.57	36.97	36.20	34.87	39.13	47.74	47.26	38.83	38.03	43.47	48.55	41.01

時間帯別搬送人員

令和4年中

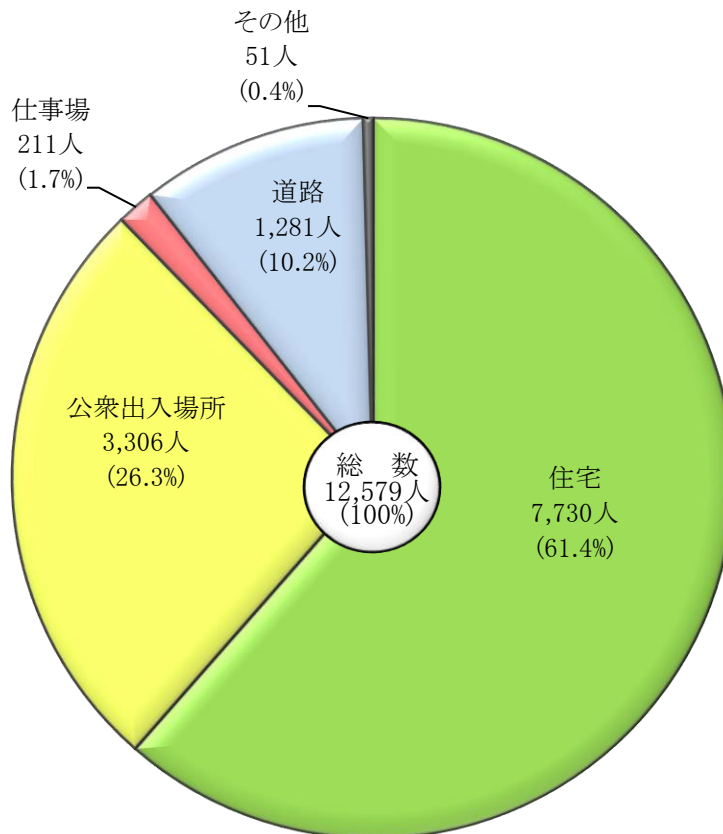
単位:人



単位:時

発生場所別搬送人員

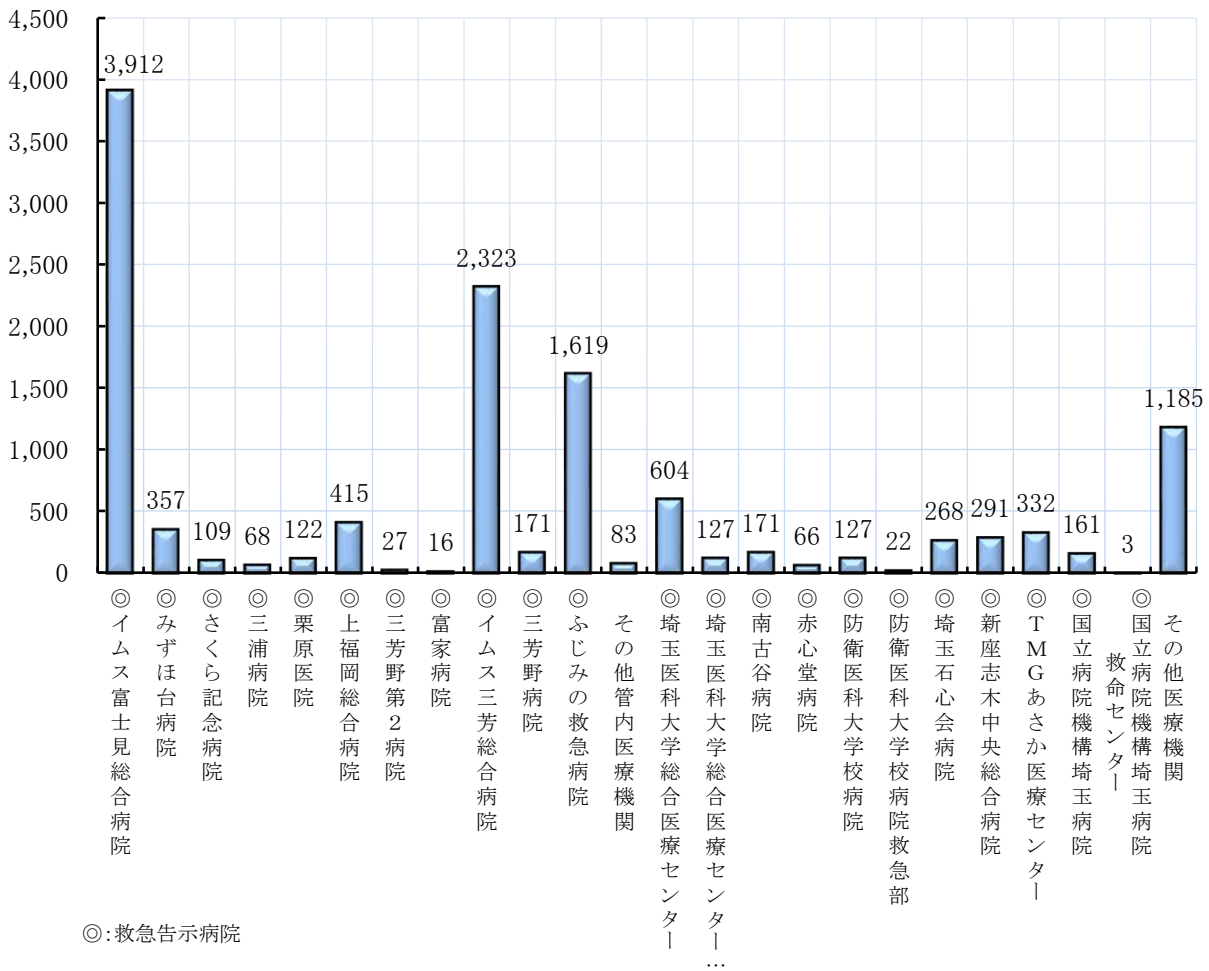
令和4年中



医療機関別搬送人員

令和4年中

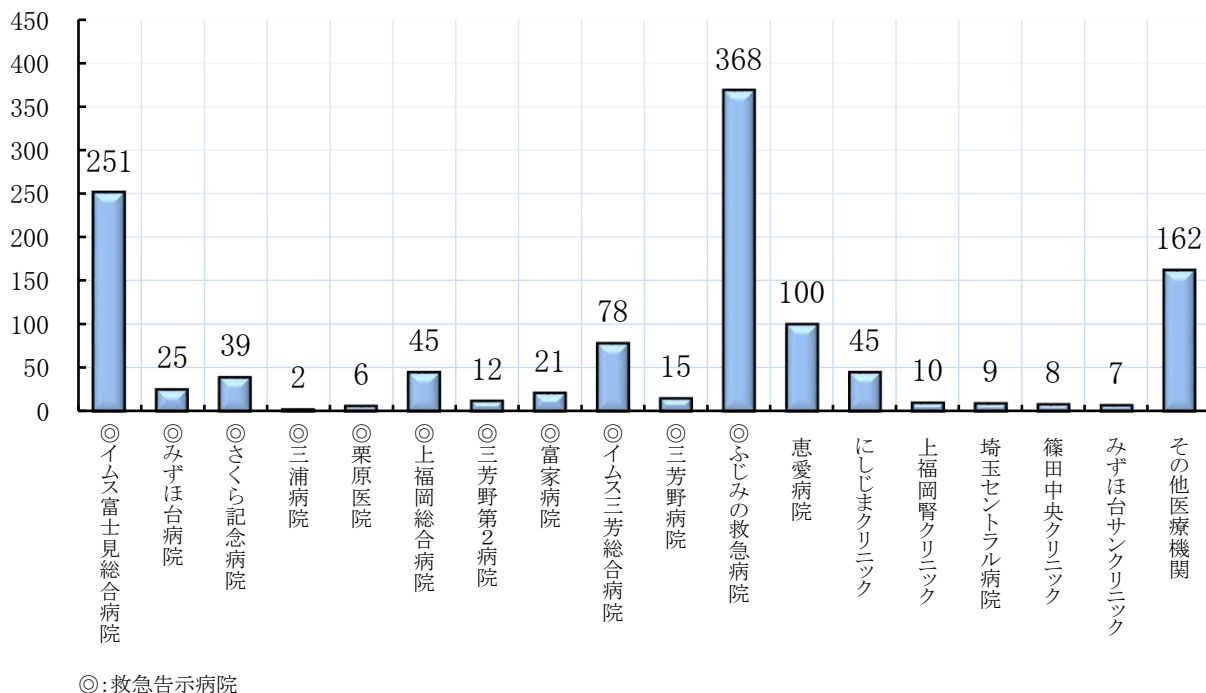
単位:人



他の医療機関への転院搬送依頼件数

令和4年中

単位:件



医療機関別搬送状況

単位：人

令和4年中

区 分	医 療 機 関 別	救急告示医療機関				その他の医療機関				合 計				そ の 他 の 場 所	合 計	
		国 ・ 公 立	公 的	私 的		国 ・ 公 立	公 的	私 的		国 ・ 公 立	公 的	私 的				計
				病 院	診 療 所			病 院	診 療 所			病 院	診 療 所			
合 計		432	42	11,798	173	4	1	51	74	436	43	11,849	247	12,575	4	12,579
管 内		4	—	9,029	122	—	—	16	51	4	—	9,045	173	9,222	—	9,222
管 外		428	42	2,769	51	4	1	35	23	432	43	2,804	74	3,353	4	3,357

住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

令和4年中

応急手当指導種別	指導回数	参加人員	延べ指導時間
総数	116 回	1,855 人	241 時間
普通救命講習Ⅰ	30 回	386 人	90 時間
普通救命講習Ⅱ	— 回	— 人	— 時間
普通救命講習Ⅲ	17 回	206 人	51 時間
上級救命講習	2 回	30 人	16 時間
救命入門コース	2 回	20 人	— 時間
応急手当講習	65 回	1,213 人	84 時間

急病に係る疾病分類別年齢区分、傷病程度別搬送人員の状況

単位：人

令和4年中

年齢区分 分類項目	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計
総数	9	506	227	2,471	5,490	166	609	3,433	4,495	—	8,703
脳疾患	—	—	—	95	356	—	84	306	61	—	451
心疾患	—	—	1	92	388	2	64	270	145	—	481
消化系	—	34	12	195	327	1	21	285	261	—	568
呼吸系	—	59	12	85	456	3	59	367	183	—	612
精神系	—	—	2	77	23	—	1	5	96	—	102
感覚系	—	9	26	115	134	—	8	72	204	—	284
泌尿系	—	—	2	124	87	—	3	57	153	—	213
新生物	—	—	—	28	139	1	44	103	19	—	167
その他	4	66	38	361	738	1	65	506	635	—	1,207
不明確	5	338	134	1,299	2,842	158	260	1,462	2,738	—	4,618

現場到着所要時間別状況

単位：件

令和4年中

現場到着時間 事故種別	総数	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均 所要時間 (分)
総 数	14,970	31	116	6,796	7,788	239	10.3
急 病	10,376	6	44	4,514	5,651	161	10.5
交 通	751	4	4	390	333	20	10.0
一 般 負 傷	2,005	5	7	916	1,053	24	10.2
そ の 他	1,838	16	61	976	751	34	9.5

収容所要時間別状況

単位：人

令和4年中

収容所要時間 事故種別	総数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均 所要時間 (分)
総 数	12,579	1	15	686	8,442	3,122	313	53.9
急 病	8,703	—	7	441	5,809	2,184	262	54.8
交 通	648	—	3	43	463	136	3	48.6
一 般 負 傷	1,724	1	1	89	1,132	467	34	53.8
そ の 他	1,504	—	4	113	1,038	335	14	50.3

署内救急活動事後事例研究会実施状況



アドバイザーとして埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センターの医師を招き、シミュレーションや事例検討を行い、日々高度化が求められる救急に対応するため、救急隊員のほか、消防隊員、救助隊員、指令担当者が参加しています。また、地域救急医療の中心を担っているイムス富士見総合病院・イムス三芳総合病院から医師・看護師等に参加して頂いています。

令和4年度

開催回数	開催日	講師	検討議題	参加者数
第196回	5月17日	安藤陽児	有機溶剤による化学損傷事案について 低血糖と意識障害の関係について	51
第197回	7月19日	安藤陽児	POT(Paramedic Orbital Training)の実施について	28
第198回	9月20日	安藤陽児	バイスタンダー及び家族のメンタルケアの必要性を感じた症例 熱中症事案、輸液の判断について	39
第199回	10月18日	安藤陽児	外傷基本訓練	57
第200回	11月15日	安藤陽児	症例発表	57
第201回	12月20日	安藤陽児	POT(Paramedic Orbital Training)	31
第202回	1月17日	安藤陽児	緊急消防援助隊（関東ブロック）の結果報告について POT(Paramedic Orbital Training)	39
第203回	3月14日	安藤陽児	脳卒中を疑った事案について ドクターヘリ多数傷病の事案について	46

参加者合計： 348

救 助 統 計

救助出場件数状況

年 次	合 計	災 害 種 別									
		火 災		交 通	水 難	風 水 害	機 械	建 物	ガ ス	爆 発	そ の 他
		建 物	以 外								
平成30年1月～12月	78	18	-	11	1	-	2	41	-	1	4
平成31年1月～令和元年12月	188	14	-	12	2	-	-	148	-	-	12
令和2年1月～12月	256	17	1	20	1	-	1	206	1	-	9
令和3年1月～12月	275	18	1	12	-	-	2	231	1	-	10
令和4年1月～12月	265	22	2	14	3	-	1	212	1	-	10

事故種別救助人員

年 次	合 計	災 害 種 別									
		火 災		交 通	水 難	風 水 害	機 械	建 物	ガ ス	爆 発	そ の 他
		建 物	以 外								
平成30年1月～12月	60	2	-	12	-	-	2	39	-	-	5
平成31年1月～令和元年12月	69	3	-	9	2	-	-	44	-	-	11
令和2年1月～12月	82	5	-	8	1	-	1	61	1	-	5
令和3年1月～12月	88	5	-	4	-	-	1	73	-	-	5
令和4年1月～12月	94	4	-	9	2	-	4	70	-	-	5

事故種別活動人員

年 次	合 計	災 害 種 別									
		火 災		交 通	水 難	風 水 害	機 械	建 物	ガ ス	爆 発	そ の 他
		建 物	以 外								
平成30年1月～12月	1,265	472	-	147	20	-	18	547	-	-	61
平成31年1月～令和元年12月	3,244	535	-	251	35	-	-	2,216	-	-	207
令和2年1月～12月	3,150	435	24	227	24	-	17	2,298	22	-	103
令和3年1月～12月	3,416	500	31	128	-	-	17	2,593	23	-	124
令和4年1月～12月	3,264	605	60	141	48	-	15	2,235	14	-	146

主な救助用資機材の保有状況

令和5年4月1日現在

分類	品名	西消防署 高度救助隊	東消防署 特別救助隊
一般救助用器具	かぎ付はしご	1	1
	三連はしご	1	1
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	1	1
	空気式救助マット	1	1
	救命索発射銃	1	1
	サバイバーリング又は救助用縛帯	1	1
	平担架	1	1
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2	2
	油圧スプレッダー	1	1
	可搬ウインチ	1	1
	マンホール救助器具	1	1
	マット式空気ジャッキ一式	1	1
	大型油圧スプレッダー	1	1
	救助用支柱器具	1	1
切断用器具	油圧切断機	1	1
	エンジンカッター	1	1
	ガス溶断器	1	1
	チェーンソー	1	1
	鉄線カッター	1	1
	空気鋸	1	1
	大型油圧切断機	1	1
	空気切断機	1	1
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1	0
破壊用器具	万能斧	2	2
	携帯用コンクリート破壊器具	1	1
	削岩機	4	1
	ハンマドリル	1	1
検知・測定用器具	化学剤検知器	1	0
	可燃性ガス測定器	2	1
	有毒ガス測定器	1	1
	放射線測定器	1	1
呼吸保護用器具	空気呼吸器	5	5
	空気補充用ボンベ	7	12
	酸素呼吸器	5	5
	簡易呼吸器	2	4
	防塵マスク	5	5
	送排風機	1	1
隊員保護用器具	耐電手袋	5	5
	携帯警報器	5	5
	防毒マスク	5	5
	化学防護服	2	2
	陽圧式化学防護服	5	5
	耐熱服	2	0
	放射線防護服	4	0
	耐電資機材（上衣・下衣・長靴・特殊ヘルメット）	2	2
検 索 用 器 具	簡易画像探査機	1	1
除 染 用 器 具	除染シャワー	1	1
	除染剤散布器	2	2
水難救助用器具	救命胴衣	5	25
	救命浮環	3	2
	救命ボート	1	2
	船外機	0	1
山岳救助用器具	バスケット担架	1	1
高度救助用器具	画像探索機	2	1
	地中音響探知機	1	0
	熱画像直視装置	1	1
	夜間用暗視装置	1	0
	地震警報器	1	0
	電磁波探査装置	1	0

消 防 団



消防分団車庫の配置

消防団の組織

沿 革

歴代消防団諮問委員会長

消防団諮問委員

富士見市歴代消防団長（消防組合発足以後）

ふじみ野市歴代消防団長

三芳町歴代消防団長（消防組合発足以後）

（旧）上福岡市歴代消防団長（消防組合発足以後）

（旧）大井町歴代消防団長（消防組合発足以後）

消防団員の定員と実員数

消防団員の配置状況

消防団員の年齢

消防団員の勤続年数

消防団分団車庫の現況

消防団車両現勢

消防団車庫の配置



三芳第 1



三芳第 2



三芳第 3



三芳第 4



三芳第 5



富士見市第 1



富士見市第 2



富士見市第 3



富士見市第 4



富士見市第 5



富士見市第 6



富 = 富士見市消防団
ふ = ふじみ野市消防団
三 = 三芳町消防団



ふじみ野市第 1



ふじみ野市第 2



ふじみ野市第 3



ふじみ野市第 4



ふじみ野市第 5



富士見市第 7



ふじみ野市第 6



ふじみ野市第 7



ふじみ野市第 8



ふじみ野市第 9



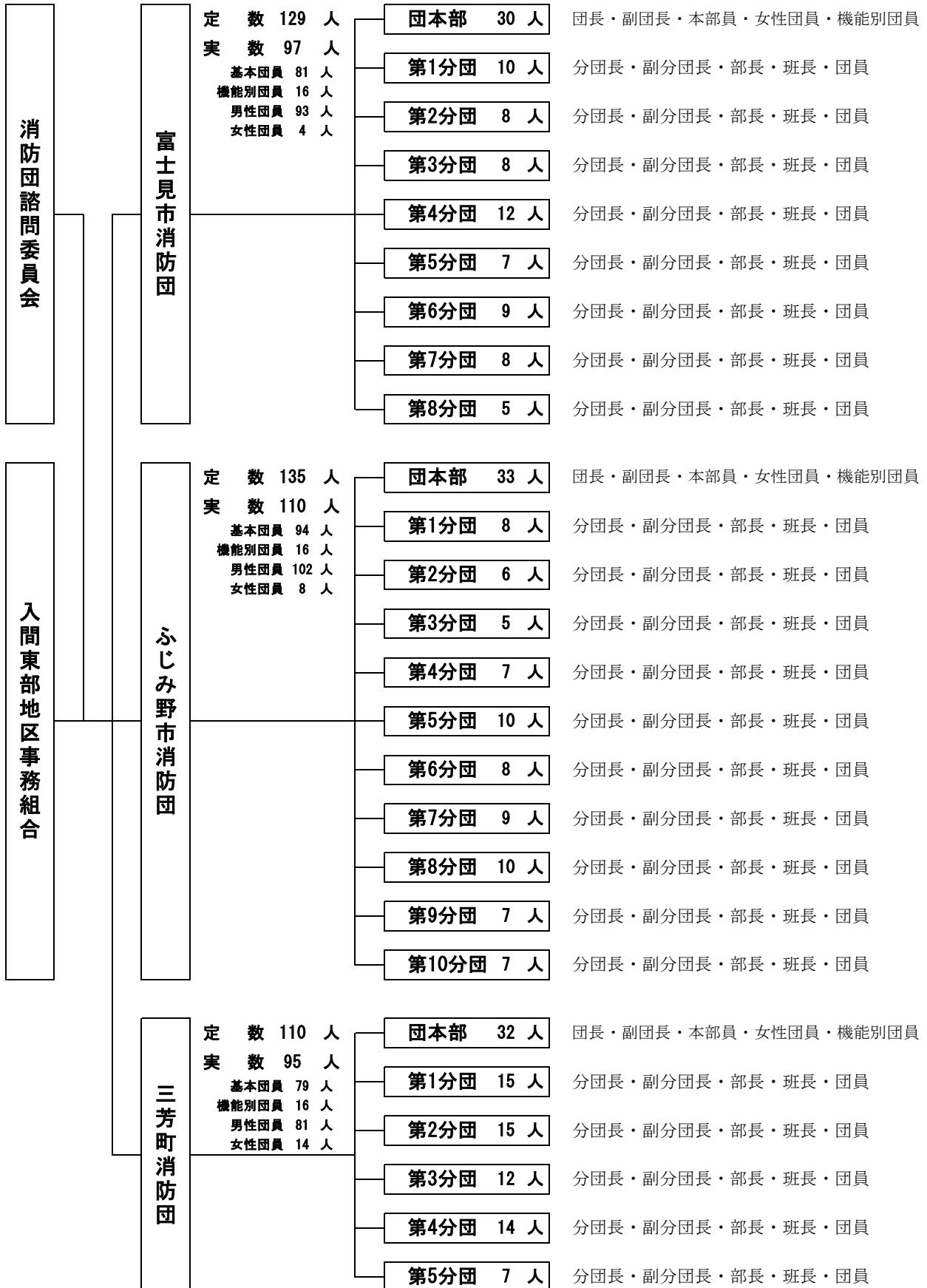
ふじみ野市第 10



富士見市第 8

消防団の組織

令和5年4月1日現在



沿 革

● 入間東部地区事務組合構成市町消防団の沿革

- 昭和 43 年 10 月 ・埼玉県消防協会より特別優良消防団として表彰される。
- 昭和 47 年 7 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部が設立される。
・初代支部長に高山伊英司氏（大井町消防団長）が就任する。
- 昭和 50 年 2 月 ・上福岡市消防団第2分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞTLG22W改）を更新する。
- 昭和 51 年 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に柳川豊治氏（上福岡市消防団長）が就任する。
- 昭和 52 年 11 月 ・三芳町消防団第3分団に普通ポンプ車（ニッサンFHN60）を更新する。
- 昭和 54 年 11 月 ・富士見市消防団第2分団に普通ポンプ車（ニッサンFH60）を更新する。
- 昭和 55 年 11 月 ・富士見市消防団第1分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞK-KAD52改）を更新する。
・富士見市消防団第4分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞK-KAD52改）を更新する。
・上福岡市消防団第5分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
・三芳町消防団第4分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する
- 昭和 56 年 11 月 ・富士見市消防団第3分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞN-KAD52改）を更新する。
・富士見市消防団第7分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞN-KAD52改）を更新する。
・上福岡市消防団第3分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞN-KAD52改）を更新する。
・大井町消防団第4分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
・三芳町消防団第5分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
・埼玉県消防操法大会に三芳町消防団第4分団（分団長鈴木英美）が出場する。
- 昭和 57 年 4 月 ・富士見市消防団長に金子昇氏が就任する。
10 月 ・富士見市消防団第6分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞN-KAD52改）を更新する。
11 月 ・大井町消防団第3分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
・三芳町消防団第1分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
・三芳町消防団第2分団に普通ポンプ車（ニッサンJ-FG160）を更新する。
- 昭和 58 年 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に塩野清市氏（大井町消防団長）が就任する。
・富士見市消防団長に林三喜氏が就任する。
・上福岡市消防団長に土屋浩氏が就任する。
・三芳町消防団長に高山敏光氏が就任する。
10 月 ・富士見市消防団第5分団に普通ポンプ車（ニッサンM-FG161）を更新する
・大井町消防団第5分団に普通ポンプ車（ニッサンM-FG161）を更新する
- 昭和 59 年 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に林三喜氏（富士見市消防団長）が就任する。
・上福岡市消防団長に野沢健司氏が就任する。
・大井町消防団長に柿沼正作氏が就任する。
・三芳町消防団長に鈴木英美氏が就任する。
- 昭和 60 年 3 月 ・三芳町上富1909-1に三芳町消防団第1分団車庫（軽量鉄骨造スレート葺平屋建）が完成する。
- 昭和 60 年 3 月 ・富士見市消防団第8分団に普通ポンプ車（いすゞP-NKR57E2N改）を更新する。
・上福岡市消防団第1分団に普通ポンプ車（いすゞP-NKR57E2N改）を更新する。
・大井町消防団第1分団に普通ポンプ車（いすゞP-NKR57E2N改）を更新する。
4 月 ・上福岡市消防団長に宮崎昭之助氏が就任する。

- 昭和 61 年 3 月 ・ 三芳町藤久保 1032-1 に三芳町消防団第 4 分団車庫（軽量鉄骨造スレート葺平屋建）が完成する。
- 4 月 ・ 大井町消防団長に高山岑男氏が就任する。
 ・ 富士見市消防団長に新井幸雄氏が就任する。
 ・ 埼玉県消防協会入間東部支部長に高山岑男氏（大井町消防団長）が就任する。
 ・ 三芳町消防団長に武田信太郎氏が就任する。
 ・ 埼玉県消防操法大会に富士見市消防団第 8 分団（分団長平塚雄一）が出場する。
- 昭和 62 年 3 月 ・ 上福岡市消防団第 4 分団に普通ポンプ車（いすゞ P-NKR58E2N 改）を更新する。
 ・ 富士見市消防団第 9 分団に小型動力ポンプ車（いすゞ P-NKR55E 改）を更新する。
- 4 月 ・ 上福岡市消防団長に野沢裕司氏が就任する。
 ・ 消防長長官より大井町消防団へ優良消防団として竿頭綬が授与される。
- 10 月 ・ 三芳町竹間沢 877-1 に三芳町消防団第 5 分団車庫（軽量鉄骨造スレート葺平屋建）が完成する。
- 昭和 63 年 3 月 ・ 大井町消防団第 2 分団に普通ポンプ車（いすゞ P-NKR58E2N 改）を更新する。
- 4 月 ・ 大井町消防団長に神木洋寿氏が就任する。
 ・ 三芳町消防団長に池上実氏が就任する。
 ・ 埼玉県消防協会入間東部支部長に新井幸雄氏（富士見市消防団長）が就任する。
- 平成 元年 4 月 ・ 上福岡市消防団長に奥住良蔵氏が就任する。
- 平成 2 年 3 月 ・ 上福岡市消防団第 2 分団に小型動力ポンプ車（いすゞ P-NHR55E 改）を更新する。
 ・ 三芳町消防団第 3 分団に普通ポンプ車（いすゞ FNN60）を更新する。
- 4 月 ・ 富士見市消防団長に深井平次氏が就任する。
 ・ 大井町消防団長に内田嘉紀氏が就任する。
 ・ 三芳町消防団長に久保義則氏が就任する。
 ・ 埼玉県消防協会入間東部支部長に深井平次氏（富士見市消防団長）が就任する。
- 平成 3 年 4 月 ・ 上福岡市消防団長に谷田富男氏が就任する。
 ・ 三芳町消防団長に内野登氏が就任する。
- 平成 4 年 3 月 ・ 三芳町消防団第 4 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE337B 改）を更新する。
- 4 月 ・ 大井町消防団長に有山茂氏が就任する。
- 5 月 ・ 三芳町北永井 286-7 に三芳町消防団第 3 分団車庫（軽量鉄骨造スレート葺平屋建）が完成する。
- 8 月 ・ 埼玉県消防操法大会に上福岡市消防団第 1 分団（分団長岸沢七郎）が出場する。
- 平成 5 年 3 月 ・ 消防庁長官より三芳町消防団へ優良消防団として竿頭綬が授与される。
- 10 月 ・ 富士見市消防団第 2 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE337B 改）を更新する。
 ・ 上福岡市消防団第 5 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE337B 改）を更新する。
 ・ 三芳町消防団第 5 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE337B 改）を更新する。
- 平成 6 年 3 月 ・ 三芳町消防団第 1 分団に普通ポンプ車（ニッサン U-LG2YH41 改）を更新する。
- 4 月 ・ 富士見市消防団長に鈴木光男氏が就任する。
 ・ 上福岡市消防団長に吉野公一氏が就任する。
 ・ 大井町消防団長に島田和一氏が就任する。
 ・ 三芳町消防団長に田畑忠良氏が就任する。
 ・ 埼玉県消防協会入間東部支部長に鈴木光男氏（富士見市消防団長）が就任する。
- 10 月 ・ 富士見市消防団第 1 分団に小型動力ポンプ車（いすゞ U-NHR69C 改）を更新する。
 ・ 富士見市消防団第 4 分団に小型動力ポンプ車（いすゞ U-NHR69C 改）を更新する。
 ・ 上福岡市消防団第 3 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE538B 改）を更新する。
 ・ 三芳町消防団第 2 分団に普通ポンプ車（三菱 U-FE538B 改）を更新する。

- 平成 7 年 9 月 ・富士見市消防団第3分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタGB－YY201改）を更新する。
 ・富士見市消防団第7分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタGB－YY201改）を更新する。
 ・大井町消防団第4分団に普通ポンプ車（ニッサンKC－AKR71GN改）を更新する。
 ・大井町武蔵野1434－1に大井町消防団第5分団車庫（軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建）が完成する。
- 平成 8 年 3 月 ・三芳町上富188－4に三芳町消防団第2分団車庫（鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
 4 月 ・上福岡市消防団長に岡本敏雄氏が就任する。
 ・大井町消防団長に小室長司氏が就任する。
 ・三芳町消防団長に山田政弘氏が就任する。
 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に山田政弘氏（三芳町消防団長）が就任する。
 12 月 ・大井町消防団第3分団に普通ポンプ車（三菱KC－FE538B改）を更新する。
- 平成 9 年 3 月 ・大井町亀久保1086－1に大井町消防団第3分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
 9 月 ・日本消防協会より富士見市消防団第6分団に小型動力ポンプ車（ニッサンGB－SK2F23改）が寄贈され更新する。
- 平成 10 年 3 月 ・消防庁長官より富士見市消防団へ優良消防団として竿頭綬が授与される。
 4 月 ・富士見市消防団長に新井康之氏が就任する。
 ・上福岡市消防団長に近藤宏明氏が就任する。
 ・大井町消防団長に鈴木潔氏が就任する。
 6 月 ・大井町消防団第5分団に普通ポンプ車（いすゞNKR71G改）を更新する。
 8 月 ・埼玉県消防操法大会に大井町消防団第4分団（分団長有山康夫）が出場する。
 9 月 ・富士見市消防団第5分団に普通ポンプ車（いすゞNKR71G改）を更新する。
- 平成 12 年 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に近藤宏明氏（上福岡市消防団長）が就任する。
 ・富士見市消防団長に平塚雄一氏が就任する。
 ・大井町消防団長に柿沼佳保氏が就任する。
 ・三芳町消防団長に池上正明氏が就任する。
 6 月 ・富士見市消防団第8分団に普通ポンプ車（いすゞKK－NKR71GN改）を更新する。
 ・上福岡市消防団第1分団に普通ポンプ車（いすゞKK－NKR71GN改）を更新する。
 ・大井町消防団第1分団に普通ポンプ車（いすゞKK－NKR71GN改）を更新する。
- 平成 13 年 3 月 ・富士見市下南畑96－1に富士見市消防団第5分団車庫（軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
 ・大井町大井2－4－8に大井町消防団第1分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
- 平成 14 年 2 月 ・上福岡市福岡新田107－4に上福岡市消防団第3分団車庫（軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建）が完成する。
 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に平塚雄一氏（富士見市消防団長）が就任する。
 ・上福岡市消防団長に宮寺康夫氏が就任する。
 ・大井町消防団長に浅見伸明氏が就任する。
 ・三芳町消防団長に林伊佐雄氏が就任する。
- 平成 15 年 2 月 ・上福岡市消防団第4分団に普通ポンプ車（日野KK－XZU331M）を更新する。

- 平成 16 年 2 月 ・大井町消防団第2分団に普通ポンプ車（日野KK-XZU331M）を更新する。
 ・上福岡市駒林103-2に上福岡市消防団第4分団車庫（軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建）が完成する。
- 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に宮寺康夫氏（上福岡市消防団長）が就任する。
 ・富士見市消防団長に齊藤隆浩氏が就任する。
 ・大井町消防団長に有山康夫氏が就任する。
 ・富士見市消防団女性消防団員の入団に伴う辞令交付式を実施する。
 ・埼玉県消防操法大会に三芳町消防団が出場する。
 ・上福岡市消防団女性消防団員の入団に伴う辞令交付式を実施する。
 ・三芳町消防団にラッパ隊が発足する。
- 平成 17 年 2 月 ・大井町苗間371-1に大井町消防団第2分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
 ・日本消防協会より三芳町消防団へ優良消防団として竿頭綬が授与される。
- 3 月 ・上福岡市中央2-882-53に上福岡市消防団第5分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建）が完成する。
- 12 月 ・上福岡市消防団第2分団に普通ポンプ車（日野PD-XZU334M）を更新する。
 ・三芳町消防団第3分団に普通ポンプ車（日野PD-XZU334M）を更新する。
- 平成 18 年 2 月 ・平成17年10月1日に構成市町の上福岡市と大井町の廃置分合により、ふじみ野市が誕生した事に伴い、ふじみ野市消防団を発足する。
 ・三芳町消防団第4分団に普通ポンプ車（日野PD-XZU334M）を更新する。
- 3 月 ・富士見市水子1783-2に、富士見市消防団第7分団車庫（軽量鉄骨造スレート葺平屋建）が完成する。
- 4 月 ・ふじみ野市消防団長に宮寺康夫氏が就任する。
 ・三芳町消防団長に荻原章弘氏が就任する。
 ・三芳町消防団女性消防団員の入団に伴う辞令交付式を実施する。
- 9 月 ・三芳町消防団第5分団に普通ポンプ車（日野PD-XZU334M）を更新する。
- 平成 19 年 2 月 ・ふじみ野市築地1-2-11にふじみ野市消防団上福岡第2分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建）が完成する。
- 3 月 ・消防庁長官よりふじみ野市消防団へ優良消防団として表彰旗が授与される。
- 平成 20 年 3 月 ・ふじみ野市川崎174-10にふじみ野市消防団上福岡第1分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建）が完成する。
- 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に長谷川清行氏（三芳町消防団長）が就任する。
 ・富士見市消防団長に金子光治氏が就任する。
 ・ふじみ野市消防団長に栗原秋男氏が就任する。
 ・三芳町消防団長に長谷川清行氏が就任する。
- 平成 21 年 9 月 ・富士見市消防団第2分団に普通ポンプ車（日野BDG-XZU334M）を更新する。
 ・ふじみ野市消防団上福岡第5分団に普通ポンプ車（日野BDG-XZU334M）を更新する。
- 平成 22 年 3 月 ・三芳町消防団第1分団に普通ポンプ車（日野BDG-XZU334M）を更新する。
 ・ふじみ野市鶴ヶ岡2-90-2にふじみ野市消防団大井第4分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建）が完成する。
- 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に金子光治氏（富士見市消防団長）が就任する。
 ・三芳町消防団長に高山誠二氏が就任する。
- 8 月 ・埼玉県消防操法大会にふじみ野市消防団が出場する。
- 10 月 ・富士見市消防団第1分団に普通ポンプ車（日野BDG-XZU334M）を更新する。
 ・富士見市消防団第4分団に普通ポンプ車（日野BDG-XZU334M）を更新する。
 ・ふじみ野市消防団上福岡第3分団に普通ポンプ車（日野BDG-XZU334M）を更新する。
 ・三芳町消防団第2分団に普通ポンプ車（日野BDG-XZU334M）を更新する。

- 平成 23 年 3 月 ・富士見市鶴馬 1 9 3 2－8 に富士見市消防団第 2 分団車庫（木造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
- 8 月 ・富士見市消防団第 6 分団に普通ポンプ車（日野 BDG－XZU 3 3 4 M）を更新する。
- ・ふじみ野市消防団大井第 4 分団に普通ポンプ車（日野 BDG－XZU 3 3 4 M）を更新する。
- 平成 24 年 3 月 ・富士見市勝瀬 7 3 4－3 に富士見市消防団第 1 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に鈴木章記氏（三芳町消防団長）が就任する。
- ・富士見市消防団長に池田拓也氏が就任する。
- ・ふじみ野市消防団長に岸澤一彦氏が就任する。
- ・三芳町消防団長に鈴木章記氏が就任する。
- 10 月 ・富士見市消防団第 3 分団に普通ポンプ車（日野 TKG－XZU 6 4 0 M）を更新する。
- ・ふじみ野市消防団大井第 3 分団に普通ポンプ車（日野 TKG－XZU 6 4 0 M）を更新する。
- 平成 25 年 3 月 ・富士見市東大久保 8 3－5 番地に富士見市消防団第 4 分団車庫（軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
- 9 月 ・富士見市消防団第 7 分団に普通ポンプ車（日野 TKG－XZU 6 4 0 M）を更新する。
- ・ふじみ野市消防団大井第 5 分団に普通ポンプ車（日野 TKG－XZU 6 4 0 M）を更新する。
- 平成 26 年 2 月 ・三芳町消防団に機能別団員を発足する。
- 3 月 ・富士見市下南畑 1 1 4 8－2 に富士見市消防団第 6 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に池田拓也氏（富士見市消防団長）が就任する。
- ・ふじみ野市消防団長に野ロー也氏が就任する。
- 9 月 ・富士見市消防団第 5 分団に普通ポンプ車（日野 TKG－XZU 6 0 0 M）を更新する。
- 平成 27 年 2 月 ・消防庁長官より三芳町消防団が優良消防団として消防団等地域活動表彰を受賞する。
- 3 月 ・消防長長官より三芳町消防団へ優良消防団として表彰旗が授与される。
- ・富士見市鶴馬 2－3 0 6 4－4 に富士見市消防団第 3 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 4 月 ・三芳町消防団長に鈴木紀啓氏が就任する。
- ・ふじみ野市消防団の分団名称を統一するため、ふじみ野市消防団第 1 分団から第 10 分団までに変更する。
- 8 月 ・ふじみ野市消防団第 8 分団に普通ポンプ車（日野 TKG－XZU 6 4 0 M）を更新する。
- 10 月 ・富士見市消防団に機能別団員を発足する。
- 平成 28 年 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に野ロー也氏（ふじみ野市消防団長）が就任する。
- ・富士見市消防団長に横山政幸氏が就任する。
- 8 月 ・埼玉県消防操法大会に富士見市消防団が出場する。
- 11 月 ・ふじみ野市消防団第 3 分団に普通ポンプ車（日野 TKG－XZU 6 4 0 M）を更新する。
- 平成 29 年 2 月 ・日本消防協会会長が来庁し、三芳町大規模倉庫火災の消火活動に対し激励を受ける。
- 3 月 ・消防長長官より富士見市消防団へ優良消防団として表彰旗が授与される。
- ・消防庁長官より富士見市消防団が優良消防団として消防団等地域活動表彰を受賞する。
- ・富士見市東みずほ台 2－1 7 に富士見市消防団第 8 分団車庫（軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建）が完成する。
- 4 月 ・三芳町消防団長に清水邦宏氏が就任する。
- 11 月 ・富士見市消防団第 8 分団に普通ポンプ車（日野 TPG－XZU 6 4 0 M）を更新する。
- 平成 30 年 3 月 ・ふじみ野市駒林元町 1－7－4 にふじみ野市消防団第 6 分団車庫（鉄骨造合金メッキ鋼板葺 2 階建）が完成する。
- 4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に横山政幸氏（富士見市消防団長）が就任する。
- ・ふじみ野市消防団長に木村宏氏が就任する。

平成 31 年 4 月 ・三芳町消防団長に鈴木秀幸氏が就任する。

令和 元年 10 月 ・ふじみ野市消防団に機能別団員を発足する。

令和 2 年 3 月 ・総務大臣より三芳町消防団へ団員の確保等に積極的に取り組む消防団として感謝状が贈呈される。

・日本消防協会よりふじみ野市消防団へ優良消防団として竿頭綬が授与される。

4 月 ・埼玉県消防協会入間東部支部長に鈴木秀幸氏（三芳町消防団長）が就任する。

・富士見市消防団長に吉田和彦氏が就任する。

10 月 ・ふじみ野市消防団第6分団に普通ポンプ車（トヨタLDF-KDY231改）を更新する。

10 月 ・三芳町上富1909-1に三芳町消防団第1分団車庫（軽量鉄骨造鋼板折板葺平屋建）が完成する。

令和 3 年 3 月 ・総務大臣よりふじみ野市消防団へ団員の確保等に積極的に取り組む消防団として感謝状が贈呈される。

10 月 ・ふじみ野市消防団第7分団に普通ポンプ車（トヨタLDF-KDY231改）を更新する。

10 月 ・三芳町竹間沢877に三芳町消防団第5分団車庫（軽量鉄骨造鋼板折板葺平屋建）が完成する。

令和 4 年 4 月 ・ふじみ野市消防団長に島田智之氏が就任する。

・埼玉県消防協会入間東部支部長に島田智之氏（ふじみ野市消防団長）が就任する。

10 月 ・ふじみ野市消防団第4分団に普通ポンプ車（トヨタ3BF-TRY230改）を更新する。

令和 5 年 3 月 ・日本消防協会より富士見市消防団へ優良消防団として表彰旗が授与される。

4 月 ・三芳町消防団長に小山幸宏氏が就任する。

歴代消防団諮問委員会長

市 町 別	氏 名	就 任 期 間
上福岡市	谷 寅 吉	昭和 46. 1. 1 ～ 昭和 52. 3. 31
大 井 町	小 林 茂十郎	昭和 52. 4. 1 ～ 昭和 54. 3. 31
富士見市	長 根 新 吉	昭和 54. 4. 1 ～ 昭和 56. 3. 31
富士見市	石 川 清三郎	昭和 56. 4. 1 ～ 昭和 58. 3. 31
大 井 町	高 山 伊英司	昭和 58. 4. 1 ～ 平成 元. 3. 31
富士見市	新 井 弘	平成 元. 4. 1 ～ 平成 7. 3. 31
富士見市	林 三 喜	平成 7. 4. 1 ～ 平成 11. 3. 31
富士見市	新 井 幸 雄	平成 11. 4. 1 ～ 平成 17. 3. 31
上福岡市	谷 田 富 男	平成 17. 4. 1 ～ 平成 18. 3. 31
ふじみ野市	谷 田 富 男	平成 18. 4. 1 ～ 平成 19. 3. 31
富士見市	新 井 康 之	平成 19. 4. 1 ～ 平成 21. 3. 31
三 芳 町	池 上 正 明	平成 21. 4. 1 ～ 平成 23. 3. 31
ふじみ野市	浅 見 伸 明	平成 23. 4. 1 ～ 平成 25. 3. 31
富士見市	平 塚 雄 一	平成 25. 4. 1 ～ 平成 27. 3. 31
ふじみ野市	宮 寺 康 夫	平成 27. 4. 1 ～ 平成 29. 3. 31
三 芳 町	高 山 誠 二	平成 29. 4. 1 ～ 平成 31. 3. 31
富士見市	金 子 光 治	平成 31. 4. 1 ～ 令和 3. 3. 31
三 芳 町	鈴 木 章 記	令和 3. 4. 1 ～ 令和 5. 3. 31
富士見市	池 田 拓 也	令和 5. 4. 1 ～

消防団諮問委員

会 長 池 田 拓 也

会長職務代理 岸 澤 一 彦

令和5年4月1日現在

富士見市選出委員	ふじみ野市選出委員	三芳町選出委員
金 子 光 治	栗 原 秋 男	鈴 木 章 記
池 田 拓 也	岸 澤 一 彦	鈴 木 紀 啓
○ 横 山 政 幸	野 口 一 也	清 水 邦 宏
	○ 木 村 宏	○ 鈴 木 秀 幸

○印は前消防団長

富士見市歴代消防団長（組合発足以後）

氏 名	就 任 期 間
長 根 新 吉	昭和 44. 5. 1 ～ 昭和 46. 3. 31
関 幸 太郎	昭和 46. 4. 1 ～ 昭和 48. 3. 31
押 田 亀 司	昭和 48. 4. 1 ～ 昭和 50. 3. 31
新 井 弘	昭和 50. 4. 1 ～ 昭和 57. 3. 31
金 子 昇	昭和 57. 4. 1 ～ 昭和 58. 3. 31
林 三 喜	昭和 58. 4. 1 ～ 昭和 61. 3. 31
新 井 幸 雄	昭和 61. 4. 1 ～ 平成 2. 3. 31
深 井 平 次	平成 2. 4. 1 ～ 平成 6. 3. 31
鈴 木 光 男	平成 6. 4. 1 ～ 平成 10. 3. 31
新 井 康 之	平成 10. 4. 1 ～ 平成 12. 3. 31
平 塚 雄 一	平成 12. 4. 1 ～ 平成 16. 3. 31
齊 藤 隆 浩	平成 16. 4. 1 ～ 平成 20. 3. 31
金 子 光 治	平成 20. 4. 1 ～ 平成 24. 3. 31
池 田 拓 也	平成 24. 4. 1 ～ 平成 28. 3. 31
横 山 政 幸	平成 28. 4. 1 ～ 令和 2. 3. 31
吉 田 和 彦	令和 2. 4. 1 ～

ふじみ野市歴代消防団長

氏 名	就 任 期 間
宮 寺 康 夫	平成 18. 4. 1 ～ 平成 20. 3. 31
栗 原 秋 男	平成 20. 4. 1 ～ 平成 24. 3. 31
岸 澤 一 彦	平成 24. 4. 1 ～ 平成 26. 3. 31
野 口 一 也	平成 26. 4. 1 ～ 平成 30. 3. 31
木 村 宏	平成 30. 4. 1 ～ 令和 4. 3. 31
島 田 智 之	令和 4. 4. 1 ～

三芳町歴代消防団長（組合発足以後）

氏 名	就 任 期 間
林 孝 次	昭和 45. 1. 1 ～ 昭和 47. 3. 31
鈴 木 繁 郎	昭和 47. 4. 1 ～ 昭和 49. 3. 31
前 島 敏 雄	昭和 49. 4. 1 ～ 昭和 51. 3. 31
正 木 真 一	昭和 51. 4. 1 ～ 昭和 54. 3. 31
清 水 望 宏	昭和 54. 4. 1 ～ 昭和 55. 3. 31
細 谷 健 一	昭和 55. 4. 1 ～ 昭和 56. 3. 31
池 上 治 雄	昭和 56. 4. 1 ～ 昭和 58. 3. 31
高 山 敏 光	昭和 58. 4. 1 ～ 昭和 59. 3. 31
鈴 木 英 美	昭和 59. 4. 1 ～ 昭和 61. 3. 31
武 田 信 太郎	昭和 61. 4. 1 ～ 昭和 63. 3. 31
池 上 実	昭和 63. 4. 1 ～ 平成 2. 3. 31
久 保 義 則	平成 2. 4. 1 ～ 平成 3. 3. 31
内 野 登	平成 3. 4. 1 ～ 平成 6. 3. 31
田 畑 忠 良	平成 6. 4. 1 ～ 平成 8. 3. 31
山 田 政 弘	平成 8. 4. 1 ～ 平成 12. 3. 31
池 上 正 明	平成 12. 4. 1 ～ 平成 14. 3. 31
林 伊 佐 雄	平成 14. 4. 1 ～ 平成 18. 3. 31
荻 原 章 弘	平成 18. 4. 1 ～ 平成 20. 3. 31
長谷川 清 行	平成 20. 4. 1 ～ 平成 22. 3. 31
高 山 誠 二	平成 22. 4. 1 ～ 平成 24. 3. 31
鈴 木 章 記	平成 24. 4. 1 ～ 平成 27. 3. 31
鈴 木 紀 啓	平成 27. 4. 1 ～ 平成 29. 3. 31
清 水 邦 宏	平成 29. 4. 1 ～ 平成 31. 3. 31
鈴 木 秀 幸	平成 31. 4. 1 ～ 令和 5. 3. 31
小 山 幸 宏	令和 5. 4. 1 ～

(旧) 上福岡市歴代消防団長 (組合発足以後)

氏 名	就 任 期 間
宮 寺 利喜芳	昭和 43. 4. 1 ~ 昭和 47. 3. 31
土 屋 漸	昭和 47. 4. 1 ~ 昭和 47. 5. 31
柳 川 豊 治	昭和 47. 6. 1 ~ 昭和 58. 3. 31
土 屋 浩	昭和 58. 4. 1 ~ 昭和 59. 3. 31
野 沢 健 司	昭和 59. 4. 1 ~ 昭和 60. 3. 31
宮 崎 昭之助	昭和 60. 4. 1 ~ 昭和 62. 3. 31
野 沢 裕 司	昭和 62. 4. 1 ~ 平成 元. 3. 31
奥 住 良 蔵	平成 元. 4. 1 ~ 平成 3. 3. 31
谷 田 富 男	平成 3. 4. 1 ~ 平成 6. 3. 31
吉 野 公 一	平成 6. 4. 1 ~ 平成 8. 3. 31
岡 本 敏 雄	平成 8. 4. 1 ~ 平成 10. 3. 31
近 藤 宏 明	平成 10. 4. 1 ~ 平成 14. 3. 31
宮 寺 康 夫	平成 14. 4. 1 ~ 平成 18. 3. 31

(旧) 大井町歴代消防団長 (組合発足以後)

氏 名	就 任 期 間
久保田 光 昭	昭和 40. 4. 1 ~ 昭和 46. 3. 31
高 山 伊英司	昭和 46. 4. 1 ~ 昭和 51. 3. 31
小 林 蔵 衛	昭和 51. 4. 1 ~ 昭和 54. 3. 31
塩 野 清 市	昭和 54. 4. 1 ~ 昭和 59. 3. 31
柿 沼 正 作	昭和 59. 4. 1 ~ 昭和 61. 3. 31
高 山 岑 男	昭和 61. 4. 1 ~ 昭和 63. 3. 31
神 木 洋 寿	昭和 63. 4. 1 ~ 平成 2. 3. 31
内 田 嘉 紀	平成 2. 4. 1 ~ 平成 4. 3. 31
有 山 茂	平成 4. 4. 1 ~ 平成 6. 3. 31
島 田 和 一	平成 6. 4. 1 ~ 平成 8. 3. 31
小 室 長 司	平成 8. 4. 1 ~ 平成 10. 3. 31
鈴 木 潔	平成 10. 4. 1 ~ 平成 12. 3. 31
柿 沼 佳 保	平成 12. 4. 1 ~ 平成 14. 3. 31
浅 見 伸 明	平成 14. 4. 1 ~ 平成 16. 3. 31
有 山 康 夫	平成 16. 4. 1 ~ 平成 18. 3. 31

消防団員の定員と実員数

単位：人

令和5年4月1日現在

	総 員	富士見市消防団	ふじみ野市消防団	三芳町消防団
定 員	374	129	135	110
実 員	302	97	110	95

消防団員の配置状況

単位：人

令和5年4月1日現在

階 級 配 属		総 数	団 長	副 団 長	本 部 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
		総 数 (実 員)								
		302	3	6	17	23	23	23	26	181
富士見市消防団	本 部	30	1	2	7	－	－	－	1	19
	第 1 分 団	10	－	－	－	1	1	1	1	6
	第 2 分 団	8	－	－	－	1	1	1	1	4
	第 3 分 団	8	－	－	－	1	1	1	1	4
	第 4 分 団	12	－	－	－	1	1	1	1	8
	第 5 分 団	7	－	－	－	1	1	1	1	3
	第 6 分 団	9	－	－	－	1	1	1	1	5
	第 7 分 団	8	－	－	－	1	1	1	1	4
	第 8 分 団	5	－	－	－	1	1	1	1	1
ふじみ野市消防団	本 部	33	1	2	6	－	－	－	1	23
	第 1 分 団	8	－	－	－	1	1	1	1	4
	第 2 分 団	6	－	－	－	1	1	1	1	2
	第 3 分 団	5	－	－	－	1	1	1	1	1
	第 4 分 団	7	－	－	－	1	1	1	1	3
	第 5 分 団	10	－	－	－	1	1	1	1	6
	第 6 分 団	8	－	－	－	1	1	1	1	4
	第 7 分 団	9	－	－	－	1	1	1	1	5
	第 8 分 団	10	－	－	－	1	1	1	1	6
	第 9 分 団	7	－	－	－	1	1	1	1	3
	第 10 分 団	7	－	－	－	1	1	1	1	3
三芳町消防団	本 部	32	1	2	4	－	－	－	1	24
	第 1 分 団	15	－	－	－	1	1	1	1	11
	第 2 分 団	15	－	－	－	1	1	1	1	11
	第 3 分 団	12	－	－	－	1	1	1	1	8
	第 4 分 団	14	－	－	－	1	1	1	1	10
	第 5 分 団	7	－	－	－	1	1	1	1	3

消防団員の年齢

単位：人

令和5年4月1日現在

階級 年齢	総 数	団 長	副 団 長	本 部 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
総数	302	3	6	17	23	23	23	26	181
平均年齢	36.6	46.7	46.7	43.2	39.9	38.2	34.9	37.4	35.0
18歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
19歳	1	－	－	－	－	－	－	－	1
20歳	2	－	－	－	－	－	－	－	2
21歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
22歳	2	－	－	－	－	－	－	－	2
23歳	6	－	－	－	－	－	－	－	6
24歳	2	－	－	－	－	－	－	－	2
25歳	9	－	－	－	－	－	－	－	9
26歳	9	－	－	－	－	－	1	－	8
27歳	6	－	－	－	－	－	－	－	6
28歳	7	－	－	－	－	－	1	2	4
29歳	10	－	－	－	－	－	－	1	9
30歳	10	－	－	－	－	2	3	1	4
31歳	18	－	－	－	－	－	2	4	12
32歳	10	－	－	－	－	－	－	1	9
33歳	11	－	－	－	1	－	2	1	7
34歳	13	－	－	－	－	3	2	－	8
35歳	20	－	－	－	1	3	4	2	10
36歳	5	－	－	－	1	－	－	－	4
37歳	22	－	－	－	4	3	1	－	14
38歳	20	－	－	2	3	2	－	3	10
39歳	17	－	－	1	2	2	2	2	8
40歳	11	－	－	1	3	1	1	2	3
41歳	21	－	1	3	3	1	3	2	8
42歳	5	－	－	1	－	－	－	－	4
43歳	7	－	－	1	－	1	－	1	4
44歳	12	1	－	－	2	4	1	－	4
45歳	9	－	1	3	1	－	－	－	4
46歳	5	－	－	2	－	－	－	－	3
47歳	9	1	1	1	1	1	－	－	4
48歳	7	－	1	1	－	－	－	2	3
49歳	4	1	1	1	－	－	－	－	1
50歳	3	－	1	－	－	－	－	－	2
51歳	1	－	－	－	1	－	－	－	－
52歳	1	－	－	－	－	－	－	1	－
53歳	1	－	－	－	－	－	－	－	1
54歳	3	－	－	－	－	－	－	1	2
55歳	1	－	－	－	－	－	－	－	1
56歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
57歳	1	－	－	－	－	－	－	－	1
58歳	1	－	－	－	－	－	－	－	1
59歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－

消防団員の勤続年数

単位：人

令和5年4月1日現在

階級 年数	総 数	団 長	副 団 長	本 部 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
総数	302	3	6	17	23	23	23	26	181
平均勤続年数	6.8	20.7	18.3	14.2	12.4	10.8	9.3	8.5	3.8
1年未満	33	-	-	1	-	-	-	-	32
1 年	24	-	-	-	-	-	-	-	24
2 年	20	-	-	-	-	-	-	-	20
3 年	23	-	-	-	-	-	-	1	22
4 年	17	-	-	-	-	-	-	1	16
5 年	20	-	-	-	-	-	1	2	17
6 年	17	-	-	-	-	1	2	3	11
7 年	19	-	-	-	1	1	3	3	11
8 年	19	-	-	-	-	2	3	4	10
9 年	26	-	-	1	3	4	3	2	13
10 年	14	-	-	-	4	1	3	5	1
11 年	9	-	-	-	1	3	3	2	-
12 年	17	-	-	1	3	6	4	1	2
13 年	7	-	-	1	2	2	-	1	1
14 年	10	-	-	3	3	2	1	-	1
15 年	9	-	2	3	3	1	-	-	-
16 年	3	-	-	2	1	-	-	-	-
17 年	5	-	-	3	1	-	-	1	-
18 年	2	-	1	1	-	-	-	-	-
19 年	2	-	-	1	1	-	-	-	-
20 年	4	2	2	-	-	-	-	-	-
21 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22 年	2	1	1	-	-	-	-	-	-
23 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-

消防団分団車庫の現況

令和5年4月1日現在

分団名		所在地	建築年月	構 造	延べ面積
富士見市消防団	第1分団	勝瀬734-3	平成24年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	73.08㎡
	第2分団	鶴馬1932-8	平成23年3月	木造合金メッキ鋼板葺平屋建	105.00㎡
	第3分団	鶴馬2-3064-4	平成27年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	72.69㎡
	第4分団	東大久保83-5	平成25年3月	軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建	99.37㎡
	第5分団	下南畑96-1	平成13年3月	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	76.00㎡
	第6分団	下南畑1148-2	平成26年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	73.08㎡
	第7分団	水子1783-2	平成18年3月	軽量鉄骨造スレート葺平屋建	98.38㎡
	第8分団	東みずほ台2-17	平成29年3月	軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建	68.31㎡
ふじみ野市消防団	第1分団	福岡中央2-882-53	平成17年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	63.61㎡
	第2分団	鶴ヶ岡2-90-2	平成22年2月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	82.21㎡
	第3分団	川崎174-10	平成20年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	68.58㎡
	第4分団	築地1-2-11	平成19年2月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	72.68㎡
	第5分団	大井中央2-8-5	平成9年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建	52.99㎡
	第6分団	駒林元町1-7-4	平成30年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	81.20㎡
	第7分団	苗間371-1	平成17年2月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建	52.99㎡
	第8分団	大井2-4-8	平成13年3月	鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建	52.99㎡
	第9分団	福岡新田107-4	平成14年2月	軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	60.03㎡
	第10分団	大井武蔵野1434-3	平成7年9月	軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	50.96㎡
三芳町消防団	第1分団	上富1909-1	令和2年10月	軽量鉄骨造鋼板折板葺平屋建	59.31㎡
	第2分団	上富188-4	平成8年3月	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	58.93㎡
	第3分団	北永井286-7	平成4年5月	軽量鉄骨造スレート葺平屋建	59.25㎡
	第4分団	藤久保1032-1	昭和61年3月	軽量鉄骨造スレート葺平屋建	59.31㎡
	第5分団	竹間沢877-1	令和3年10月	軽量鉄骨造スレート葺平屋建	59.31㎡

消防団車両現勢

令和5年4月1日現在

区分 分団名		車 型 名 式	登録番号	ポンプ 級 別	種別	登録年月日
富士見市消防団	第 1 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 83-03	A2級	普通ポンプ 自動車	H22. 10. 5
	第 2 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 75-58	A2級	普通ポンプ 自動車	H21. 9. 10
	第 3 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 800 す 97-75	A2級	普通ポンプ 自動車	H24. 10. 26
	第 4 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 83-04	A2級	普通ポンプ 自動車	H22. 10. 5
	第 5 分 団	日野 TKG-XZU600Z	所沢 830 せ 51-19	A2級	普通ポンプ 自動車	H26. 8. 27
	第 6 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 89-03	A2級	普通ポンプ 自動車	H23. 8. 24
	第 7 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 830 さ 71-19	A2級	普通ポンプ 自動車	H25. 9. 2
	第 8 分 団	日野 TPG-XZU640M	所沢 830 す 81-19	A2級	普通ポンプ 自動車	H29. 11. 9
ふじみ野市消防団	第 1 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 75-59	A2級	普通ポンプ 自動車	H21. 9. 10
	第 2 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 89-02	A2級	普通ポンプ 自動車	H23. 8. 24
	第 3 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 830 さ 91-13	A2級	普通ポンプ 自動車	H28. 11. 18
	第 4 分 団	トヨタ 3BF-TRY230改	所沢 830 さ 91-14	A2級	普通ポンプ 自動車	R 5. 2. 16
	第 5 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 800 す 97-74	A2級	普通ポンプ 自動車	H24. 10. 26
	第 6 分 団	トヨタ LDF-KDY231改	所沢 830 さ 91-16	A2級	普通ポンプ 自動車	R 2. 10. 20
	第 7 分 団	トヨタ LDF-KDY231改	所沢 830 さ 91-17	A2級	普通ポンプ 自動車	R 3. 10. 8
	第 8 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 830 さ 91-18	A2級	普通ポンプ 自動車	H27. 8. 19
	第 9 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 800 す 83-02	A2級	普通ポンプ 自動車	H22. 10. 5
	第 10 分 団	日野 TKG-XZU640M	所沢 830 さ 91-10	A2級	普通ポンプ 自動車	H25. 9. 2
三芳町消防団	第 1 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 830 さ 11-91	A2級	普通ポンプ 自動車	H22. 3. 1
	第 2 分 団	日野 BDG-XZU334M	所沢 830 す 11-92	A2級	普通ポンプ 自動車	H22. 10. 5
	第 3 分 団	日野 PD-XZU334M	所沢 830 す 11-93	A2級	普通ポンプ 自動車	H17. 12. 2
	第 4 分 団	日野 PD-XZU334M	所沢 830 さ 11-94	A2級	普通ポンプ 自動車	H18. 2. 20
	第 5 分 団	日野 PD-XZU334M	所沢 830 さ 11-95	A2級	普通ポンプ 自動車	H18. 9. 29

入間東部地区事務組合消防本部

消 防 本 部	356-0058 ふじみ野市大井中央1-1-19	TEL 049(261)6000 (代) FAX 049(261)4395 shobo@irumatohbu119.jp
消 防 総 務 課	(消防本部内)	TEL 049(261)6004 FAX 049(261)4395 soumu-01@irumatohbu119.jp
予 防 課	(消防本部内)	TEL 049(261)6007 FAX 049(261)4395 yobo-01@irumatohbu119.jp
警 防 課	(消防本部内)	TEL 049(261)6659 FAX 049(261)4395 keibo-01@irumatohbu119.jp
救 急 課	(消防本部内)	TEL 049(261)6673 FAX 049(261)4395 kyukyu01@irumatohbu119.jp
指 揮 統 制 課	(消防本部内)	TEL 049(261)6031 FAX 049(262)2633 sirei-01@irumatohbu119.jp
西 消 防 署	356-0058 ふじみ野市大井中央1-1-19	TEL 049(261)5837 FAX 049(261)6037 nishi@irumatohbu119.jp
消 防 課	(西消防署内)	TEL 049(261)5837 FAX 049(261)6037
三 芳 分 署	354-0044 入間郡三芳町北永井617-8	TEL 049(259)2036 FAX 049(259)2139 miyoshi@irumatohbu119.jp
東 消 防 署	354-0021 富士見市鶴馬1850-1	TEL 049(255)4119 FAX 049(255)2709 higashi@irumatohbu119.jp
消 防 課	(東消防署内)	TEL 049(255)4119 FAX 049(255)2709
富 士 見 分 署	354-0011 富士見市水子4060-1	TEL 049(255)4117 FAX 049(255)6739 fujimibunsyo@irumatohbu119.jp
ふ じ み 野 分 署	356-0001 ふじみ野市川崎2-7-3	TEL 049(267)0119 FAX 049(267)0116 fujiminobunsyo@irumatohbu119.jp

救急病院案内 049(261)6031 (休日・夜間)

火災の問合せ 049(263)0119 (テープ案内)

<https://www.irumatohbu119.jp/>

E-Mail: shobo@irumatohbu119.jp



消 防 年 報

令和4年版

令和5年9月発行

埼玉県ふじみ野市大井中央1丁目1番19号

入間東部地区事務組合消防本部

電話 049(261)6000